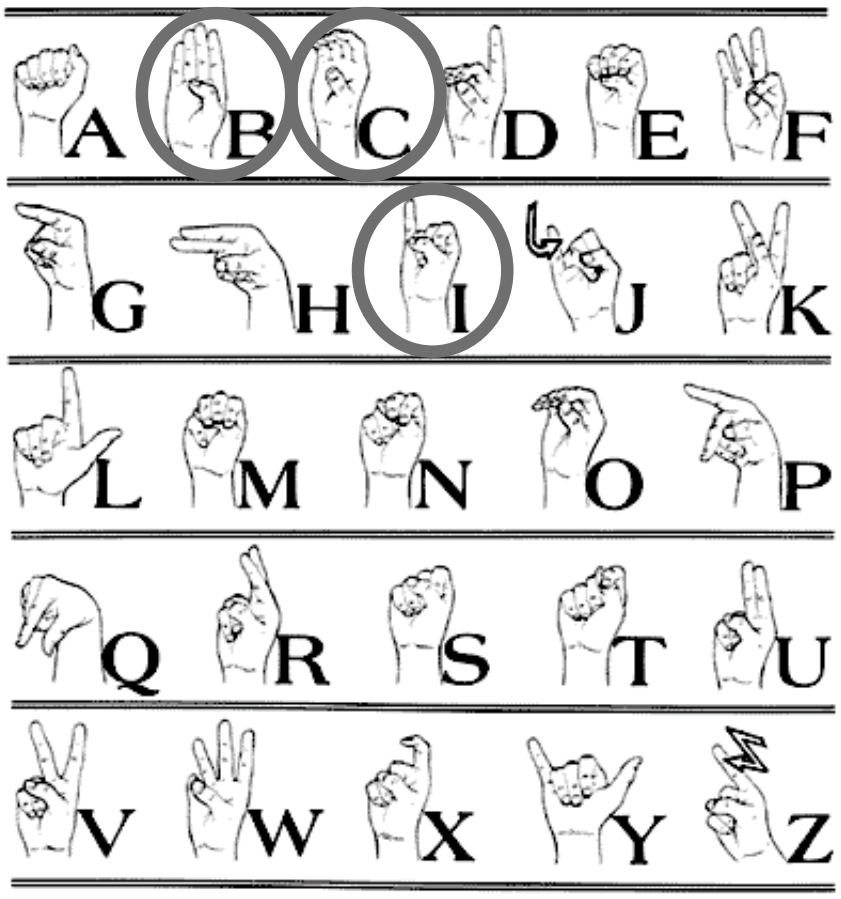
２０１９年度 後期

シ　ラ　バ　ス

I

B

C



クラス		名前	

西鉄国際ビジネスカレッジ

〈目次〉

共通・・・・・・・・・・・・ P1～18
ホテル・ブライダル・・・・ P19～38
観光（トラベル）・鉄道・・ P39～69
エアライン・・・・・・・・ P70～85
国際ホテルマネジメント・・ P86～120
夜間総合観光・・・・・・・ P121～129

共　通

学年	科目名	クラス	ページ
1	TOEIC　Ⅰ	ELNQRY	1
1	TOEIC　Ⅱ	ELNQRY	2
1	英検対策　Ⅰ	ELNQRY	3
1	英検対策　Ⅱ	ELNQRY	4
1、2	コミュニケーションイングリッシュ	ELNQRU　Z	5
1	ビジネス能力検定	ELNQRYU日	6
1	コンピュータ	ELNQRYU	7
1	SPI言語対策	全科共通（国際ﾎﾃﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ留学生科を除く）	8
1	SPI非言語対策	全科共通（国際ﾎﾃﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ留学生科を除く）	9
1	ホテル英会話	EU	10
1、2、3	韓国語	EN　LQR　ABMS	11
1、2、3	中国語	EN　LQR　ABMS	12
1、2、3	フランス語	E　ABS	13
2	ホテル英会話	ABS	14
2	コンピュータ	KMOPZT留	15
2	コミュニケーションイングリッシュ	ABKMOP	16
2	TOEIC	選択2年	17
2、3	社会情勢研究	ABKMS	18

対象学年	1年	学期	通年	学科	ﾎﾃﾙﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ・観光・鉄道・ｴｱﾗｲﾝ・夜間総合観光科
科目名	TOEIC Ⅰ			クラス	ELNQRY①
担当講師(フルネーム)	挽田　雅子				
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集4				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	語彙力強化に取り組むこと。授業の内容を復習すること。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション、授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストの説明 練習問題
2回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードを避ける
3回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題
4回	Part3((2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む
5回	Part4(1)	Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る アナウンスや公共放送を聞く
6回	Part4(3)	図・イラスト問題を攻略する 設問を先読みする 練習問題
7回	Part5(2)	名詞の形と役割を理解する 名詞と数量詞の関連を知る 練習問題
8回	Part5(4)	形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する 形容詞と副詞の練習問題
9回	Part5(6)	前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題
10回	Part6(1)	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く
11回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む メール・お知らせ・メッセージを読む
12回	Part7(3)	記事・取扱説明書・手紙を読む 時間を管理する シングルパッセージの後半を最後に解く
13回	Part7((5)	ダブルパッセージ 求人広告とメール 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す
14回	Part7(7)	トリプルパッセージ Eメール・目次・ウェブページ 要約力を身につける
15回	応用問題	ストーリーを理解する ほのめかされた情報が問われたときの解答法 「位置選択問題」の解き方

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル・観光・鉄道・エアライン・夜間総合観光科
科目名	TOEIC Ⅱ			クラス	ELNQRY①
担当講師(フルネーム)	挽田　雅子				
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集4				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	語彙力強化に取り組むこと。授業の内容を復習すること。				

	テーマ	授業内容
1回	Part1	Part1の攻略の基本を学ぶ 人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ 練習問題
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文の応答 付加疑問文の応答 平叙文の応答
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 設問を読み、全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける 練習問題
4回	Part3((3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む
5回	Part4(2)	場所を問う問題を解く 職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題の解き方を学ぶ 文型・修飾語について理解する
7回	Part5(3)	動詞の形と役割を理解する 能動態と受動態 時制について学ぶ
8回	Part5(5)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する
9回	Part5(7)	主語と述語の一致について理解する 主語の見分け方と対応する動詞の選び方を学習する 練習問題
10回	Part6(2)	[文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題
11回	Part7(2)	広告・オンラインチャット・求人広告を読む 流れを意識して読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む
12回	Part7(4)	ダブルパッセージの解き方を学ぶ メールと予定表を読む 練習問題
13回	Part7((6)	トリプルパッセージの解き方を学ぶ ウェブページとメールを読む 練習問題
14回	Part7(8)	トリプルパッセージ 記事・文書・ウェブページを読む 要約力を身につける
15回	まとめと復習	TEST1を復習する 語彙・語法の確認 文法問題の確認

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、トラベル、鉄道、エアライン、夜間総合観光科
科目名	英検対策Ⅰ			クラス	IHM除く全クラス
担当講師(フルネーム)	高木美希、日高郁子、平島千華、鈴木茉衣				
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注;各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。			授業形態	講義
到達目標	10月5日(土)(2019年度第2回)及び1月25日(土)(2019年度第3回)実施の英検に合格できる力をつける。				
使用テキスト	2019年度版　英検過去6回全問題集(旺文社)				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	試験対策として、過去問題集等の反復を繰り返し行い理解を深め、合格率を高める。				

	テーマ	授業内容
1回	2017年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
2回	2017年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
3回	2017年度第2回検定問題	リスニング問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
4回	2019年度第2回検定解答解説	2019年度第1回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
5回	2017年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
6回	2017年度第2回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
7回	2017年度第2回検定問題	作文指導(取得目標級により異なる) 2017年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
8回	2017年度第1回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
9回	2017年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
10回	2017年度第1回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
11回	2016年度第3回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
12回	2016年度第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
13回	2016年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
14回	英検直前対策	語彙 イディオム 会話表現
15回	期末試験直前対策	後期授業総括 期末試験対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、トラベル、鉄道、エアライン、夜間総合観光科
科目名	英検対策Ⅱ			クラス	IHM除く全クラス
担当講師(フルネーム)	高木美希、日高郁子、平島千華、鈴木茉衣				
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注;各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。			授業形態	講義
到達目標	10月5日(土)(2019年度第2回)及び1月25日(土)(2019年度第3回)実施の英検に合格できる力をつける。				
使用テキスト	2019年度版　英検過去6回全問題集(旺文社)				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	試験対策として、過去問題集等の反復を繰り返し行い理解を深め、合格率を高める。				

	テーマ	授業内容
1回	2017年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
2回	2017年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
3回	2017年度第2回検定問題	リスニング問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
4回	2019年度第2回検定解答解説	2019年度第1回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
5回	2017年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
6回	2017年度第2回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
7回	2017年度第2回検定問題	作文指導(取得目標級により異なる) 2017年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
8回	2017年度第1回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
9回	2017年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
10回	2017年度第1回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
11回	2016年度第3回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
12回	2016年度第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
13回	2016年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
14回	英検直前対策	長文読解 英作文問題
15回	期末試験直前対策	後期授業総括 期末試験対策

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科、観光科、鉄道科、エアライン科、国際ホテルマネジメント科1年、夜間総合観光科2年
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	E①②、LNQRU①②③④⑤、Z
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Riley Roselius, Brandon Perry, Max Gonzalez, Guzman Carlos				
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.				
使用テキスト	Challenge Book #4およびPassport 1				
成績評価方法	Class work and attitude(50%), In-class presentations (50%)			単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	チャレンジブックおよびPassport の付録のCDを事前に聴いてレッスンに備える。単語を事前に調べ意味を理解しておく。				

	テーマ	授業内容
1回	Challenge Book #4 P15Passport 1 P24-25	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Cuisine Interview (Test) Do you have a non-smoking room?
2回	Challenge Book #4 P16Passport 1 P24-25	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab My Favorite Retaurant Do you have a non-smoking room? Review & Expansion (Test)
3回	Challenge Book #4 P16Passport 1 P26-27	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab My Favorite Retaurant (Test) I have a stomachache.
4回	Challenge Book #4 P21Passport 1 P26-27	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab School Memory Lane I have a stomachache. Review & Expansion (Test)
5回	Challenge Book #4 P21Passport 1 P28-29	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab School Memory Lane (Test) I'm from Japan.
6回	Challenge Book #4 P22Passport 1 P28-29	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab My Best School Trip I'm from Japan. Review & Expansion (Test)
7回	Challenge Book #4 P22Passport 1 P32-33	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab My Best School Trip (Test) What time does it start?
8回	Challenge Book #4 P23Passport 1 P32-33	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab My School Club What time does it start? Review & Expansion (Test)
9回	Challenge Book #4 P23Passport 1 P34-35	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab My School Club (Test) Have you been to the islands?
10回	Challenge Book #4 P24Passport 1 P34-35	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Music Interview Have you been to the islands? Review & Expansion (Test)
11回	Challenge Book #4 P24Passport 1 P36-37	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Music Interview (Test) I really like rugby!
12回	Challenge Book #4 P25Passport 1 P36-37	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab My Favorite English Song I really like rugby! Review & Expansion (Test)
13回	Challenge Book #4 P25Passport 1 P38-39	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab My Favorite English Song (Test) Where should we meet?
14回	Challenge Book #4 P26Passport 1 P38-39	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Travel Interview Where should we meet? Review & Expansion (Test)
15回	Challenge Book #4 P26Passport 1 P40-41	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Travel Interview (Test) How about 400 baht for two?

対象学年	1年	学期	通年	学科	IHM留学生除く全科
科目名	ビジネス能力検定対策			クラス	IHM留学生除く全クラス
担当講師(フルネーム)	徳永美千留・榎本美和子・田中友加利・池田香織				
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ。 ・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			授業形態	講義
到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す。(12/1(日)受験)				
使用テキスト	ビジネス能力検定3級テキスト2019年度版				
成績評価方法	期末試験60%　平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	過去問題プリントを復習すること				

	テーマ	授業内容
1回	過去問題	後期授業の進め方について 過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。
2回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。
3回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。
4回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。
5回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。
6回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。
7回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。
8回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。
9回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。
10回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。
11回	自己採点	12/1(日)試験の自己採点をする
12回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。
13回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。
14回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。
15回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	全科	
科目名	コンピュータ			クラス	E・L・N・Q・R・Y・U	
担当講師(フルネーム)	乙咩清美					
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義	
到達目標	Microsoft Officeの基礎知識を学び、就活や社会人として必要なパソコンスキルを身につけ、様々な活用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター　Word2016、Excel2016					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	授業で学んだことを各自復習しておくこと					

	テーマ	授業内容
1回	パソコンの活用	Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 パワーポイントでショートムービーやグリーティングカードの作成 クラウドを活用して、スマホのメールやSNSに使用してみる
2回	パソコンの活用	ビジネスメールの基本を学び、ビジネス文書との違いを知ろう！ ビジネスネールの形式とマナー 添付ファイル付きで送信(写真やWord文書のPDFファイルを添付)
3回	Excel基礎	Excel2016について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数
4回	Excel基礎	表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)
5回	Excel基礎	表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める
6回	Excel基礎	表作成 たくさんの練習問題を解いて、式に慣れる①
7回	Excel基礎	表作成 たくさんの練習問題を解いて、式に慣れる②
8回	Excel基礎	表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)
9回	Excel応用	表作成 関数(RANK・VLOOKUP) 関数のネストについて学ぶ
10回	Excel応用	表作成 たくさんの練習問題を解いて、式に慣れる③
11回	Excel学期内テスト	
12回	PowerPoint	1年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 使用する画像の準備 ストーリーの構成作り
13回	PowerPoint	1年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 使用する音源の準備 スライド作成
14回	PowerPoint	1年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 スライドの編集
15回	PowerPoint	1年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの仕上・発表

対象学年	1年	学期	通年	学科	全科（IHM留学生除く）
科目名	SPI言語対策			クラス	1年全クラス（IHM留学生除く）
担当講師（フルネーム）	前田恭子・山本真美				
授業概要（内容）	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業			授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う				
使用テキスト	・一般常識チェック＆マスター　・一般常識/一問一答				
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	間違った箇所は必ず復習する				

	テーマ	授業内容
1回	なぜSPIをするのか	・後期授業方針説明、SPI検査の内容を確認。 ・SPI言語　同意語（意味や内容が近い語） *夏休みの課題（四字熟語）提出
2回	日本の特産品を知る	・日本地理①　日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える。 ・SPI言語　反意語（意味や内容が反対の語）
3回	四字熟語を極める	・四字熟語テスト①　夏休みの課題（四字熟語）6回に分けて小テスト ・日本地理②　産地・産物の練習問題を解き、理解を深める。 ・SPI言語　ことばの意味①（語句の意味が正しいもの）
4回	世界の気候	・四字熟語テスト② ・世界地理①　世界各地の気候を学ぶ。併せて産物を学び、産地との組み合わせを覚える。 ・SPI言語　ことばの意味②（意味に適合する語句）
5回	世界が作るもの	・四字熟語テスト③ ・世界地理②　産地・産物の練習問題を解き、理解を深める。 ・SPI言語　複数の意味（意味や用法が近いもの）
6回	日本史の中の人物	・四字熟語テスト④ ・日本史①　日本史上の人物に焦点をあてて、歴史を見る。 ・SPI言語　文章問題①
7回	史実を学ぶ	・四字熟語テスト⑤ ・日本史② ・SPI言語　文章問題②
8回	世界史の中の人物	・四字熟語テスト⑥ ・世界史　歴史上、有名な出来事を追い、人物と「何」が起きたか？をみる。 ・SPI言語　原料（加工物とその原料）
9回	文化は歴史が作る	・文化史　文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる。 ・SPI言語　包含・用途・機能
10回	名句・名言から学ぶ	・思想史　思想家の名句・名言と著書を学ぶ。 ・SPI言語　文章問題③
11回	文学史	・文学史　主な文学作品とその作者を学ぶ。 ・SPI言語　行為の関係
12回	働く環境を考える	・労働・社会保障　労働者は守られているか？現行制度を学びます。 ・SPI言語　文章問題④
13回	社会の常識	・国民の祝日、法規、マーク、名数などを確認します。 ・SPI言語　ことわざ・慣用句
14回	2年生の向けての準備	・時事問題を考える　新聞・ニュースサイトの活用 ・SPI言語　文章問題⑤
15回	後期のまとめ	・後期の復習 ・春休みの課題説明

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル,観光,エアライン,鉄道,IHM日,夜間総合観光科
科目名	SPI非言語対策			クラス	ELNQRU日 Y
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫・北村正雄				
授業概要(内容)	テキストの基本問題と実際に各企業に出題された過去問まで、自信もって能力検査試験に臨める講義内容です。講義内容と受検の問題が完全に一致しています。			授業形態	講義
到達目標	航空系、旅行系、ホテル系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	SPI基本問題集				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択			
事前・事後学習について	事前学習・テキストのプリント問題は必ず予習してください 事後学習・板書はとてもノートにまとめ易い内容なので予習より復習が大切				

	テーマ	授業内容
1回	損益算2 p64～82	損益算の基本公式の確認 原価 定価 売価 を求める公式 原価も定価も売価も不明の時 総原価 総利益 総定価 を求める問題 各コースの企業の過去問を中心に応用問題にチャレンジ
2回	Webテスティング対策	Webテスティングは最近急速に採用している企業が増加しています。問題を作っているのは(株)リクルートキャリア社なので、SPIと似ています。 異なる点は、PC環境のある、学校・自宅・ネットカフェなどで受験できます。SPIと異なり、選択肢がほとんどなく、自分で解答を導き出す必要があります。
3回	集合 p178～p186	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。集合はカブリのことです。 ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。
4回	集合 p178～p186	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。集合はカブリのことです。 ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。
5回	順列2 p136～p145	全体の数nの中からr個を取り出して並べるときの並べ方 nPr 順列公式 P＝Permutation 重複順列 nr乗 円順列 (n－1)！ 順列では、もも かき ミカン・もも ミカン かき・かき もも ミカン・ かき ミカン もも・ ミカン もも かき ミカン かき もも・ すべて別物とみる 順番だけを見る 形式的な考え方 前期の応用 テキストの問題プリントC
6回	組み合わせ ・確率2 p158～p170	n個の中からr個を取り出し選ぶ時の選び方 nCr 組み合わせの公式 C＝Combination 重複組み合わせ n＋r－1Cr 組み合わせでは、もも かき ミカン・もも ミカン かき・かき もも ミカン・ かき ミカン もも・もも かき ミカン・もも ミカン かき・すべて同じ物とみる 順番は異なっても中身は同じなので、実質的な考え方 前期の応用 重複組み合わせの公式 プリントC
7回	推論 1 p192～p201	位置の問題 アパート・ホテルの住人・宿泊客の部屋番号の特定 横一列に並んでいる本屋・クリーニング店・レストランなどのお店を問題文の条件を推理して各店の位置を特定する。
8回	推論 2 p192～p201	正誤の判断 嘘本当の発言 ABCなどの人たちの発言から誰が本当のことを言っているか、うそをついているのは誰か 勝敗 リーグ形式とトーナメント形式
9回	推論 3 p192～p201	順番の推理 身長差 体重差 マラソンの到着順 各店舗の売り上げの多い順 内訳(各自の発言や条件から内訳をを判断)
10回	推論 4 p192～p201	平均の推理 テストの平均点 売り上げの平均値 平均点の問題 平均点×人数＝総得点数 密度と濃度 モノの流れと比率の問題
11回	資料の読み p202～p219	円グラフ 棒グラフ 折れ線グラフ 実数 構成比 指数を求め数値を読み解く 桁数の多い数字が並ぶので、概算の数字を出して素早く計算する能力が要求されます。
12回	資料の読み p202～p219	円グラフ 棒グラフ 折れ線グラフ 実数 構成比 指数を求め数値を読み解く 桁数の多い数字が並ぶので、概算の数字を出して素早く計算する能力が要求されます。
13回	比例 関数 p120～p127	Y＝ax Y＝ax＋b Y＝ax2乗＋b 一次関数 二次関数 傾き 切片 比例定数 条件と領域 一次関数を解きなさいという問題は傾きと切片を求めよという問題です。二次関数はほとんど出題されません。 二次関数は円の面積です。Y＝axの二乗 a＝パイ 3．14一次関数の直線のグラフ 右下がりか右上がりか X軸Y軸に平行の直線など
14回	立方体の回転 面の位置	サイコロや立方体を左右・前後に何回か回転させたのち、Aの面の回転の軌跡、Aの面が上に来ない場合の回転の仕方。 立方体の性質が分かればすぐに解けるので、絶対に落とせない分野
15回	構造的把握力検査p281～p283	この分野は、SPI・3になって初めて導入された分野です。 1問5択の選択肢が用意されています。問題処理の考え方の構造が似ているものを二つ選ぶ問題。 慣れないと問題の意味を理解するのが難しい。問題を解いても正解に到達できるわけではありません。

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科、国際ホテルマネジメント科
科目名	ホテル英会話Ⅰ			クラス	EU
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝、日高郁子、松本範子				
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の基本的な表現を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で対応できるようになる				
使用テキスト	ホテル英会話I 基礎編				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択			
事前・事後学習について	ホテル実習で実際に使えるよう語彙・表現を復習する				

	テーマ	授業内容
1回	前期復習	前期の復習 ・ 後期授業の進め方 実習などの感想を英語で言ってみよう
2回	Lesson 6 Bell Person	Dialogue 1 & 2
3回	Lesson 6 Bell Person	Dialogue 3 & 4
4回	Lesson 6 Bell Person	Dialogue 5 & 6 Lesson 6 小テスト
5回	Lesson 7 Cloakroom	Dialogue 1 & 2
6回	Lesson 7 Cloakroom	Dialogue 3 Lesson 7 小テスト
7回	Lesson 8 Front Desk Staff	Dialogue 1
8回	Lesson 8 Front Desk Staff	Dialogue 2 & 3
9回	Lesson 8 Front Desk Staff	Dialogue 4 & 5 Lesson 8 小テスト
10回	Lesson 9 Housekeeper	Dialogue 1 & 2
11回	Lesson 9 Housekeeper	Dialogue 3 & 4 Lesson 9 小テスト
12回	Lesson 10 Restaurant Staff	Dialogue 1 & 2
13回	Lesson 10 Restaurant Staff	Dialogue 3 & 4
14回	後期まとめ	後期まとめ・期末試験対策
15回	一年間のまとめ	一年間の総復習

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年	学科	全科（夜間総合観光科除く）
科目名	韓国語			クラス	ENLQRABMS
担当講師（フルネーム）	権京愛 ・ クォン･ヒョッギュ				
授業概要（内容）	ハングルが読める、書ける、聞き取れるようになる。 文法を習い、短いフレーズを覚え、簡単な会話ができるようになる。			授業形態	講義
到達目標	将来職場で活用できるように韓国語の基礎を自然に身に付けることを目標とする。				
使用テキスト	ゼロからスタート韓国語（会話編） 著者名：鶴見ユミ 出版社：Jリサーチ出版				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択			
事前・事後学習について	毎回の授業内容の復習と練習問題を解くこと。				

	テーマ	授業内容
1回	文字の復習	久しぶりに会ったクラスメートと韓国語で挨拶し、話しかける練習をする。 前期に学んだハングルの母音、子音、バッチムの仕組みをもう一度お浚いし、しっかり読み書きができるようにする。 テキストの練習問題にある内容で会話の練習をする。
2回	指示詞	指示詞を覚え、物を尋ねる表現を学ぶ。 「これは」 「それは」 「あれは」「何ですか？」「何個あります？」のように会話練習をする。 教室にある物を利用し、名前を尋ねる会話練習をする。
3回	日付	時を尋ねる表現を学んで会話練習をする。 1月～12月、1日～31日までの言い方を発音に気を付けながら覚える。 クラスメートと「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか？」などと互いに会話練習をする。
4回	曜日	カレンダーを見ながら 「何月何日は何曜日ですか」 と会話の練習をする。 「昨日」、「今日」、「明日」、「あさって」の言い方も一緒に覚える。 昨日あった事など日記を書いてみよう！
5回	場所を尋ねる	場所の表現 「どこ」「どこから」「どこでも」「どこか」 の言い方を学ぶ。 クラスメートと待ち合わせの場所を決める会話の練習をする。 「前」「横」「上」「下」の言い方も一緒に覚え、会話をする。
6回	一般疑問文「何の～」	物の性質を尋ねる表現を学ぶ。 「これは何の本ですか」 の答として 「韓国語の本です」 のように発音に気を付けながら、覚える。 いろんな例を挙げ、会話の練習をする。
7回	韓国文化に触れるⅠ	韓国映画を見て韓国の文化に触れ、より楽しく韓国語の学習が続けられるようにする。 映画のセリフを聞き、聞き取れる単語をメモしながら鑑賞する。 映画を見た後、食文化など日本と韓国の文化の違いについてみんなで話し合う。
8回	旅行会話	韓国旅行に行ったつもりで、道を聞いたり駅で切符を買ったりするための会話練習をする。 買い物をする時、必要な数字を復習し、しっかり言えるように練習を繰り返す。
9回	形容詞	日常生活によく使われる形容詞を学ぶ。 「どんな～ですか」 の問いに形容詞で答える練習をする。 名詞を修飾する形容詞の連体形の活用を覚え、会話の練習をする。
10回	ホテル会話	韓国のホテルに宿泊する際に必要な会話を学ぶ。 ホテルのチェックインやサービスを頼んだりレストランを利用する際に必要な会話を練習する。
11回	空港会話	韓国の空港で必要な韓国語の表現を学ぶ。 税関検査を受けたり荷物を預けたりするために会話練習をする。
12回	程度と数量	「～から～までどれぐらいかかりますか」 の表現を学んで、置き換え練習をする。 実際、旅行に行ったつもりで発音に気を付けながら会話の練習をする。 費用、時間、分量などが答えられるように数字をもう一度復習する。
13回	サバイバル韓国語	韓国旅行で急に具合が悪くなったりトラブルに巻き込まれたりした時のための表現を学ぶ。 病院や薬局、歯医者などで必要な簡単なフレーズを覚え、ロールプレイする。 荷物を紛失した時の対処法のフレーズを覚える。
14回	韓国文化に触れるⅡ	韓国映画を見て韓国の文化に触れ、より楽しく韓国語の学習が続けられるようにする。 映画のセリフを聞き、聞き取れる単語をメモしながら鑑賞する。 映画を見た後、食文化など日本と韓国の文化の違いについてみんなで話し合う。
15回	まとめ	期末試験に備え、まとめて復習をする。 文型、発音などをもう一度お浚いし、まだ分からないところを確認し、覚える。 一年を振り替え、既習の韓国語で感想を発表する。

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、観光、鉄道、エアライン、国際ホテルマネジメント科
科目名	中国語			クラス	ENLQR/ABMS
担当講師(フルネーム)	青山祐子				
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について解説			授業形態	講義
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする。				
使用テキスト	初めまして！中国語(白水社)				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試験60%平常点40%			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択			
事前・事後学習について	中国語の音読、語彙の習得，その後、文の表現が出来るようになる。				

	テーマ	授業内容
1回	前期の復習	前期期末テストの答え合わせ
2回	第8課　バス停で	24. 連動文 25. 前置詞"在"
3回	トレーニング8	26. 時刻の言い方 27. "是"の省略　　◆時を表わす語(2)
4回	復習2　鈴木君の一日	1. 存在の"有"と所在の"在" 2. 実現・完了の"了" 3. 動詞述語文(2)　　4. 前置詞の"在"
5回	第9課　放課後に	28. 助動詞 "会"・"能"・"可以"
6回	トレーニング9	29. 前置詞 "跟"と"给" 30. 主述述語文
7回	第10課　卓球の中継を見ながら	31. 様態補語 32. 経験を表わす"过"
8回	トレーニング10	33.比較を表わす"比" 34. 動詞 "喜欢"
9回	中国の映画を鑑賞しよう！前篇	※ 習った単語を探そう
10回	中国の映画を鑑賞しよう！後篇	※ 習った単語を探そう
11回	第11課　ディズニーランドで待ち合わせ	35. 進行を表わす"在"
12回	トレーニング11	36. 方向補語 37. 選択疑問文
13回	第12課　カフェテラスで	38. "是～的"の文 39. 結果補語
14回	トレーニング12	40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語
15回	期末テストの対策	今まで勉強した内容についてのおさらい

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル　国際ホテルﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ科
科目名	フランス語			クラス	E/ABS
担当講師（フルネーム）	ニコラ ドゥ メニス				
授業概要（内容）	フランスで旅行出来るために、簡単な質問と答えを増やす。 フランス語でフランスの文化を学んで、フランスに興味を作る。			授業形態	講義
到達目標	主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。				
使用テキスト	Pascal au Japon & Spirale				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	前のレッスンのメモを読むこと。プリントがあった場合は、同じ文法を使って、1～2文章を書く事				

	テーマ	授業内容
1回	フランスの文化	前期の復習 フランスでの休みをフランス語で言います。 2回目のために、皆さんの夏休みを一言お話してもらいます。
2回	過去形 1	皆さんの夏休みについて話してもらいます。 過去形の文法を勉強します。
3回	過去形 2	過去形を使うロールプレイ・ゲームします。 最後に、ミニテストします。
4回	フランスへ旅行 1	旅行出来るために、飛行機、電車などの法乗り方を勉強します。 数字の復習・時間・お会計の勉強します。
5回	フランスへ旅行 2	旅行出来るために、ホテルの予約やチェックイン、レストランの注文を勉強します。 ロールプレイをしながらフランス料理の興味を作る。
6回	フランスへ旅行 3	ミニテスト 旅行にいいあるトラブルを解決が出来るために新しい文法を勉強します。
7回	プレゼンテーション 1	2-3人のグループで、フランスの有名な建物などのプレゼンをつくる。
8回	プレゼンテーション 2	作ったプレゼンを皆さんに見せます。
9回	未来形 1	未来の文法を勉強します。 未来のお話します。
10回	未来形 2	未来形を使って自分の目的やプランを話します。 グループでロールプレイします。
11回	意見 1	ミニテスト フランス語の景色を紹介されるビデオを見て、自分の意見を言います。
12回	意見 2	グループで、フランス語を使って自分に合う旅行のプランを作ります。
13回	まとめ	今年勉強しましたフランス語をまとめて、テストに向けて復習します。
14回	テスト	授業中に実施
15回	映画	リストから見たい映画を選んで見ます。

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、国際ホテルマネジメント科
科目名	ホテル英会話II			クラス	ABS
担当講師(フルネーム)	日高、松本、中牟田登喜枝				
授業概要(内容)	ホテル業界で実際に使う英語の基本表現、応用表現を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	英語での応対はもちろんホテルでの苦情処理、緊急事態に対処できる英語力を身につける				
使用テキスト	ホテル英会話II 応用編				
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択			
事前・事後学習について	おもてなしの英会話を実際の状況で使ってみよう				

	テーマ	授業内容
1回	前期復習	前期で、学んだ重要な会話の復習
2回	Lesson 6 Telephone and paging	Dialogue 1 Dialogue 2
3回	Lesson 6 Telephone and paging	Dialogue3 Dialogue4 Dialogue5
4回	Lesson 7 Restaurant	Lesson 6 小テスト dialogue1
5回	Lesson 7 Restaurant	Dialogue2
6回	Lesson 7 Restaurant	Dialogue3
7回	Lesson 7 Restaurant	Dialogue4
8回	Lesson 8 Bar and cocktail lounge	Lesson7 小テスト Dialogue1 Dialogue2
9回	Lesson 8 Bar and cocktail lounge	Dialogue3
10回	Lesson 9 complaints	Lesson 8. 小テスト Dialogue1-3
11回	Lesson 9 complaints	Dialogue4-6
12回	Lesson 9 complaints	Dialogue7-9
13回	Lesson 10 Emergencies	Lesson 9 小テスト Dialogue1,2
14回	Lesson 10 Emergencies	Dialogue3,4
15回	後期まとめ	Lesson 10 小テスト 後期復習

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	トラベル・鉄道・エアライン・夜間総合観光科	
科目名	コンピュータ				クラス	K・M・O・P・Z
担当講師(フルネーム)	乙咩清美					
授業概要(内容)	10分タイピング、タイピングコンテスト、ビジネスメールやクラウドの活用 基本的な文書や表を作成したり、画像を扱ったポップの作成				授業形態	講義
到達目標	Word・Excelを活用して資料作成できる力をつける。クラウドを活用してスマホ・PCを使いこなせるようになる。					
使用テキスト	30時間でマスター　Office2016					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	授業で学んだことを各自復習しておくこと					

	テーマ	授業内容
1回	パソコンの活用	Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 パワーポイントでショートムービーやグリーティングカードの作成 クラウドを活用して、スマホのメールやSNSに使用してみる
2回	パソコンの活用	ビジネスメールの基本を学び、ビジネス文書との違いを知ろう！ ビジネスネールの形式とマナー 添付ファイル付きで送信(写真やWord文書のPDFファイルを添付)
3回	Excel基礎・応用	1年次の復習 効率よく表を作成する方法、データ入力についておさらい 相対参照と絶対参照の計算式を理解し、割合の計算など、ビジネスで一般的な計算式を学ぶ
4回	Excel基礎・応用	基本的な関数を復習し、マスターする 基本的な関数の応用力をマスターする
5回	Excel基礎・応用	テキストの練習問題やその他の問題を使って、Excelの計算に慣れる
6回	Excel基礎・応用	条件式の作り方を学び、高度な関数を利用してみる 関数のネストについて学ぶ
7回	Word・Excel活用	Excelで資料作り ExcelデータをWord文書で体裁よく仕上げる
8回	Word・Excel活用	Excelで資料作り ExcelデータをWord文書で体裁よく仕上げる
9回	Word・Excel活用	Excelで資料作り ExcelデータをWord文書で体裁よく仕上げる
10回	Word・Excel活用	Excelで資料作り ExcelデータをWord文書で体裁よく仕上げる
11回	Excel学期内テスト	
12回	PowerPoint応用	2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 使用する画像の準備 ストーリーの構成作り
13回	PowerPoint応用	2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 使用する音源の準備 スライド作成
14回	PowerPoint応用	2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 スライドの編集
15回	PowerPoint応用	2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの仕上・発表

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・トラベル・鉄道・エアライン・エアポート・国際ホテルマネジメント科
科目名	コミュニケーション イングリッシュ			クラス	A,B,K,M,O,P,S日クラス
担当講師(フルネーム)	秋満 陽子、日高 郁子				
授業概要(内容)	日常生活で使う語彙や会話表現を学び、英語でコミュニケーションがとれるようにする。			授業形態	講義
到達目標	学んだ表現を使うことで自信をつけ、英語を使うことへの抵抗感を払しょくする。				
使用テキスト	Passport Plus				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%(平常点の基準は担当講師により異なります) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	学んだ語彙や表現を復習する。 ※学生のレベルによりシラバスどおりに進まない場合があります。				

	テーマ	授業内容
1回	前期の復習	前期の復習を兼ねて"What did you do during the summer vacation?" というトピックで話す。
2回	11. You can take the *Shinkansen*	外国人に乗り物の乗り方や、チケットの買い方、値段、出発時刻を教えよう
3回	12. Don't forget your cameras!	オプショナルツアーのガイドになったつもりで外国人に案内しよう What time? Where? How long? などの質問に対する答え方
4回	13. Where can I buy some souvenirs?	外国人に日本のおすすめのお土産を紹介しよう (おみやげの内容も説明する)
5回	14. What would you like to eat?	和食を紹介しよう (使われている調味料や材料も説明する。ベジタリアンなどについても学ぶ)
6回	15. What a beautiful apartment!	日本家屋を紹介しよう 日本ならではのお風呂やふとん、こたつなども説明する
7回	16. You have to leave your shoes here	日本の観光地に案内しよう
8回	17. I agree with you	自分の意見をはっきり伝えよう
9回	18. Could I have your flight details?	お願いするためのフレーズを学ぼう Could you～？　Could I ～？　等
10回	19. There's a mistake on my bill	ホテルのチェックイン＆チェックアウトの仕方を学ぼう
11回	20. Have a safe trip home!	感謝の気持ちを伝えよう
12回	これまでの復習	これまでの復習、Speaking Test　グループ分け、 Speaking Test 練習
13回	Speaking Test	
14回	Speaking Test	
15回	Speaking Test	Speaking Test 予備日、前期の総まとめ

対象学年	2年	学期	通年	学科	2年選択	
科目名	TOEIC				クラス	A,B,K,O,P,N
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝					
授業概要(内容)	TOEIC試験形式になれ、聴解力、読解力を高める TOEIC出題頻度の高い語彙、文法知識を知る				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストを理解し、受験準備をする					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集4					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	検定を受けて実力を知りましょう					

	テーマ	授業内容
1回	TOEIC reading	vocabulary test ① 文法問題 text test2 part5
2回	TOEIC listening	vocabulary test ② 文法問題 text test2 part1
3回	TOEIC reading	vocabullary test ③ 文法問題 text test2 part6
4回	TOEIC listening	vocabulary test ④ 文法問題 text test2 part2
5回	TOEIC reading	vocabulary test ⑤ 文法問題 text test2 part7-1
6回	TOEIC listening	vocabulary test ⑥ 文法問題 text test2 part3
7回	TOEIC reading	vocabulary test ⑦ 文法問題 text test2 part7-2
8回	TOEIC listening	vocabulary test ⑧ 文法問題 text test2 part4
9回	TOEIC reading	vocabulary test ⑨ 文法問題 text test2 part7-3
10回	TOEIC listening	vocabulary test ⑩ 文法問題
11回	TOEIC reading	vocabulary test ⑪ 文法問題 text test1 part5
12回	TOEIC listening	vocabulary test ⑫ 文法問題 text test1 part 1&2
13回	TOEIC reading	vocabulary test ⑬ 文法問題 text test1 part6
14回	TOEIC listening	vocabulary test ⑭ 文法問題 text test1 part3
15回	学期末まとめ	vocabulary 復習 text test1 part4

対象学年	2・3年共通	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル、観光、鉄道、国際ホテルマネジメント科
科目名	社会情勢研究			クラス	ABKMS
担当講師（フルネーム）	前田恭子				
授業概要（内容）	社会人として知っておくべきニュースを新聞を用いながら理解を深める			授業形態	講義
到達目標	新聞に興味を持ち、世の中の流れや話題になっているニュースを把握できるようにする				
使用テキスト	プリント使用				
成績評価方法	・期末試験50%、平常点50%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	日頃からニュースに興味を持ちましょう				

	テーマ	授業内容
1回	ニュースの発信源を知る	・授業の進め方、評価方法について理解する ・新聞を読む意義を理解する ・日本および主要国の新聞社・通信社について学ぶ
2回	新聞の構成を知る	・新聞の構成を知り、必要な情報を探し出せるようにする ・コラムを読んで、筆者が伝えたいことがわかるようにする
3回	新聞研究①	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする
4回	新聞研究②	・記事をジャンル分けできるようにする ・記事の要旨を「5W1H」を意識して書くことができるようにする
5回	新聞研究③	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする
6回	新聞研究④	・難解な語彙を調べながら記事を読み進めることができるようにする ・記事の要旨とともに自分の意見も書けるようにする
7回	新聞研究⑤	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする
8回	新聞研究⑥	・記事の背景を調べながら記事を読み進めることができるようにする ・記事の要旨とともに自分の意見を発表できるようにする
9回	新聞研究⑦	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする
10回	新聞研究⑧	・興味の幅を広げて記事を読めるようにする ・記事の要旨を写真・絵・図・グラフなどを使って発表できるようにする
11回	新聞研究⑨	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする
12回	新聞研究⑩	・グループで記事をまとめて新聞を作成する
13回	新聞研究⑪	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする
14回	新聞研究⑫	・グループで記事をまとめて新聞を作成する
15回	後期のまとめ	・授業内に期末テストを実施する

ホテル・ブライダル

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル　科
科目名	レストラン＆バンケットサービス			クラス	E
担当講師（フルネーム）	長野　美穂				
授業概要（内容）	前期に引き続きレストランサービスの知識を身に付ける			授業形態	講義＆演習
到達目標	次年度のHRS実技試験に対応できるようになる				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	授業中に習得できなかったものについては各自で復習				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	実習を振り返る サーバー練習
2回	中国料理	四大中国料理の特徴を知る サーバー練習
3回	宴会サービス	催事はビジネスチャンス これで安心！立食パーティーのマナー
4回	宴会サービス	時間との勝負！テーブルセッティング 全員で時間内に会場を作り上げる
5回	ワーキング・ディナー	ワーキング・ディナーとは 知っておきたい接客の心理学
6回	レストランの値段	原価率のお話 モノの値段の決め方を学ぶ
7回	レストランの設備	レストランの雰囲気作りの秘密 お客様の命を守る！レストラン（ホテル）の安全管理
8回	レストランマーケティング	マーケティングの基本 売れているモノが売れている理由
9回	レストランウェディング	レストランウェディングの特徴 幸せを呼ぶアイテムたち
10回	カフェ業界の戦略	ライバル業界を偵察 カフェ業界の知られざる集客の仕組み
11回	グループワーク	テーブルコーディネートのプラン作成
12回	グループワーク	テーブルコーディネート作成と撮影
13回	期末試験発表	課題発表 ひたすら練習
14回	実技練習	期末試験 制限時間内にロールプレイング
15回	期末試験	期末試験 制限時間内にロールプレイング

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	ソムリエ＆バーテンダー			クラス	E
担当講師（フルネーム）	橋口淳二				
授業概要（内容）	酒類に興味を持ってもらい、FBの面白さを合わせて知ってもらうこと レストラン・バー業務に活かせるようにすること			授業形態	講義＆演習
到達目標	バー、ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得				
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ　バーラウンジ編				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。				

	テーマ	授業内容
1回	**シラバス説明**	成績評価の説明と後期授業を行うにあたり注意点 前期期末試験答案返却、答案合わせ
2回	**酒の基礎知識**	酒の歴史について
3回	**酒の基礎知識**	醸造酒、蒸留酒、混成酒について
4回	**ウィスキーについて**	ウィスキー歴史、生産国、原料、その他
5回	**ジン、ウォッカについて**	スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について
6回	**テキーラ、ラムについて**	スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について
7回	**ブランデーについて**	ブランディーについて、生産国、原料、生産方法について
8回	**日本酒と焼酎について**	日本の酒類について
9回	**カクテルの基礎**	カクテル取り扱い器具について 動画で学ぶカクテル世界手順
10回	**カクテルの基礎知識**	カクテル取り扱い器具について 作成へ向けて実技
11回	**カクテル実技**	作成へ向けて実技
12回	**カクテル実技**	知識の総まとめ
13回	**カクテル実技**	オリジナルカクテル作成
14回	**カクテル実技**	オリジナルカクテル作成
15回	**カクテル実技**	オリジナルカクテル作成

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル科	
科目名	フロントサービス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	松本　範子					
授業概要(内容)	宿泊部門の業務内容、及び他部門との連帯作業を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	宿泊部門の日常業務の理解と技術取得、並びにサービスについて考える					
使用テキスト	「宿泊業務の基礎」日本ホテル教育センター発行					
成績評価方法	・授業内筆記テスト40%、グループワーク40%、平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択					
事前・事後学習について	学んだ事を実際に活かせるようにする。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	後期の授業内容 サービスとは
2回	ハウスキーピング	組織体系 客室のタイプとレイアウト
3回	ハウスキーピング	客室およびバスルームの設備・家具・備品
4回	ハウスキーピング	ハウスキーピング業務の流れ
5回	ハウスキーピング	ハウスキーピング業務の流れの続き
6回	ハウスキーピング	ベッドメイキングとターンダウン
7回	ハウスキーピング	実技
8回	ハウスキーピング	実技 ルーム・インスペクション
9回	ハウスキーピング	ルーム・コントロール ルーム・キー ハウスキーピングにおける苦情の原因と対処方法
10回	テスト	ハウスキーピングテスト
11回	ハウスキーピング	新しい客室内サービス バトラーサービス
12回	ハウスキーピング	新しい客室内サービス・バトラーサービスの続き
13回	ハウスキーピング	ルームアメニティと環境問題
14回	ハウスキーピング	ルームアメニティと環境問題の続き
15回	フロントオフィス	フロントオフィスとは

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル･ブライダル科
科目名	ホテル学入門			クラス	E
担当講師(フルネーム)	小西翼				
授業概要(内容)	ホテルの役割や世界中のホテルについて学ぶ。			授業形態	講義
到達目標	授業で得た知識を、就職活動の企業選びの際に活用できるようになる。				
使用テキスト	最新ホテルマーケティング論				
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	授業以外にも、ホテル業界の最新ニュースを常にキャッチすること。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	後期の学習内容について説明 評価方法を説明 実習で得たホテルの情報や知識をまとめる
2回	レピュテーションマネジメント	旅先での宿を決定するときの決め手は？ 実習先の情報を引き続きまとめる
3回	発表	先週までにまとめたホテルの情報をクラスで発表する
4回	外資系のホテル	マリオットインターナショナル系列のホテルを紹介
5回	外資系のホテル	ハイアットホテルズ系列のホテルを紹介
6回	外資系のホテル	ヒルトン･ワールドワイド系列のホテルを紹介
7回	外資系のホテル	インターコンチネンタルホテルズ系列のホテルを紹介
8回	国内のシティホテル	東日本のシティホテルを紹介
9回	国内のシティホテル	西日本のシティホテルを紹介
10回	国内のリゾートホテル	東日本のリゾートホテルを紹介
11回	国内のリゾートホテル	東日本のリゾートホテルを紹介
12回	国内のビジネスホテル	有名なビジネスホテルチェーンを紹介
13回	旅館	国内の有名な旅館を紹介 九州が誇る、ゆふいん三大旅館
14回	ホテルで働くということ	他の業種との違い 勤務形態(二交代・三交代) 雇用形態(正社員・契約社員など)
15回	後期まとめ	前期の学習内容についてのまとめ、振り返り

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル･ブライダル科
科目名	ホテル総論			クラス	E
担当講師(フルネーム)	長野　美穂				
授業概要(内容)	講義と過去問題を中心に、宿泊・料飲等、ホテルの各部門にわたっての総合的な知識を身につける			授業形態	講義
到達目標	ホテル実務技能認定試験(初級)合格を目指す				
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験　初級過去問題集				
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	解説を受けた事項は、翌週の授業までに各自で復習を行うこと。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・ホテル実務技能認定試験について ・授業の進め方、評価方法 ・接遇分野演習
2回	ホテル実務技能認定試験問題集	・接遇分野演習 ・解答 ・解説
3回	料飲分野の知識①	・フルコースの成り立ちと各食材について学ぶ
4回	料飲分野の知識②	・飲料、その他の知識について学ぶ
5回	ホテル実務技能認定試験問題集	・料飲分野演習問題 ・解答 ・解説
6回	ホテル実務技能認定試験問題集	・料飲分野演習問題 ・解答 ・解説
7回	ホテル実務技能認定試験問題集	・語学分野演習問題 ・解答 ・解説
8回	ホテル実務技能認定試験問題集	・その他分野演習問題 ・解答 ・解説
9回	ホテル実務技能認定試験過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習
10回	ホテル実務技能認定試験過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習
11回	ホテル実務技能認定試験過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習
12回	ホテル実務技能認定試験過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習
13回	ホテル実務技能認定試験過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習
14回	テスト前復習	・過去問題 ・解答、解説、復習
15回	試験の振り返りと期末テストについて	・ホテル実務技能認定試験振り返り ・期末試験について

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	就職活動講座			クラス	E
担当講師（フルネーム）	安部紀美江				
授業概要（内容）	・面接対策のフォローアップをし、志望する企業への内定を勝ち取る。			授業形態	講義
到達目標	・志望する企業の絞り込みを行い、内定へと導く。				
使用テキスト	・「NEW SUCCESS　勝つための就職ガイド」　・就職ノート　　・オリジナルレジュメ				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度･･･50%　・作成提出物による評価･･･50%			単位数	1
期末試験 ×	※期末試験期間中に実施･･･○　授業中に実施･･･△期末試験なし･･･×　を枠に選択				
事前・事後学習について	・宿題となった提出物については期限までに必ず完成させる。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション・自己PR	・後期授業内容の説明
2回	自己PR作成	・多様性のある自己PRを作ることでどの様な質問でもPRできるようにする
3回	自由表現	・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。
4回	自由表現	・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。
5回	志望動機の作り方	・モデルケースの志望動機を作ってみる。
6回	志望動機の作り方	・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。
7回	企業研究	・エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 ・エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 ・過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。
8回	企業研究	・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。
9回	企業研究	・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。
10回	志望企業の研究	・受験する企業を絞り込み、その企業に合わせた対策を考えることで自信につなげていく。 ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成
11回	面接対策	・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント
12回	面接対策	・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。
13回	面接対策	・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。
14回	面接対策	・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。
15回	完成品のチェック	・後期提出物のチェック

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	面接対策講座				クラス	E
担当講師(フルネーム)	宮前訓子					
授業概要(内容)	就職に対する心構えと面接に対する理解を深める(**制服着用**) 相手に伝えたい自分を表現する方法を習得する				授業形態	講義
到達目標	一次面接を突破するため、第一印象を磨く					
使用テキスト	使いません (毎回プリントを配布しますので専用のクリアファイルかバーファイルをご用意ください)←初回に説明します					
成績評価方法	・期末試験60% 提出物20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	自己分析や自己PRのために読書や趣味などの時間を増やしておいてください。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	面接の本質を理解する 第一印象の重要性について自覚する 実技 ・・・ お辞儀の訓練
2回	自己分析①	自己分析のやり方を理解する 私のパーソナリティ(プリント)を使用して自己分析する→発表 実技 ・・・ 表情訓練
3回	自己分析②	自己分析のやり方を理解する 私のパーソナリティ(プリント)を使用して自己分析する→発表 実技 ・・・ 入室・退室
4回	自己分析③	自己分析のやり方を理解する 他人から見た自分を知り自己分析に生かす 実技 ： 自己紹介
5回	自己PR①	自己PRの方法を学ぶ 自分の短所長所 実技 ： 人前で話すことになれる
6回	自己PR②	自己PRの方法を学ぶ 自己PR 実技 ： 人前で話すことになれる
7回	自己PR③	自己PRの方法を学ぶ 自己PR 実技 ： 人前で話すことになれる
8回	グループディスカッション①	グループディスカッションを理解する グループディスカッションのやり方を習得 実技 ： かんたんなテーマを体験する
9回	グループディスカッション②	グループディスカッションを理解する 実技 ： 過去問題を体験する
10回	志望動機①	志望動機の作成の仕方を学ぶ 実技 ： 人前で話す
11回	志望動機②	志望動機の作成の仕方を学ぶ 実技 ： 人前で話す
12回	質疑応答対策①	あらゆる質問に答える 実技 ：学生役・面接役両方を体験する
13回	質疑応答対策②	あらゆる質問に答える 実技 ：学生役・面接役両方を体験する
14回	試験	面接の実技試験を受ける
15回	試験	面接の実技試験を受ける

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	和のサービス			クラス	E選択
担当講師(フルネーム)	長野　美穂				
授業概要(内容)	旬の食材や季節の行事、日本料理の特徴などを詳しく学ぶ			授業形態	講義
到達目標	料理や思想、その他様々な観点から日本文化の特徴が語れるようになる				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	期末テスト100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	ノートを参考に各自で復習を行う				

	テーマ	授業内容
1回	ホテルと旅館	ホテルと旅館　それぞれの魅力を知る 食材には3つの顔がある
2回	和室の立居振舞	和室のルールを知る お客様の出迎え～湯茶のサービスの重要ポイント
3回	言葉遣い	美しい言葉遣い 知っておきたい業界用語
4回	シーンに合わせた準備	掛け軸に隠された意味を知る 和室の整え方
5回	日本料理	☯このマークが関係します 究極のサービス　それは…
6回	板場の世界	知っておきたい調理法 お造り　それは…
7回	器の話	木と石と土の器の話 好きな焼物を見つけよう
8回	アルコールのサービス	ビール、日本酒、焼酎を美味しく提供するために 美味しい水割りのつくりかた
9回	法要	難易度の高い法要のサービスを学ぶ 精進料理　それは…
10回	見合いと結納	お見合いサービスの注意点を学ぶ 忌み言葉　それは…
11回	温泉地研究	人気のある温泉地の秘密を探る 正しい温泉の入浴方法を知る
12回	正月準備	おせち料理に込められた意味 2020年を良い年にするために…
13回	鍋料理(すき焼き)	鍋奉行を目指して 激動の明治時代を学ぶ
14回	期末テスト	食材アレルギーの話 ラスト30分で筆記試験実施
15回	家紋の話	期末試験フィードバック あなたの家の家紋を調べてきてください 伝統文様の話

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	プランナー実務			クラス	E選択
担当講師（フルネーム）	米倉千幸				
授業概要（内容）	・ブライダルプランナーになる為の基礎知識について ・プランナーとしての心構えや基本接客トーク、打ち合わせの流れについて			授業形態	講義
到達目標	・ブライダルプランナーとしてのウェディングシステムを使用した接客スキルの習得				
使用テキスト	RWA（システム）				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	ゼクシイなどブライダル情報誌などの閲覧や情報収集、ウェディング系サイト　みんなのウェディングやウェディングパークなど事前閲覧				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・自己紹介 ・前期授業スケジュールの説明と成績評価方法についての説明 ・パソコンID　セットアップ方法
2回	ブライダル業界とは	・ブライダル業界を取り巻く職種とそれぞれの役割 （RWA－A） ・現在のブライダルプランナーの接客スタイルとは （RWA－B） ・ブライダルプランナーとしての打ち合わせの流れ　成約～当日 （RWA－B）
3回	ブライダルのABC	・ブライダル用語とは ・挙式スタイルの分類 （RWA－A） ・披露宴のスタイルと一般的な流れ （RWA－B）
4回	日本におけるブライダル 外国におけるブライダル	・ブライダルの歴史（日本・外国） ・ブライダルに関連した日本・外国の慣習・しきたり （RWA－A・B）
5回	ブライダル市場の動向 ブライダル産業	・ブライダルの市場規模・近年の動向 ・ブライダル産業における関連業種 （RWA－A） ・ブライダル関連部門の組織・機能 （RWA－A・B）
6回	ブライダルアイテム1	・挙式　RWA-A ・披露宴
7回	ブライダルアイテム2	・料理　RWA-A ・装花
8回	ブライダルアイテム3	・衣裳　RWA-A ・美容 ・演出　・写真
9回	ブライダルサービス実務 Vol. 1	・ブライダルサービスとは ・ブライダルサービス実務の一般的な流れ （資料請求対応～アンケート～会場案内～仮予約～本予約） （RWA－A・B）
10回	ブライダルサービス実務 Vol. 2	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ （婚礼打ちわせ～手配・発注～最終確認） （RWA－A・B）
11回	ブライダルサービス実務 Vol. 3	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ （挙式当日～お開き後の業務～挙式日以降の業務） （RWA－A・B）
12回	ブライダルサービス実務 Vol. 4	・規約　・婚礼承書 ・申込金
13回	ブライダルサービス実務 まとめ	・ブライダル用語理解 ・敬語の使い分け理解
14回	ブライダルサービス実務 に必要な接遇マナー Vol. 2	・お客様対応上の留意点 ・よくある【クレーム】と【コンプレ】の実例
15回	まとめ	・全14回のふりかえり ・質疑応答（これまでの講義で気になったところや不安なところについて） ・これから社会へ出る皆さまへ伝えたい事（講師より）

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	コンシェルジュ				クラス	E
担当講師(フルネーム)	中牟田　登喜枝					
授業概要(内容)	コンシェルジュの業務内容と本来の意味を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	多様にわたる業務内容を学び、仕事へのアプローチの方法を知る					
使用テキスト	プリント配布、DVD					
成績評価方法	・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	身の回りの最新インフォメーションを常に取得する					

	テーマ	授業内容
1回	コンシェルジュとは	コンシェルジュの歴史 ヨーロッパとアメリカのコンシェルジュ コンシェルジュの資質
2回	コンシェルジュとは	世界組織　レ・クレドール
3回	ホテルのインフォメーション	ルーム・インフォメーション ハウス・インフォメーション
4回	ホテルのインフォメーション	メッセージ、バイハンド、ウイルコールフォー ログブック 帳票類とその使い方
5回	ホテル館内サービス	コンシェルジュデスクの設置とツール、各種手配、お客様の送迎 ルーム・インスペクション、ゲストヒストリー、スペシャルアメニティ
6回	ホテルのインフォメーション	シティインフォメーション 外国人のために市内観光を作ってみよう
7回	ホテルの館外サービス	国内外郵便、電話、電報、宅配便
8回	ホテルの館外サービス	他ホテル、レンタカー、レストラン、ツアー手配
9回	コンシェルジュストーリ	こんな要求、あなたならどうする？ お客様の要求をかなえるため誰に相談しますか？
10回	外客接遇	時差、ビザとパスポート、外国人登録書、保険 外貨両替、支払方法とつり銭
11回	外客接遇	国際儀礼 ハンディキャップ、ボディランゲージ 苦情、トラブル処理、病気と事故への応対
12回	外客接遇	外客接遇の重要性 宗教の概要とタブー
13回	外客接遇	宗教の概要とタブー 国民性、家族観、結婚観
14回	外客接遇	トイレ，風呂、挨拶、衣服、食事作法 チップ制度、宿泊施設
15回	学期末まとめ	後期復習 期末テストの範囲と内容確認

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライズビューティ				クラス	E
担当講師（フルネーム）	小川智子					
授業概要（内容）	トレンドを理解し将来的な流行を見据える能力と美意識の向上を目指す。				授業形態	講義
到達目標	「センス」をひとつの「スキル」として考え好印象の立ち居振る舞いや表情身だしなみなど短所を抑え長所を活かせる知識とテクニックを身に付ける。					
使用テキスト	プリント　他					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 **実技評価と授業態度　…　50%提出物による評価　…　50%**				単位数	2
期末試験 ×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択					
事前・事後学習について	調べ学習の事前準備、コーディネート課題の事前準備を行い授業終了後は振り返りを行う					

	テーマ	授業内容
1回	イメージ戦略　実習	好印象の自己紹介実習 ファッションとビューティーにおける色彩の役割
2回	イメージ戦略　実習	色の見え方とイメージ① 色使いの基本
3回	イメージ戦略　実習	色の見え方とイメージ② イメージ通りのスタイルを提案するには…
4回	イメージ戦略　実習	好印象ﾒｲｸとﾍｱｰｽﾀｲﾙ シーンごとの戦略
5回	イメージ戦略　実習	見た目重視のﾄｰﾀﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄとは
6回	イメージ戦略　実習	好印象のﾌｧｯｼｮﾝｾﾝｽとは
7回	イメージ戦略　実習	好印象の立ち居振る舞いとｳｫｰｷﾝｸﾞ実習 フォトジェニック戦略
8回	トレンド研究	分野，業界ごとのトレンドの仕組みを理解する
9回	トレンド研究	ﾌｧｯｼｮﾝを中心にトレンドの歴史について理解を深める
10回	トレンド研究	ブライダル市場の歴史とトレンドについて理解を深める
11回	ブライダル市場研究	ファッションとジュエリー
12回	ブライダル市場研究	演出
13回	ブライダル市場研究	2020ブライダル提案①
14回	ブライダル市場研究	2020ブライダル提案②
15回	まとめ	発表

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテル・ブライダルマーケティング				クラス	AB
担当講師(フルネーム)	吉良　牧子					
授業概要(内容)	マーケティングの意味や必要性を理解し、商品展開に結び付けられる力をつける				授業形態	講義
到達目標	ホスピタリティ産業に関するマーケティング知識を身につける。					
使用テキスト	ホテルマーケティング論					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	普段の生活でマーケティング理論が生かされているものに目を向ける。					

	テーマ	授業内容
1回	多様化するホテルの形態	都市型ホテルの形態、リゾートホテルの形態
2回	多様化するブライダルの形態	ブライダルの形態
3回	ホテルの売り上げを構成する要素	ホテル商品の基本　客室
4回	ホテルの売り上げを構成する要素	ホテルが販売する宴会商品、レストラン
5回	ブライダルの売り上げを構成する要素	婚礼マーケット
6回	ブライダルの売り上げを構成する要素	婚礼周辺のマーケット
7回	ホテルブライダルが行うパブリシティ活動	ホテルブライダルが行う広告活動
8回	AIDMAモデルとブランド戦略	ホテルブライダルが考えるブランド戦略
9回	ホテルブライダルブランド戦略立案	オリジナルのブランド戦略を考えよう
10回	ホテルブライダルブランド戦略立案	オリジナルのブランド戦略を考えよう
11回	ホテルブライダルブランド戦略立案	オリジナルのブランド戦略を発表しよう
12回	ホテルブライダルマーケティングとCSの連動	ホテルブライダルにおけるCSの必要性
13回	顧客情報管理	ホテルブライダルが行う顧客情報管理とは
14回	これからのホテルブライダルマーケティング	モバイルマーケティングやデータベースマーケティングについて
15回	後期のまとめ	後期授業のまとめ

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	ホテルマネジマント			クラス	A、Bクラス
担当講師(フルネーム)	橋口　淳二				
授業概要(内容)	マネジメント業務の基本的知識を学ぶ 業務上必要な各種管理部門について学ぶ			授業形態	講義
到達目標	マネジメントレベルの判断要素を到達とする				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	期末試験80%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	学習した技術を就業後に発揮できる。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する ヒエラルキー理論
2回	世間のコスト	店舗の心理学 儲かる店の法則
3回	防災防犯管理	防災、防犯管理
4回	労働契約	労働とは？契約とは？社員とは？
5回	サラリーとは	給料と休日についての正しい知識
6回	ホテルの性格	タイプ別ホテルの性格について
7回	開業手順	都市開発に連動したホテル開業について
8回	メニュープランニング	売れるメニュー分析
9回	実施計画	面白い構造ホテルと販売促進
10回	P&L	損益計算書分析
11回	販売促進管理	実線的な販売促進について
12回	顧客管理	顧客の付け方、持て成し方
13回	人事評価	人事評価、開発、イベントについて
14回	店舗の構造	よい会社とよい店舗構造について
15回	まとめ	後期授業の総まとめ

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	Web広告戦略			クラス	AB
担当講師(フルネーム)	田中　守				
授業概要(内容)	SNS時代のWeb広告戦略概論 動画制作の座学と実践			授業形態	講義＆演習
到達目標	Web広告の中でも動画を使った広告戦略を学び、実際に企画から撮影・編集を行って一人1作品を完成させる。				
使用テキスト	動画によるWeb広告戦略				
成績評価方法	・期末試験(作品評価)　80%　・平常点　20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	スマホｱﾌﾟﾘ　kinemaster(キネマスター)をスマホにインストールしておいてください。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業説明 授業を通して目指す目標の確認 著作権や肖像権、動画を公開するにあたり注意すべきことを学ぶ
2回	SNS時代の広告戦略概論	Web広告とは？ なぜ今、動画なのか？ 科学でも証明される動画の優位性について学ぶ
3回	動画制作の基礎	動画制作の手順を学ぶ。 動画作品の良し悪しを決める企画と構成について学ぶ。 観てもらえるもらえる動画とスルーされる動画の違い
4回	企画・構成ワーク	一人1テーマを決めて、企画・構成のワークを行う。 自分のテーマに沿って、誰をターゲットに、何のために、何を、どのように見せるのか？を決める。
5回	撮影の3要素 (カメラワーク)	カメラワークの3要素(構図、ポジション、アングル)の効果について学ぶ。 視聴者に作者の意図を伝えるカメラワークを学ぶ。
6回	撮影の3要素 (照明・音声)	照明の基本＝3点照明(キーライト、フィルライト、バックライト)について学ぶ。 音の大切さを知る。(音の性質とマイクの特性)
7回	撮影実習	実際に撮影をして、基本姿勢やカメラワークの練習、照明、マイクによる実践を学ぶ。 エレベーターピッチを使って自分をアピールしよう
8回	動画編集に慣れよう	動画編集ソフトの基本操作を学ぶ。 撮影した動画を使って編集の実践を行う。 静止画像や動画ファイルの種類と用途、加工方法を学ぶ。
9回	音編集／MA～完成	音編集ソフトを使って音声編集を行う。 音声ファイルの種類と用途について学ぶ。 現場音やBGM、効果音、ナレーションなどの音を加工編集して、映像と合成して動画を完成させる。
10回	動画の保存と公開	画像や動画、音声のファイル管理について学ぶ。 用途別の動画書き出し方と公開方法を学ぶ。
11回	作品制作実践	一人1作品を制作する。
12回	作品制作仕上げ	一人1作品を制作する。最終仕上げ。
13回	作品発表及び鑑賞会①	一人づつ自分の作品を発表する。 人の作品を鑑賞することによって自分の作品の良いところと反省点に気づくことも学習
14回	作品発表及び鑑賞会②	一人づつ自分の作品を発表する。 人の作品を鑑賞することによって自分の作品の良いところと反省点に気づくことも学習
15回	総評／まとめ	全ての作品を鑑賞しての意見交換と総評 ※スマホだけで作る動画制作を学ぶ

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	手話				クラス	AB
担当講師（フルネーム）	鶴田　由香					
授業概要（内容）	聴覚障害についての理解を深め、聴覚障害者のお客様との コミュニケーションの在り方を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	手話での日常会話と接客手話の習得					
使用テキスト	手話でを学ぼう　手話で話そう					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	教科書に目を通し、手話に関する映像を見ておく。（僕が君の耳になる・・・・ネット検索）					

	テーマ	授業内容
1回	聴覚障害と手話	聞こえないとはどのようなことか。、また聴覚障害者をとりまく状況環境など 伝え合うということ 手話ってなに
2回	伝えあってみましょう	物の形や身振り表情でコミュニケーションをはかる 手話の基本
3回	自己紹介をしましょう	名前の表し方、自分の名前を表現する 手話であいさつしてみよう
4回	指文字	指文字を覚えよう
5回	家族の紹介をしましょう	家族の紹介をしましょう 疑問詞「誰？」
6回	数の表し方	手話で数字を表す 数字を使った接客手話
7回	地名の手話	地名の手話を学び住所を紹介する 交通の方法を学ぶ
8回	自己紹介まとめ	これまでの学習の復習と自分のことを手話で伝えてみましょう
9回	時の表し方1	一日のことを話しましょう 時間の表し方
10回	時の表し方2	一か月のことを話しましょう 時間の経過
11回	時の表し方3	一年のことを話しましょう 季節・年・月に関する会話
12回	会話学習	日常生活での会話 疑問詞を使っての会話
13回	旅行のことを話しましょう	旅行をテーマに疑問詞を「使って会話する ろう者の会話の読み取り
14回	体に関する手話表現	病気に関する手話 聴覚障碍者の緊急時の対応 テスト
15回	総復習	総復習

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フロントオフィス				クラス	A,B
担当講師(フルネーム)	中牟田　登喜枝					
授業概要(内容)	ホテルシステムを実際に使い、フロント業務についての基本知識を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	予約からチェックアウトまでの流れを理解し接客スキルを磨く					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅰフロントオフィス編					
成績評価方法	・期末試験50%平常点・実技50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について						

	テーマ	授業内容
1回	前期復習	前期復習 チェッイン・ロールプレー
2回	レセプション業務	チェッイン・ロールプレー(評価)
3回	レセプション業務	チェックアウト業務 ナイト業務 デイリー・ルームレポート
4回	レセプション業務	デイリー・ルームレポート
5回	フロントキャッシャー業務	ホテル・ビル サービス料と税金 宿泊料金計算
6回	フロントキャッシャー業務	宿泊料金計算 外貨両替
7回	フロントキャッシャー業務	精算手順と方法①
8回	フロントキャッシャー業務	精算手順と方法②
9回	フロントキャッシャー業務	精算業務ロールプレー
10回	フロントキャッシャー業務	精算業務ロールプレー
11回	フロントキャッシャー業務	精算業務ロールプレー(評価)
12回	フロントキャッシャー業務	精算業務ロールプレー(評価)
13回	インフォメーションの業務	インフォメーションの種類と手順 郵便物と電報 電話交換
14回	防犯業務	防犯管理 遺失物管理
15回	後期まとめ	期末テストの範囲と内容確認

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	プランナー実務				クラス	AB
担当講師(フルネーム)	鷹取　恭子					
授業概要(内容)	ウェディングシステムを使用し、打合せ全体を把握する				授業形態	講義
到達目標	ブライダルプランナーとしての接客時に於ける接客用トーク演習tとシステム操作					
使用テキスト	RWA(システム)　制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参・プリントアウト後ファイリング用クリアファイル持参					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	ブライダル情報誌やインターネットサイト《ゼクシィネットなど》からの結婚式場の情報収集					

	テーマ	授業内容
1回	RWA-B	RWA-B版　ログイン ・新郎新婦　挙式日　設定 ・システム使用方法レクチャー
2回	RWA-B	BOOK　Ⅰ ・ブライダルスケジュール we
3回	RWA-B	BOOK　Ⅰ ・フェア案内　ロールプレイング
4回	RWA-B	BOOK　Ⅱ ・各種ウェディングアイテム提案　ロールプレイング
5回	RWA-B	BOOK　Ⅱ ・各種ウェディングアイテム手配　宿泊手配
6回	RWA-B	BOOK　Ⅲ ・各種ウェディングアイテム　決定
7回	RWA-B	BOOK　Ⅲ ・司会進行　・プログラム提案　ロールプレイング
8回	RWA-B	BOOK　Ⅲ ・ヘアメイク・音響の提案　決定
9回	RWA-B	BOOK　Ⅲ ・中間見積書　提示　ロールプレイング
10回	RWA-B	BOOK　Ⅳ ・当日のスケジュール確認　ロールプレイング
11回	RWA-B	BOOK Ⅳ ・各種ブライダルアイテムの最終決定　ロールプレイングう
12回	RWA-B	BOOK　Ⅳ ・最終近振込案内　ロールプレイング
13回	RWA-B	BOOK　Ⅳ ギフトプランナー　席次表作成① システム設定
14回	RWA-B	BOOK　Ⅳ ギフトプランナー　席次表作成② ギフト設定
15回	RWA-B	BOOK　Ⅳ ギフトプランナー　席次表作成③ 席次表完成

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	カクテル（選択）			クラス	A,B,T日
担当講師（フルネーム）	橋口淳二				
授業概要（内容）	カクテルの知識、技術の基礎を学び、バーテンダーとしての心構え			授業形態	講義＆演習
到達目標	バー、ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得				
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ　バーラウンジ編				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	学習した技術を就業後に発揮できる。				

	テーマ	授業内容
1回	シラバスの説明 酒の知識Ⅰ	授業内容の説明 成績評価の説明と授業を行う上での注意点 酒の知識と分類
2回	酒の知識Ⅱ	グラスの種類と用途、保管方法、必要器具の種類と用途 カクテルの知識　（レシピ用語、分量表記） カクテルの豆知識（カクテル名の由来等）
3回	カクテルの知識Ⅰ	カクテルの名称、お酒の歴史 酒別の保管場所、保存方法の注意点　・提供温度（酒の美味しい温度） 器具の基本的な持ち方、使い方（バースプーンの持ち方、メジャーカップの使い方等　）
4回	カクテルの知識Ⅱ	ビルドタイプ Ⅰ.氷の入れ方　Ⅱ.ステアーの練習　Ⅱ．ビルドタイプカクテル作成 ①美味しい水割り　②美味しいロック　③炭酸の注ぎ方
5回	カクテルの実践講習Ⅰ	ステアータイプ ミキシンググラスの取り扱い ステアータイプカクテル実技
6回	カクテルの実践講習Ⅱ	シィカータイプ シェイカーの構造、持ち方、シェイキングの仕方、注ぎ方 シェイキング練習
7回	カクテルの実践講習Ⅲ	シィカータイプ シェイカーの構造、持ち方、シェイキングの仕方、注ぎ方 シェイキング練習
8回	カクテルの実践講習Ⅳ	グラスデコレーション スノースタイルメイキング シェイク練習
9回	カクテルの実践講習Ⅴ	ビルド、ステアー、シェイクの技法を使う ノンアルコールカクテルの構想
10回	カクテルの実践講習Ⅵ	ビルド、ステアー、シェイクの技法を使う オリジナルノンアルコールカクテルの構想
11回	カクテルの実践講習Ⅶ	オリジナルカクテル作成 作成手順を正確に再現しているかチェツク
12回	カクテルの実践講習Ⅷ	オリジナルカクテル作成 作成手順を正確に再現しているかチェツク
13回	カクテルの実践まとめ	オリジナルカクテル作成 作成手順を正確に再現しているかチェツク
14回	実技テスト	実技テスト
15回	実技テスト	実技テスト

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	フラワーコーディネート			クラス	AB
担当講師(フルネーム)	古内日出雄				
授業概要(内容)	「花の感性」を養う			授業形態	講義
到達目標	Do it with flowers				
使用テキスト	レジュメ				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	前期履修科目を復習されてください。事後、毎回KEY-WORDを提示します。その言葉でショートストーリーをつくる。				

		授業内容
1回	オリエンテーション	flower communication.　講座ガイダンス、双方向理解
2回	色彩感覚①	色の基本的知識
3回	色彩感覚②	色ーヴァリエーション
4回	色彩感覚③	色ー演出
5回	「色彩感覚」まとめー考査	
6回	「時」の演出①	季節感all-season
7回	「時」の演出②	秋の花
8回	「場」の演出①	客室、レストラン、ホール
9回	「場」の演出②	パブリックスペース、インテリアグリーン
10回	「人」 の演出①	ブライダルー新郎新婦
11回	「人」 の演出②	喜怒哀楽ー人生
12回	「コト」演出①	All about evennts
13回	「コト」演出②	DO　it with flowers
14回	「理由」の演出	焦点せよ、表現せよ
15回	講座まとめ、考査	講座のまとめ、「花感覚」を問う

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	和の作法・着付け演習			クラス	AB選択
担当講師(フルネーム)	長野　美穂				
授業概要(内容)	着物のたたみ方や小物の名称などを覚える 着付けの練習			授業形態	実技
到達目標	自装、他装で名古屋帯が結べるようになる				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	出席率100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 ×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	授業後に内容をメモしておくなど各自で復習しておく				

	テーマ	授業内容
1回	はじめに	座礼で挨拶 備品の取り扱い方の注意点 着物と腰紐をきれいにたためるようになる
2回	着物	襦袢と着物の着方を覚える 腰紐まで
3回	着物	着物をきれいに着る 衿合わせ～伊達締めまで
4回	半幅帯	半幅帯の結び方を覚える(文庫) 自装
5回	半幅帯	半幅帯の結び方を覚える(変わり文庫) 他装
6回	半幅帯	半幅帯の結び方を覚える(その他) 兵児帯の使い方
7回	半幅帯	男性の着付け(貝の口) 他装
8回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ 他装
9回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ 帯揚げ、帯締めの結び方をマスター
10回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ 他装
11回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ 着物での立居振舞を実践
12回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ 着物が映える写真の撮り方
13回	袋帯	二重太鼓の結び方 見て覚える
14回	袋帯	二重太鼓の結び方 他装で実践
15回	成果発表	制限時間内に着物から帯まで結ぶ

観光・ﾄﾗﾍﾞﾙ
鉄道

＊共通する科目は、観光・ﾄﾗﾍﾞﾙにあります。

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光 科
科目名	国内観光地理			クラス	L
担当講師(フルネーム)	友納真				
授業概要(内容)	各都道府県毎の観光資源(宿泊・観光地・グルメ・名産品)を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	企画・販売・添乗などの旅行業務にも必要である国内の観光資源全般の知識を増やす				
使用テキスト	国内観光資源・国内観光地理サブノート・旅に出たくなる地図日本・国内旅行地理ベーシック300＋α(必要に応じて講師より指示)				
成績評価方法	・期末試験70%／平常点30%(小テスト・課題・提出物) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択			
事前・事後学習について	サブノートにて事前に予習を行い、講義後はノート整理をして復習する				

	テーマ	授業内容
1回	山口県	山口県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 山口県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ 中国地方の概要を説明
2回	広島県・岡山県	広島県・岡山県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 広島県・岡山県のみどころ、宿泊、観光地を学ぶ
3回	島根県・鳥取県	島根県・鳥取県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 島根県・鳥取県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ
4回	徳島県・香川県	徳島県・香川県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 徳島県・香川県のみどころ、観光地を学ぶ 四国地方の概要を説明
5回	愛媛県・高知県	愛媛県・高知県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 愛媛県・高知県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ
6回	東京都	東京都の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 東京都の交通、みどころ、観光地を学ぶ 関東地方の概要を説明
7回	神奈川県	神奈川県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 神奈川県の温泉、みどころ、観光地を学ぶ
8回	千葉県	千葉県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 千葉県のみどころ、観光地を学ぶ
9回	埼玉県	埼玉県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 埼玉県のみどころ、宿泊、観光地を学ぶ
10回	群馬県	群馬県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 群馬県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ
11回	栃木県	栃木県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 栃木県のみどころ、宿泊、観光地を学ぶ
12回	茨城県	茨城県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 茨城県のみどころ、観光地を学ぶ
13回	大阪府	大阪府の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 関西圏の交通、みどころ、宿泊、観光地を学ぶ 関西地方の概要を説明
14回	京都	京都府の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 京都府のみどころ、観光地を学ぶ
15回	兵庫県	兵庫県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 兵庫県の温泉、みどころ、観光地を学ぶ

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	海外観光地理				クラス	L
担当講師(フルネーム)	挽田　雅子					
授業概要(内容)	世界各国の観光地、歴史や文化など多角的な視点で旅行地理の知識を習得する。海外の主要な観光地について学習する。				授業形態	講義
到達目標	観光ポイントの名前と位置、特徴を述べることができる。主な世界遺産について説明できる。					
使用テキスト	海外観光資源、旅に出たくなる地図(世界)、海外観光地理サブノート					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	予習:テキストを見てプリントを記入する。復習:学習した観光地について詳しく調べる。					

	テーマ	授業内容
1回	英国(1)	授業の進め方、評価方法の説明 ロンドンの観光資源を学ぶ イングランド湖水地方の観光資源を学ぶ
2回	英国(2)	サブノートをチェックする スコットランドの観光資源を学ぶ 世界遺産を学習する
3回	北欧	サブノートをチェックする ノルウェーの観光資源を学ぶ フィンランド、デンマークの観光資源を学ぶ
4回	スペイン・ポルトガル	サブノートをチェックする スペインの観光資源を学ぶ ポルトガルの観光資源を学ぶ
5回	フランス(1)	サブノートをチェックする パリを中心にフランス各地の観光地を学ぶ モンサンミッシェルについて調べる
6回	フランス(2)	サブノートをチェックする コートダジュールの観光資源を学ぶ 世界遺産を学習する
7回	ベネルクス3国	サブノートをチェックする オランダの観光資源を学ぶ ベルギーの観光資源を学ぶ
8回	ドイツ(1)	サブノートをチェックする ベルリンの観光資源を学ぶ メルヘン街道について調べる
9回	ドイツ(2)	サブノートをチェックする ロマンチック街道について調べる ミュンヘンの観光資源を学ぶ
10回	研究発表	発表の準備をする 観光地を選んで調べる 発表の内容を吟味する
11回	研究発表	研究発表 発表を聞いて、質問する 発表について意見を交換する
12回	スイス・オーストリア	サブノートをチェックする スイスの観光資源を学ぶ オーストリアの観光資源を学ぶ
13回	イタリア(1)	サブノートをチェックする ローマの観光資源を学ぶ バチカン市国の観光資源を学ぶ
14回	イタリア(2)	サブノートをチェックする ベネチアの観光資源を学ぶ フィレンツェの観光資源を学ぶ
15回	まとめと復習	後期のまとめ ヨーロッパ各国の復習 主要な世界遺産の復習

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	観光学基礎				クラス	Lクラス
担当講師(フルネーム)	宮原英利					
授業概要(内容)	観光とは何か、観光産業とはどのような産業か、観光ビジネスの特性は何かといった観光を学ぶ上での基本を学習します。				授業形態	講義
到達目標	観光産業が国や地域にもたらす効果を説明できるようになる。					
使用テキスト	観光学基礎(JTB総合研究所)					
成績評価方法	・期末試験70%、平常点(授業に取り組む姿勢、課題の提出)30%で評価します。 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	授業で学習したテーマ、次に学習するテーマの予習(読み込み)・復習は必ず行うこと。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・授業の進め方、準備するもの、予習・復習のやり方等 ・現代社会と観光(観光を学ぶ意義と観光のさまざまな効果を知る) ・観光が人間、企業、および地域にもたらす効果や影響を知る
2回	観光に関わる言葉	・旅と旅行の違い ・観光の語源と観光に関わる英語 ・余暇(レジャー)・レクリエーション、ホスピタリティ
3回	・観光の仕組み ・観光を構成する要素	・観光を構成する要素(観光を構成するモノやコト) ・観光事業の意味と仕組み ・観光地との関係はどのようなものか
4回	観光資源と観光対象	・「観光資源」の意味 ・観光対象とは ・観光対象の特徴とはどのようなものか
5回	観光産業の構成と特徴	・観光産業の定義と種類 ・観光産業および観光ビジネスの特徴 ・観光産業に共通する特有の課題を理解する
6回	様々な観光ビジネス(1回目)【旅行業】	・旅行業の歴史 ・旅行業の商品と形態 ・旅行業と地域の関わり
7回	様々な観光ビジネス(2回目)【宿泊産業】	・宿泊産業の歴史と発展 ・様々な宿泊施設の分類 ・ホテルの機能と業務
8回	様々な観光ビジネス(3回目)【交通運輸業】	・観光と交通の関わり ・観光交通ビジネスの特性 ・観光交通への新たな要請
9回	様々な観光ビジネス(4回目)【テーマパーク・土産品業等】	・テーマパークの歴史と特徴、およびビジネス特性 ・観光土産品と土産産業 ・土産品のはじまり
10回	観光と情報	・観光行動と情報 ・観光情報の媒体(ツール) ・効果的な観光情報の発信・提供方法
11回	観光政策と観光行政	・国の観光行政と観光政策 ・地方における観光行政と観光政策
12回	観光のマーケティング	・マーケティングと観光への応用 ・観光マーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」
13回	旅の歴史とこれからの旅行	・旅の歴史(その発展過程と一般大衆が旅行を楽しむことができるようになった社会的背景の理解) ・マスツーリズムからサスティナブルツーリズムへ
14回	観光と国際経済・社会・文化(インバウンドと異文化理解)	・我が国におけるインバウンドの動向(社会現象の発生) ・観光は見えざる貿易(経済の視点から理解する)
15回	資料から観光動向を読み解く	・様々な資料／統計表をどのような視点で見るか、変化をどう読み解くか

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科
科目名	観光ゼミ			クラス	L
担当講師(フルネーム)	友納　真				
授業概要(内容)	観光業界への就職を目指すものとして福岡に集客するための 企画立案の手法を学ぶ			授業形態	講義＆演習
到達目標	集客のためのプランを企画し、提案資料を作り、発表できるようになる。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物(プレゼンテーション2種)70%、平常点30%			単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	福岡の観光、ハウステンボス、香椎花園について事前に下調べをしておく。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション 9/23(月)	この授業のねらいについて MICEとは何か 福岡の魅力について考える(対日本人、対外国人)
2回	福岡の歴史について 9/30(月)	ふくおかの歴史について 講師:観光ガイドボランティア協会(予定)
3回	MICEについて 10/7(月)	MICE(Meeting／Incentive／Convention／Event)について 講師:西鉄旅行株式会社　天神支店　副支店長　森重　健 様
4回	ハウステンボスについて 10/21(月)	ハウステンボスについて 事前学習
5回	テーマパークの 仕事について 10/28(月)	ハウステンボスについて 講師:ハウステンボス株式会社　営業部業務課長　宮崎　竜也 様
6回	フィールドワーク 11/4(月)	かしいかえんについて 香椎花園　現地視察
7回	グループワーク 11/11(月)	かしいかえんについて 香椎花園　春季集客プラン
8回	グループワーク 11/18(月)	前回の続き
9回	プレゼンテーション リハーサル 11/25(月)	香椎花園　春季集客プラン　プレゼンテーション・リハーサル
10回	プレゼンテーション 12/2(月)	香椎花園　春季集客プラン　プレゼンテーション(予定)
11回	プレゼンテーション振り返り MICE福岡プランについて計画 12/9(月)	プレゼンテーションを終えてのフィードバック 福岡における半日又は一日旅行プラン(日本人向け、外国人向け)
12回	グループワーク 12/16(月)	前回の続き
13回	グループワーク 2020年1/6(月)	前回の続き
14回	MICE福岡 プレゼンテーションリハーサル 1/20(月)	MICE福岡プレゼンテーション・リハーサル
15回	MICE福岡 プレゼンテーション 1/27(月)	MICE福岡プレゼンテーション

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	ツアープランニング				クラス	L
担当講師(フルネーム)	友納真					
授業概要(内容)	国内旅行のプランニング(3種類)・実習のプランニング・プレゼンテーション				授業形態	講義＆演習
到達目標	国内旅行のプランニングの目的、見積もり、行程表の基本ルールを習得する。2月実施のプランニング実習に向け、課題作成・プレゼンテーションが出来るようになる。					
使用テキスト	ツアープランニングノート・(必要に応じて、国内観光資源・旅に出たくなる地図日本・JR時刻表・指定パンフレット)					
成績評価方法	**課題A60%**(①JR九州旅行/②AIR沖縄旅行/③AIR東京旅行)＋**課題B20%**(プランニング実習)＋平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	プランニングする観光地について、事前に下調べをしておく					

	テーマ	授業内容
1回	**オリエンテーション**	・授業の進め方・評価方法について説明 ・ツアープランニングとは何か、実際に旅行会社ではどのような仕事をしているのかを学ぶ ・国内旅行(個人手配)行程表のプランニング方法を練習問題(関西)を穴埋め、資料を使いながら学ぶ
2回	**JR旅行①**	・JRを利用した九州旅行(1泊2日)(鹿児島か長崎を選ぶ)のプランニング (お土産・宿泊施設の特徴・人気グルメ／観光スポットは必ず入れる事)
3回	**JR旅行②**	・前回の続き
4回	**JR旅行③**	・前回の続き 時間内に完成させ、提出しましょう。
5回	**AIR旅行(沖縄)①**	・リゾート(沖縄本島)で、レンタカーを利用した個人旅行をプランニング (お土産・宿泊施設の特徴・人気グルメ／観光スポットは必ず入れる事)
6回	**AIR旅行(沖縄)②**	・前回の続き
7回	**AIR旅行(沖縄)③**	・前回の続き 時間内に完成させ、提出しましょう。
8回	**団体バス旅行①**	・団体旅行のプランニング方法を習得する(所要時間の計算方法など) ・グループ分けをし、2月のプランニング実習で行く日帰り旅行のプランをプランニングしよう ・大まかなプランニングが終わったら、食事場所・観光スポットの予算を考えよう
9回	**団体バス旅行②**	・前回の続き
10回	**団体バス旅行③**	・前回の続き
11回	**団体バス旅行④**	・プレゼンテーションでの役割や、選んでいただけるような言い回しを考えよう ・プレゼンテーションの練習をしよう
12回	**団体バス旅行⑤**	・グループ毎にプランニングしたツアーをプレゼンテーションしよう ・No.1を投票し、2月のプランニング実習の行き先を決定しよう。
13回	**AIR旅行(東京)①**	・東京観光＋ディズニーリゾートで、国内ツアーパンフレットを参考に個人旅行をプランニング (お土産・宿泊施設の特徴・人気グルメ／観光スポットは必ず入れる事)
14回	**AIR旅行(東京)②**	・前回の続き
15回	**AIR旅行(東京)③**	・前回の続き 時間内に完成させ、提出しましょう。

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	旅行実務（添乗・販売）				クラス	L
担当講師（フルネーム）	友納真					
授業概要（内容）	【添乗】9月添乗研修／12月海外研修を教材に、実践的に学ぶ 【販売】各種受付、パンフレットの見方、専門用語などを学ぶ				授業形態	講義＆演習
到達目標	旅行業務において必要な添乗・販売について学び、現場で実践できるようになる。					
使用テキスト	旅行業務入門・講師作成プリント・JR時刻表（必要に応じて講師より指示）					
成績評価方法	・期末試験70%／平常点30%（小テスト・課題・提出物） ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	講義で習得したことを復習する					

	テーマ	授業内容
1回	添乗①	9月実施の添乗研修のフィードバック・解説 添乗業務を通しての気付き、仕事内容の再確認
2回	添乗②	国内添乗の実務① 出発前の準備／帰着後の精算を含めて講義 宿泊を伴う場合の添乗での業務を確認
3回	添乗③	国内添乗の実務② 列車・航空機・フェリー利用の添乗での業務を確認
4回	添乗④	国内添乗の実務③ その他添乗業務で必要な業務を確認 希望者は随時添乗アルバイトへ斡旋
5回	販売①	パンフレット陳列 203教室のパンフレットの入替え／2019年度下期商品のパンフレットを仕入れ
6回	販売②	販売の基本① カウンター業務の一連の流れを確認 専門用語（おもに国内旅行手配）で使用するものを学ぶ
7回	販売③	販売の基本② 旅行商品の申込金・取消料などを理解する 旅行保険（国内）について、概要を学ぶ
8回	販売④	販売実務① JR・航空の予約について必要な事項を学ぶ
9回	販売⑤	販売実務② 旅行会社のパッケージ商品のパンフレットの見方を学ぶ
10回	販売⑥	販売実務③ カウンター販売の一連の流れをロールプレイング・練習 カウンター販売においてのマナー・言い回し・確認事項を学習
11回	販売⑦	販売実務④ 練習したロールプレイングをカウンターを使用し、実践
12回	添乗⑤	海外添乗の実務① 12月実施の海外研修前に、添乗業務はどんなことがあるかを確認
13回	添乗⑥	海外添乗の実務② 海外研修のフィードバック。海外添乗を通しての気付き、仕事内容の再確認
14回	添乗⑦	海外添乗の実務③ 海外添乗の業務について、講師の添乗業務の経験を交えて講義
15回	確認テスト	確認テストを実施

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光科
科目名	旅行web広告戦略			クラス	L
担当講師(フルネーム)	坂井　隆仁				
授業概要(内容)	画像を加工したり、おみくじゲームを作ったりしながら、学習していきます。 香椎花園活性化企画提案も授業の中で作成していきます。			授業形態	実技
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる様になりましょう。				
使用テキスト					
成績評価方法	・課題提出70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	
期末試験 ×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	自分が就く仕事にどんなパソコンスキルが必要なのか考えてみて下さい。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	スケジュールの確認 インターネットを使ってリサーチしてみよう。
2回	画像を加工してみましょう	画像の取得方法、画質、形式について学ぶ 他、インターネットの使い方を学ぶ
3回	チラシを作ってみましょう	wordで画像を使ってチラシ作成
4回	スマホアプリで動画で動画を作ってみよう	スマホアプリを使い動画制作 他、グリーンバックを使い、合成動画を作ります。
5回	パワーポイントで 桃太郎を作ろう 1	チーム別でパワーポイントを使って桃太郎を作ってもらいます。
6回	パワーポイントで 桃太郎を作ろう 2	チーム別でパワーポイントを使って桃太郎を作ってもらいます。
7回	パワーポイントで 桃太郎を作ろう 3	チーム別でパワーポイントを使って桃太郎を作ってもらいます。
8回	パワーポイントを使って プレゼン資料を作ろう	香椎花園の活性化企画スライドを作成します。
9回	パワーポイントを使って プレゼン資料を作ろう (発表)	香椎花園の活性化企画スライドを作成します。 チーム別に発表
10回	ペライチで企画をwebサイトにしてみましょう 1	活性化企画をwebサイトにしてみよう
11回	ペライチで企画をwebサイトにしてみましょう 2	活性化企画をwebサイトにしてみよう
12回	おみくじゲームを 作ってみましょう 1	html/css/JavaScriptの基本を学びながら、おみくじを作っていきましょう。
13回	おみくじゲームを 作ってみましょう 2	html/css/JavaScriptの基本を学びながら、おみくじを作っていきましょう。
14回	おみくじゲームを 作ってみましょう 3	html/css/JavaScriptの基本を学びながら、おみくじを作っていきましょう。
15回	ふりかえり	今まで学習した内容を復習します。

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	アクセス国内線				クラス	L
担当講師(フルネーム)	横瀬　敦子					
授業概要(内容)	国内線予約発券全般に加え、運賃検索や変更後の交換発行や払戻操作を行う また、実務に沿った業務・接客のポイントも習得する				授業形態	講義＆演習
到達目標	国内線予約発券の応用力を身につけ、ツアーシステムの習得　また検定準1級の取得も目指す(希望者のみ)					
使用テキスト	JAL国内線予約発券×オペレーションスキル2019　JALパック国内線ツアーシステム旅JAL2019(2冊)＆早見表					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点には授業態度、提出物、小テストの結果も含まれる。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	前期同様、早見表は個々でまとめてテスト・検定に備えておくこと(テキストからの書き込みなど)。					

	テーマ	授業内容
1回	復習	最安値予約・身体障害者割引・分割・TST再登録←国内2級問題のPNR作成行う エラーメッセージを見直す(テキストにて) 幼児・小児入力練習を行う(練習問題プリント使用　INF/INS/CHD　入力)
2回	その他の予約方法	直接予約(便名指定予約)を行う オープンセグメントについての概要と操作練習 キャンセル待ち予約操作練習
3回	優待割引運賃	国内線・各種割引運賃規則を学ぶ(テキスト＆情報WEB使用) 普通運賃・往復割引予約完了から変更操作を行う 優待割引運賃について学ぶ(株主優待割引・代理店報償割引)
4回	乗継割引運賃	乗継割引運賃の概要を学び、操作練習を行う 離島割引運賃の概要を学び、操作練習を行う SSR(お手伝いが必要なお客様の入力)やOSI(同行者入力)を学ぶ
5回	取消と払戻	予約便の取消しを行い、払戻規則(払戻有効期間・場所・手数料など)を学ぶ
6回	取消と払戻	払戻手順と操作方法を学ぶ(PNRからの払戻と発券ファイルからの払戻)
7回	オペレーションスキル	※旅行会社カウンターを想定した端末操作と接客を学ぶ テキスト　ケーススタディ4(割引運賃・片道予約)　ペアワーク　練習と発表
8回	オペレーションスキル	※旅行会社カウンターを想定した端末操作と接客を学ぶ テキスト　ケーススタディ5(普通運賃・往復予約)　ペアワーク　練習と発表
9回	変更と交換発行	発券後の変更と交換発行の概要を学ぶ
10回	変更と交換発行	交換発行の手順と操作方法を学ぶ(差額返金・追徴の場合またオープン券への交換発行も学ぶ)
11回	セールスレポートとVOID	JALマイレージ登録について学ぶ その他、イレギュラーについて学ぶ セールスレポートの見方とセールスレポートからのVOID処理を学ぶ
12回	旅JAL	旅JAL操作に当たっての注意事項と基礎知識 予約について(発売・申し込み締め切り・旅行代金・発券期限・取消料など)
13回	旅JAL	旅JAL　定型コース予約(フライト・ホテル予約や座席指定まで)
14回	旅JAL	旅JAL　組み立てコースの予約(オプション・レンタカー予約)
15回	期末試験	総復習(予約作成～発券～変更・取消～払戻や交換発行まで) 期末試験(検定準1級に沿った筆記/PNR作成)

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	面接対策			クラス	L	
担当講師(フルネーム)	山田　邦幸					
授業概要(内容)	就職活動に必要な基本を身につける(履歴書・エントリーシート等の提出物の書き方・面接対策・グループディスカッション)と業界知識習得			授業形態	講義	
到達目標	企業が求める資質を習得し各自が希望する企業(業界)に就職すること(就職率100%)を目指す					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート/＊プリント(授業にて配布・過去配布分も毎回持参する)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・出席率・提出物(内容・提出期限等)・小テスト得点・面接実技・授業態度・身だしなみ			単位数	2	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	事前に希望する企業(業界)研究・テキストの予習/事後に復習と資料整理・特に不足分＆不十分な部分を補完する)					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	＊授業の進め方・評価方法について・講師自己紹介 ＊就職活動について(前年度と今年度の求人環境等) ＊就職室・就職閲覧室について
2回	業界について	＊具体的な企業の説明(企業リストに基づいて) ＊具体的な業務内容(旅行・鉄道・船舶・航空等)
3回	情報収集と企業研究	＊情報収集の方法と活用の仕方・企業研究ノートの作成方法・志望企業のリストアップ ＊求人票の見方 ＊就職閲覧室の利用方法(就職閲覧室での具体的説明)
4回	自己分析と自己PR作成	＊自己分析の結果から自己PRできるものを抽出 ＊220字以内で自己PRを文章にする(自分の強みを志望する企業でどう活かすか)
5回	志望動機・エントリーシート作成	＊基本的な志望動機・エントリーシートの書き方 ＊志望企業のリストと業界(企業)研究からある程度志望業界(企業)をイメージする ＊220字以内で志望動機を文章にする[なぜその業界(企業)を志望するのか自分の言葉で表現]
6回	面接対策	＊面接のポイント(企業が求める人物像・個人面接と集団面接の違い・対策等) ＊面接試験でよくある質問(企業が面接試験で質問した内容を受験報告書やレジュメから学ぶ) ＊面接試験での受け答え方法
7回	面接練習	＊これまでまとめた自己PRや志望動機をベースに面接実践練習 ＊面接実践練習のフィードバック
8回	履歴書作成	＊これまでの授業で学んだ自己PRや志望動機等をベースに履歴書の書き方を習得 ＊実際に履歴書を作成する
9回	グループディスカッション	＊グループディスカッションとは(企業の意図) ＊グループディスカッションの注意点とポイント ＊グループディスカッション実践練習(受験報告書やレジュメからテーマを設定)
10回	面接練習	＊前回の面接実践練習での反省点や改善点を確認 ＊面接実践練習 ＊面接実践練習のフィードバック
11回	面接練習	＊前回の面接実践練習での反省点や改善点を確認 ＊面接実践練習 ＊面接実践練習のフィードバック
12回	これまでの授業の振り返り	＊志望する企業や職種を絞り込む(より踏み込んだ企業研究・業界といった漠然な志望でなく) ＊より具体的に志望動機・自己PRを作成する(就職強化セミナーでのエントリーシート作成に利用) ＊年末年始の過ごし方・質疑応答
13回	エントリーシートの確認と修正・改善と面接練習	＊就職強化セミナーでのエントリーシートの確認と修正・改善(より充実した内容にする) ＊面接実践練習 ＊面接実践練習のフィードバック
14回	就職強化セミナーに向けて(面接対策)	＊就職強化セミナーに向けての心構え ＊就職強化セミナーに向けての具体的な準備(4月からの本番の就職試験に備えるためにも) ＊面接実践練習・フィードバック
15回	就職強化セミナーを振り返る(面接対策)・授業のまとめ・今後の過ごし方	＊就職強化セミナーでの結果とフィードバック ＊就職強化セミナーの自己点検(反省点・改善点) ＊実習の心構えと意義・前期開始までの過ごし方

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科
科目名	運輸実務(鉄道・航空)			クラス	L
担当講師(フルネーム)	花生　義一・原田　歩				
授業概要(内容)	鉄道・航空の基礎知識を学ぶ 接客の基礎を学ぶ			授業形態	講義＆演習
到達目標	旅行業界との繋がりを学び就職に活かす				
使用テキスト	講師作成プリント				
成績評価方法	・授業中の試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	安全第一を意識し学ぶ				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道の歴史を知る
2回	鉄道係員	1.鉄道係員の種類と役割を学ぶ 2各係員の資格を知る 3.ダイヤグラムの中身を学習し、時刻表の作成行程を知る
3回	鉄道運行基礎	1.線路と軌道について学ぶ ・電車線路と一般線路の違いと特長について学ぶ ・鉄道保安装置が持つ役割と特徴について学ぶ
4回	鉄道車両	1.電車について学ぶ 2.気動車について学ぶ 3.その他の鉄道車両を学ぶ
5回	鉄道乗務員	1.鉄道乗務員を学ぶ ・資格取得に対する法令 ・列車運行に対する乗務員及び各係員との作業内容を実際に学ぶ
6回	勤務管理	1.一般社員と乗務員の勤務構成について学ぶ ・法定労働について学ぶ ・勤務表の確認方及び内容把握を行う
7回	まとめ	1.理解度確認 ・知悉度調査により鉄道関連の理解度を確認する ・理解度に対する質疑応答を行い同時にフィードバックを行う
8回	航空業界とは	・航空業界の仕事紹介 ・接客5原則について
9回	空港	・各空港の特徴を学ぶ ・空港施設について紹介 ・接客5原則「挨拶」
10回	航空会社	・各社の特徴を学ぶ ・各社のサービスや運賃を比較する ・接客5原則「身だしなみ」
11回	旅客運送	・国内線および国際線利用時のお客さまの流れを学ぶ ・CIQの役割を理解する ・接客5原則「表情管理」
12回	手荷物	・受託手荷物および機内持込み手荷物のルールを学ぶ ・手荷物タグと収納ケースの取扱いについて学ぶ ・接客5原則「言葉遣い」
13回	チェックイン・アナウンス	・時刻表について学び、チェックイン業務に挑戦する ・アナウンス業務に挑戦する ・接客5原則「立ち居振舞い」
14回	イレギュラー	・イレギュラーとは何かを学ぶ ・欠航や遅延時のハンドリングについて学ぶ ・クレーム対応のポイントを学ぶ
15回	まとめ	・テスト ・復習・補足

対象学年	2年	学期	通年	学科	トラベル科	
科目名	国内観光地理				クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真					
授業概要(内容)	2年前期までの観光資源の学習の復習、国内の交通(JR・航空・フェリー) ツアープランニングを実施(国内・地域<福岡>)				授業形態	講義
到達目標	企画・販売・添乗などの旅行業務にも必要である国内の観光資源全般の知識を増やす					
使用テキスト	国内観光資源・国内観光地理サブノート・旅に出たくなる地図日本・国内旅行地理ベーシック300＋α(必要に応じて講師より指示)					
成績評価方法	・期末試験60%／平常点40%(小テスト・課題・提出物) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	ツアープランニングにおいては該当地域の観光地理を予め下調べをする。講義で学習したことを復習する。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・授業のすすめ方・評価方法について説明
2回	国内の交通①	・新幹線・JR在来線特急列車(九州以外) ・観光地までの交通アクセスを学ぶ
3回	国内の交通②	・JR在来線特急列車(九州) ・D＆S列車…九州の列車の魅力を学ぶ
4回	国内の交通③	・クルーズトレイン ・国内で現在運行している列車について学ぶ
5回	国内の交通④	・航空／フェリー ・観光地までの交通アクセスを学ぶ ・国内で現在運行しているフェリーについて学ぶ
6回	ツアープランニングA①	・西鉄電車を利用したツアープランニング (沿線の観光地の魅力を再確認し、地域の方々、県外からの観光客も楽しめるツアーを企画)
7回	ツアープランニングA②	前回の続き
8回	ツアープランニングA③	前回の続き
9回	ツアープランニングA④	前回の続き
10回	ツアープランニングB①	・国内ツアープランニング (今まで学習した国内観光資源を踏まえ、福岡発着のツアーを企画)
11回	ツアープランニングB②	前回の続き
12回	ツアープランニングB③	前回の続き
13回	国内のお土産・グルメ①	・各地域のお土産・名産品・グルメ(食事・スイーツなど)を学ぶ
14回	国内のお土産・グルメ②	・前回の続き
15回	確認テスト	・確認テストを実施

対象学年	2年	学期	通年	学科	トラベル科	
科目名	海外観光地理				クラス	K
担当講師(フルネーム)	挽田　雅子					
授業概要(内容)	海外の観光都市、観光地、観光ポイントの名前と場所を覚え海外旅行を楽しむための基礎知識を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	観光ポイントの名前と位置、特徴を述べることができる。主な世界遺産について説明できる。					
使用テキスト	海外観光資源、旅に出たくなる地図(世界)、海外観光地理サブノート					
成績評価方法	・期末試験80%平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	予習:テキストを見てサブノートを記入する。復習:学んだ観光地について詳しく調べる。					

	テーマ	授業内容
1回	英国(1)	授業の進め方、評価方法の説明 英国の観光資源を学習する ロンドン、イングランド湖水地方の観光地を学習する
2回	英国(2)	サブノート記入チェック エディンバラの観光地を調べる 世界遺産、祭り・イベントを学習する
3回	スペイン・ポルトガル	サブノート記入チェック マドリード、バルセロナの観光地を学ぶ ポルトガルの観光資源を学習する
4回	フランス(1)	サブノート記入チェック パリの観光地を学ぶ モンサンミッシェルについて調べる
5回	フランス(2)	サブノート記入チェック コート・ダジュールの観光都市を見る フランスの世界遺産を調べる
6回	ドイツ(1)	サブノート記入チェック ベルリンの観光資源を学ぶ メルヘン街道について調べる
7回	ドイツ(2)	サブノート記入チェック ミュンヘンの観光資源を学習する ロマンチック街道について学ぶ
8回	スイス・オーストリア	サブノート記入チェック スイスの観光資源を学ぶ オーストリアの観光資源を学ぶ
9回	イタリア(1)	サブノート記入チェック ローマの観光資源を学ぶ ベネチア、フィレンツェについて調べる
10回	イタリア(2)	サブノート記入チェック イタリアの世界遺産を学習する バチカン市国について学ぶ
11回	ギリシャ	サブノート記入チェック アテネの観光資源を学ぶ エーゲ海について調べる
12回	南米	サブノート記入チェック ペルーの観光資源を学ぶ ブラジルの観光資源を学ぶ
13回	トルコ	サブノート記入チェック イスタンブールの観光資源を学ぶ トルコの世界遺産を調べる
14回	アフリカ	サブノート記入チェック アフリカ北部の観光資源を学ぶ アフリカ東部の観光資源を学ぶ
15回	まとめと復習	後期のまとめ ヨーロッパ、南アメリカ、トルコ、アフリカの復習 主要な世界遺産の復習

対象学年	2年	学期	通年	学科	トラベル科	
科目名	インフィニ				クラス	K
担当講師(フルネーム)	秋満陽子					
授業概要(内容)	空席照会、PNR作成、旅客情報の入力など基本的な国際線端末操作を習得する。国際航空運賃計算基礎、運賃ルールの見方を学ぶ。				授業形態	実技
到達目標	インフィニ検定合格を目指す(希望者のみ)					
使用テキスト	専用テキスト(INFINI Reservation and Fare Pricing)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	予習:授業範囲のテキストを読んでおく 復習:授業内容を復習し、次週に備える					

	テーマ	授業内容
1回	予約①	導入:前期授業と前期期末試験の振り返り 前期の復習 各種情報検索
2回	予約②	前期の復習 基本空席照会・ダイレクトアクセス空席照会・スケジュール照会 PNR作成①
3回	予約③	前期の復習 PNR作成② 旅客情報・APISの入力 シートマップ表示＆座席予約
4回	予約④	PNRヒストリーの表示 キュー処理について学ぶ
5回	予約⑤	セールス契約について学ぶ 予約のまとめ
6回	運賃①	国際航空運賃概要 INFINI運賃システム概要
7回	運賃②	前回の復習 Low Fare Searchとは？ Low Fare Search GUIを使った運賃の確認とPNR作成
8回	運賃③	前回の復習 Low Fare Search コマンドを使った運賃の確認
9回	運賃④	前回の復習 自動運賃計算① 公示運賃・基本入力・運賃詳細・TAXの確認
10回	運賃⑤	前回の復習 自動運賃計算② 特別運賃・ペックス運賃・小児運賃・その他オプション入力
11回	運賃⑥	前回の復習 PNRからの運賃規則確認・通貨換算
12回	運賃⑦	運賃の総復習
13回	総復習①	予約・運賃総復習① インフィニ検定・期末テスト対策
14回	総復習②	予約・運賃総復習② インフィニ検定・期末テスト対策
15回	期末テスト	期末テスト

対象学年	2年	学期	通年	学科	トラベル科	
科目名	旅行web広告戦略				クラス	K
担当講師(フルネーム)	坂井　隆仁					
授業概要(内容)	まずはゲームを作ってみましょう！そこからwebサイトの知識をみにつけ 自分が企画した旅行をwebサイトにしていきます。				授業形態	実技
到達目標	html/cssが書ける様になる					
使用テキスト						
成績評価方法	・課題提出70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	
期末試験 ×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択					
事前・事後学習について	自分が就く仕事にどんなパソコンスキルが必要なのか考えてみて下さい。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	後期の授業内容の確認
2回	おみくじゲームを作ってみましょう1	html/css/JavaScriptの基本を学びながら、おみくじを作っていきましょう。
3回	おみくじゲームを作ってみましょう2	html/css/JavaScriptの基本を学びながら、おみくじを作っていきましょう。
4回	単語帳アプリを作ってみましょう1	html/css/JavaScriptの基本を学びながら、単語帳を作っていきましょう。
5回	単語帳アプリを作ってみましょう2	html/css/JavaScriptの基本を学びながら、単語帳を作っていきましょう。
6回	webサイトの更新1	ゲームで身につけた知識を使ってwebサイトを更新してみましょう。 練習課題を使ってhtml/cssを中心に学習します。
7回	webサイトの更新2	ゲームで身につけた知識を使ってwebサイトを更新してみましょう。 練習課題を使ってhtml/cssを中心に学習します。
8回	webサイトの更新3	ゲームで身につけた知識を使ってwebサイトを更新してみましょう。 練習課題を使ってhtml/cssを中心に学習します。
9回	webサイトの更新4	ゲームで身につけた知識を使ってwebサイトを更新してみましょう。 練習課題を使ってhtml/cssを中心に学習します。
10回	webサイトの更新　課題1	前期で企画した旅行企画をwebサイトにしてみましょう
11回	webサイトの更新　課題2	前期で企画した旅行企画をwebサイトにしてみましょう
12回	webサイトの更新　課題3	前期で企画した旅行企画をwebサイトにしてみましょう
13回	webサイトの更新　課題4	前期で企画した旅行企画をwebサイトにしてみましょう
14回	サーバーについて	webサイトを公開するには？？
15回	ふりかえり	今まで学習した内容を総復習します。

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	トラベル・鉄道科
科目名	コミュニケーション学			クラス	KMクラス
担当講師(フルネーム)	森田　房子				
授業概要(内容)	社会人になる前にコミュニケーションの大切さに気づく			授業形態	講義
到達目標	1. 自分の意見をしっかり言えること　2.人の話をよく聞ける社会人になること　3.日常のコミュニケーションの大切さに				
使用テキスト	「コミュニケーション技法」ウィネット・プリント教材・ビデオ				
成績評価方法	・実技内容80%、平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	授業で習ったことを復習しておくこと				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	後期授業の進め方、成績評価について説明 コミュニケーションとは？自己紹介
2回	挨拶の基本を知る	コミュニケーションの基本は挨拶　実技:プラスαの挨拶
3回	きれいな発声・発音	言語を効果的に使用する　実技:発声練習
4回	正しい日本語で話す	自分の使用言語の点検
5回	話す時の心構え	状況や場面を考えて話す
6回	効果的な話し方	話し方の基本を身につける
7回	効果的な表現力	効果的に話す(話しの構成・技術を取り入れる)
8回	効果的な表現力	効果的に話す(目線の配り方に配慮する)
9回	効果的な表現力	効果的に話す(ジェスチャーを取り入れる)
10回	聞くことの重要性	人の話を聴かない態度　実技
11回	聞くことの重要性	傾聴の態度を身につける　実技
12回	聞くことの重要性	傾聴の態度を身につける　実技
13回	職場でのコミュニケーション	事例研究
14回	インタビュー	相手のことを知る　実技
15回	まとめ	ふりかえり

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	トラベル科	
科目名	ワールドカルチャー			クラス	K	
担当講師(フルネーム)	中牟田　哲也					
授業概要(内容)	パワーポイント・板書による解説 映像により各種産業の概要を知る			授業形態	講義	
到達目標	異文化理解を深め、グローバルな業界人として活躍できるようになる					
使用テキスト	なし、適宜プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施				
事前・事後学習について	常に新聞やニュースで海外の社会情勢に関する新しい情報を収集することが望ましい。					

	テーマ	授業内容
1回	ガイダンスIT大国	・授業の進め方、成績評価、諸注意 ・インドの歴史・文化・観光 ・IT大国の理由
2回	微笑みの国	・タイの歴史・文化・観光 ・仏教のしきたり ・国民の父
3回	オリンピック	・オリンピックの歴史 ・東京五輪と日本 ・ハッピーマンデー
4回	親日の国	・トルコの歴史・文化・観光 ・親日の理由と恩返し ・東西文明の交易路
5回	固有の動植物と先住民族	・オーストラリアの歴史・文化・観光 ・固有種の保存策 ・山火事と火着け魔
6回	3つの宗教の聖地:イスラエル	・イスラエルの歴史・文化・観光 ・IT先進国とユダヤ教 ・中東戦争
7回	タンゴとガウチョ	・アルゼンチンの歴史・文化・観光 ・欧州からの移民の哀愁 ・肉食
8回	ワインと文化	・ボージョレ・ヌーボー ・ワインにまつわる世界遺産 ・欧州以外のワインの産地
9回	音楽とカフェ文化	・オーストリアの歴史・文化・観光 ・音楽の都、世界遺産の危機 ・カフェ文化
10回	ゲーミング・ビジネス	・ラスベガスの歴史、現状 ・世界のカジノ ・日本のIR
11回	世界の食文化	・世界三大料理、食の世界遺産 ・食のタブー ・食のマナー
12回	ムスリム	・ムスリムの国々 ・タブーとしきたり ・日本への受け入れの課題
13回	旅のトラブル	・ストライキ ・旅のトラブル、最新の海外旅行情報 ・渡航情報、海外旅行のコツ
14回	旅と乗り物	・クルーズ ・旅の目的としての乗り物 ・海外のタクシー事情、民泊
15回	ボランティア・ツーリズム	・NPOとNGO ・スラム支援 ・植林とグリーンツーリズム

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	鉄道基礎			クラス	N
担当講師(フルネーム)	山田　和久				
授業概要(内容)	鉄道業務の仕組みと専門的用語の理解に努める。 鉄道業務に対して興味を持たせスキルアップに努める。			授業形態	講義
到達目標	鉄道の総合的な専門知識を習得すと共に、安全に対する意識を向上させる。				
使用テキスト	分かりやすい鉄道技術「土木編・電気編・運転編」				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	通学・プライベート時に交通(鉄道・車)関係に感じたこと，気付いたことを検討し学ぶ。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介 後期授業の内容と進め方を説明する。 前期授業の振り返り
2回	鉄道法規	運転安全規範綱領・準則の理解の復讐 鉄道係員と準則の結びつきを知る。 鉄道用語・用語の意味の復讐
3回	鉄道車両(西鉄)	西鉄電車の車両について知る。 出庫点検の意義を学ぶ。 出庫点検のDVDを活用し説明を行う。
4回	閉そく方式	通常時の閉そく方式を知る。 列車間の安全を確保する方法・閉そく区間と役割について理解する。 異常時の列車運行の手段・方法について知る。
5回	伝令法	駅伝令法と指令伝令法の違いについて学ぶ。 伝令法の施行時と運転範囲について学ぶ。 DVDを活用し説明を行い理解する。
6回	鉄道運転事故	事故の分類を知る。 事故の種類と内容について理解する。 インシデントについて学ぶ。
7回	鉄道事故	過去の事故事例をDVDを活用し説明を行い職責の重大性を理解する。 事故原因を追究し事故防止の意識を深める。 グループ討議を行い要点の抽出を行う。
8回	列車の運転	原則的な鉄道運転ルールを知る。 飲酒運転撲滅を理解する。 推進運転・退行運転を知る。
9回	異常時の対策	気象予報警報・注意報のの発令基準を知る。 気象観測システム発令に伴う運行規制を知る。 事故災害等が発生した時の処置及び行動を考える。
10回	運転保安装置	保安装置の種類を知る。踏切保安装置について学ぶ。 信号保安装置について学ぶ。 列車無線・列車防護無線の機能及び取扱いを理解する。
11回	作業安全	指差確認呼称の重要性について学ぶ。 安全の必要性について学ぶ。 事故とケガについて理解する。
12回	鉄道の設備	電気の設備について知る。 車両機器について知る。 線路の設備について知る。
13回	自動列車停止装置(ATS)	ATSの設備目的と運転士の注意について知る。 地上装置と車上装置について学ぶ。 ATS故障時の取扱いと注意点を知る。
14回	気付き・ヒヤリハット・事故	ヒューマンエラーについて学ぶ。 言葉の意義を知る。 事故防止策について協議する。
15回	後期まとめ	後期授業を振り返り 全体質疑を行う。 期末試験の対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	鉄道係員			クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生　義一				
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ			授業形態	講義＆演習
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	外見のみの鉄道員と実際に現場で作業する係員の違いを理解する				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.前期の復習 3鉄道係員の役目及び仕事内容の復習を行い、各係員の作業把握を行う
2回	鉄道乗務員①	1.乗務員の放送一般 2.乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する 3.各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける
3回	鉄道乗務員②	1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ
4回	鉄道乗務員③	1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ
5回	鉄道運行に関わる係員	1司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ
6回	鉄道ダイヤに関わる係員①	1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、 時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ
7回	鉄道ダイヤに関わる係員②	1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・ダイヤグラムを見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように抗されるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ
8回	事故事例研究①	1コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)
9回	事故事例研究②	1信号に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)
10回	事故事例研究③	1ATSに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)
11回	事故事例研究④	1停車に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)
12回	鉄道運行に関わる係員	1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ
13回	鉄道ダイヤに関わる係員①	1.ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表が 工程で出来上がるかを学ぶ
14回	事故事例研究	1,,コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)
15回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座				クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石　佳代子					
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、 鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。				授業形態	講義＆演習
到達目標	一学年終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物となることを目指す。					
使用テキスト	・「SUCCESS　勝つための就職ガイド」・就職ノート					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	日常生活でも自分自身の強みを意識して生活すること					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	夏休みの振り返り 後期説明 夏休みの活動から自分の成長を振り返る
2回	ナビサイト登録	リクナビ・マイナビに登録する インターネットでの企業の検索法 ナビサイトの便利ツールを就活に活かす
3回	求人情報の収集方法	情報の収集方法と活用 求人票の見方 就職室の利用方法、IBC就活ルールの再確認
4回	履歴書作成	就職活動に活用するIBCの履歴書を作成する
5回	模擬面接用 エントリーシート	模擬面接用エントリーシートの書き方を説明し作成する
6回	履歴書・模擬面接用 エントリーシートのまとめ	履歴書・模擬面接用エントリーシートの指導
7回	自己PR作成	前期作成した自己PRを手直しして完成
8回	模擬面接の振り返り	模擬面接での結果とフィードバック 自分自身で面接を振り返る方法を知り、改善点を次に活かす
9回	志望動機作成 (志望企業編)	前期作成した鉄道業界に対する志望動機に、 志望企業の要素をプラスして完成させる
10回	志望動機作成 (実習編)	第9回で作成した志望企業や鉄道業界に対する志望動機に、 実習に対する心構え、学びたいことなどをプラスして完成させる
11回	学生時代に頑張ったこと のエピソード作成	夏休みの宿題「学生時代に頑張ったこと」のエピソードを手直しして完成
12回	面接応答内容を考える①	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える
13回	面接応答内容を考える②	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える
14回	エントリーシート作成	志望企業の過去のエントリーシートを参考にして、 エントリーシートの作成手順を確認する そして、実際のエントリーが始まったら、すぐにエントリーシートを作成できる力を養う
15回	後期の振り返り	一年間の就職活動講座の振り返りとまとめ 実習の注意点 春休みの就職活動について

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道業界研究				クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石　佳代子					
授業概要(内容)	鉄道業界への就職を目標とし、JR・大手私鉄を中心とした業界研究を行う。				授業形態	講義
到達目標	各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学び、志望動機に活かす。					
使用テキスト	鉄道業界大研究					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	日常生活でも鉄道に触れ、関心を持つこと。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション 企業研究のやり方	企業研究のやり方が深いほど志望動機に具体性が出る 企業研究シートと使用した方法を学ぶ
2回	西鉄について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
3回	JR九州グループ について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
4回	JR四国について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
5回	JR東海・JR北海道 について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
6回	JR西日本	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
7回	JR東日本	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
8回	東京メトロについて	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える 小テスト1
9回	東急、東武、西武	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
10回	京急、京王、京成	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
11回	小田急、相鉄、名鉄	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
12回	阪急(阪神)について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える 小テスト2
13回	近鉄、京阪、南海	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に適う人物像を考える
14回	第三セクター、 地下鉄、その他鉄道	第3セクターや地方鉄道、公営鉄道など、JR・大手私鉄以外にIBCに過去求人を出した実績のある会社を研究し、 求人が来たら応募できる準備をする
15回	一年間のまとめ 期末テスト対策	一年間の鉄道業界研究の復習 これまでの鉄道業界研究を総復習し、期末テスト対策、及び就職試験に活かす

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道駅実務			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	西　政明(マック24)					
授業概要(内容)	交通業界、特に鉄道を主体に業界の運営状況等を学ぶ 主として駅業務の内容、役割を理解し、基本姿勢・スキルを習得する。			授業形態	講義	
到達目標	交通・鉄道関連従事員となるための基本的資質の育成・向上を図る					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80%平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	事前に授業内容等のプリントを配布するので予習復習をすること					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	シラバス、授業の進め方等の説明 我国鉄道の概況、専門用語・略号等の鉄道一般常識の確認 交通関連トピックス解説
2回	鉄道経営の現状	JR発足後の経緯・概要及び経営方策 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク
3回	鉄道経営の現状	東日本主要民鉄の経営概況と方策 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク
4回	鉄道経営の現状	西日本主要民鉄の経営概況と方策 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク
5回	鉄道会社の運営	鉄道会社の標準的組織、業務運営体制(営業、運輸) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク
6回	鉄道会社の運営	鉄道会社の業務運営体制(施設、電気、新幹線) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク
7回	鉄道駅の役割・機能	交通サービスの生産要素と鉄道駅の役割・機能 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク
8回	駅業務の概要	鉄道駅の業務運営体制と部門別概況 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク
9回	駅業務の概要	鉄道付帯業務、安全・地球環境保全への取り組み 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク
10回	鉄道駅の現状と今後	今後の鉄道駅の役割及びその方向性 交通関連トピックス解説
11回	駅運営体制の実態と課題	鉄道駅運営体制の変遷及び運営会社の実態と課題 交通関連トピックス解説
12回	駅社員の適性・キャリアパス	鉄道会社の採用・社員運用の実態と今後 交通関連トピックス解説
13回	課題討議	鉄道駅のサービスと求められる社員像 交通関連トピックス解説
14回	駅業務見学	
15回	まとめ	振り返りと要点整理 交通関連トピックス解説 小松試験対策

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	サービス介助士			クラス	N
担当講師(フルネーム)	西　雅恵				
授業概要(内容)	お客さまの立場に立って考え行動するための気づきと、ノーマライゼーションの考え方の理解。正しい介助技術を学ぶ。			授業形態	講義
到達目標	お客様に安全で安心のできる介助を提供できるよう知識を身につけること。 授業後のサービス介助士資格取得を目指す。				
使用テキスト	サービス介助士・准サービス介助士テキスト				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	事前:なし、事後:サービス介助士実技教習2日間受講				

	テーマ	授業内容
1回	科目ガイダンス障害者差別解消法	サービス介助論で何を学ぶのか、「サービス介助士の活躍」の映像から必要性を理解する 超高齢社会の現状を知るとともに、サービス介助士の必要性を考える 障害者差別解消法とはどういった法律なのかを理解する
2回	ホスピタリティ・マインド	ホスピタリティの語源を知り、ホスピタリティとは何かを理解する ホスピタリティを感じた体験についてのディスカッションを通して、ホスピタリティマインドを理解する 事前課題の取り組み
3回	ノーマライゼーション	ノーマライゼーションの意味とノーマライゼーションとは何かを理解する 障害の種類についての理解を深める 事前課題の取り組み
4回	高齢者の理解と介助	高齢者の身体的特徴やかかりやすい病気・特徴的な病気について理解を深める 高齢者の機能低下に対する介助方法について学ぶ 事前課題の取り組み
5回	ジェロントロジー	ジェロントロジーとは 将来について考えてみよう(2年後、10年後、そして何歳まで生きるのか) 事前課題の取り組み
6回	接遇	サービス介助士としての接遇、どんなひとにも伝わる接遇を理解する 事前課題の取り組み
7回	障がい者への理解と介助(車いす使用者)	車いす使用者への理解を深めるとともに、介助方法について学ぶ 車いすの種類、操作上の注意点について理解を深める 事前課題の取り組み
8回	障がい者への理解と介助(視覚障がい者)	視覚障がい者の概要を知り、見えないことの不便さを理解する 視覚障がい者の誘導方法について理解する　点字について学ぶ 事前課題の取り組み
9回	障がい者への理解と介助(聴覚障がい者)	聴覚障がい者の概要を知り、聞こえないことの不便さを理解する 聴覚障がい者とのコミュニケーション方法について学ぶ 事前課題の取り組み
10回	障がい者への理解と介助(知的障がい者・精神障がい者)	知的障害・精神障害の定義と概要 聴覚障がい者とのコミュニケーション方法について学ぶ 事前課題の取り組み
11回	身体障害者補助犬	身体障害者補助犬についての理解と身体障害者補助犬法を知る 身体障害者補助犬使用者への介助方法を理解する 事前課題の取り組み
12回	ユニバーサルデザイン	バリアフリーデザインとユニバーサルデザインの違いを理解する 身の回りのユニバーサルデザインを知る 事前課題の取り組み:提出締切
13回	期末試験	授業内での期末試験　範囲:今まで学んだ部分から(テキスト全体)
14回	事前課題復習	事前課題の返却と復習
15回	まとめ実技教習のお知らせ	まとめ　誰もが暮らしやすい社会のためにできることは？　共生社会の実現のために必要なことを考える 実技教習についての説明

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	面接対策講座			クラス	N
担当講師(フルネーム)	橋本美智子				
授業概要(内容)	面接の主旨を理解し、話し方や表現力など 好印象を与えるトレーニングを行う			授業形態	実技
到達目標	業界に求められる人材になる				
使用テキスト	なし　プリントあり				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	毎時間、学んだ内容を復習し定着を心がけてください				

		授業内容
1回	就職試験にむけて	授業の進め方 面接の心構え 面接の種類とポイント
2回	求められる人材	ビジネスパーソンに求められる能力 グループワーク
3回	面接にむけて	発声　届く声を作る 実技
4回	面接にむけて	立ち居振る舞い　立ち方、歩き方、座り方 実技
5回	集団面接1	集団面接についての説明 話す　聞く
6回	集団面接2	話す　聞く 実技
7回	集団面接3	話す　聞く 実技
8回	集団討議1	集団討議についての説明 テーマあり 実技
9回	集団討議2	テーマあり 実技
10回	集団討議3	実際の面接で使用されたテーマから 実技
11回	振り返り	第1回～10回までの振りかえり
12回	期中評価①	集団面接 実技
13回	期中評価②	集団面接 実技
14回	期中評価フィードバック	実技試験の振り返り
15回	まとめ	集団面接、集団討議のまとめ 来期の課題

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道サービス（パーサー）			クラス	Nクラス
担当講師（フルネーム）	江副希美・脇麻美				
授業概要（内容）	接客業に必要な接客スキルの習得。 実践を交え、伝えるスキルや考えるスキルを身に付ける。			授業形態	講義
到達目標	お客さま応対における基礎や心構えを学ぶ。列車内でのサービスに必要な接客スキルやコミュニケーションを身に付ける。				
使用テキスト	プリント等				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	講義で習得したことを復習する。課題がある場合は事前学習として必ず取り組んで頂く。				

	テーマ	授業内容
1回	鉄道の仕事を知る	鉄道の仕事・それぞれの役割を学ぶ JR九州のサービスの取組み 列車・客室乗務員の紹介
2回	基礎知識・接遇マナー①	接遇の基本（基本的な心構え、一期一会の精神） ホスピタリティマインド（おもてなしの5Mindを学び、接遇者としての心構えを知る） 接遇5原則「笑顔」表情トレーニングを行い、自然な笑顔を身に付ける。「挨拶」腹式呼吸、発生練習。
3回	接遇マナー②	「身だしなみ」社会人としての身だしなみとは何かを学ぶ 「身のこなし」立ち方、座り方などの実践を行い、美しい立居振舞いを身に付ける 「言葉遣い」言葉遣いの3要素、敬語、クッション言葉、テスト
4回	接遇マナー③	基本所作（視線、話し方、立ち位置、距離感などを知り、心地良い空間創りを学ぶ） お客さまのご案内（ビジネスマナーなどを学び、お客さま応対に役立てる）
5回	接遇マナーまとめ	接遇マナー①～③総復習
6回	車内サービス実践①	ワゴンサービス （目的や役割、気を付けるポイントを知る。また、ワゴンセッティングの考え方を学び、サービスの実践を行う） ワゴンサービスロールプレイング
7回	車内サービス実践②	ワゴンサービスロールプレイング
8回	車内サービス実践③	車内アナウンス （お客さまに好まれるアナウンスや留意点を知る。また、実践を通して、自分の声質や音量を客観的に学ぶ）
9回	車内サービス実践④	観光案内 （旅先案内人として、お客さまに分かりやすく伝わるご案内を行う知識を身に付ける） 観光地の情報収集
10回	車内サービス実践⑤	観光案内実践 （人前力を身に付ける）
11回	コミュニケーション①	1分間スピーチ （与えられたテーマに沿って人前で話す、話題選びや話しやすさのポイントを知る） 乗り換え案内（ご案内を通して、表情や言葉遣いを意識した応対を学ぶ）
12回	コミュニケーション②	コミュニケーションゲーム（グループワーク） ・ゲーム学習を通してコミュニケーションの必要性やチームワークの大切さを知る ・感想、まとめ
13回	コミュニケーション③	九州旅行モデルコース製作（グループワーク） ・JR九州のD&S列車を使った旅行プランを各グループごとに作成、発表
14回	コミュニケーション④	九州旅行モデルコース製作のつづき ・発表
15回	コミュニケーション⑤	客室乗務員との交流（意見交換）

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	時刻表			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	花生　義一					
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 運賃料金及び宿泊先を考えたプラン作成			授業形態	講義＆演習	
到達目標	時刻表の確実な活用方を身に付ける					
使用テキスト	時刻表					
成績評価方法	・提出物等80%　平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	運賃料金を考えたプランニングの知識を身に付ける					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.前期の反省と今後のプラン内容を説明
2回	旅行プランニング①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う
3回	旅行プランニング②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に見合ったプランニング作業を行う
4回	旅行プランニング③	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
5回	旅行プランニング④	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
6回	旅行プランニング⑤	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
7回	旅行プランニング⑥	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
8回	旅行プランニング⑦	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
9回	旅行プランニング⑧	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
10回	旅行プランニング⑨	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う
11回	旅行プランニング⑩	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う
12回	旅行プランニングまとめ①	1.プランニング作業に対してまとめを行う ・旅行見積書の最終作成を行う ・旅行に対する作業とお客さまに対する接客応対のまとめ
13回	旅行プランニングまとめ②	1.プランニング作業に対してまとめを行う ・旅行見積書を完成させ各チーム発表を行う
14回	時刻表の活用	1.時刻表の活用術を発表する ・各自、時刻表に対する確認方を発表し、実力不足を解消する 2.習熟度調査を行う
15回	まとめ	1．総まとめ、全体質疑 2.質疑応答により習熟度を向上させる

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道車両			クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生　義一				
授業概要(内容)	鉄道車両の種類について学ぶ 電車と気動車の仕組みと違いを学ぶ			授業形態	講義＆演習
到達目標	鉄道運行に必要な車両条件を身に付ける				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	鉄道車両の構造と条件を学び、安全運行に必要な条件を身に付ける				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道車両の歴史説明
2回	電車と気動車の相違点①	1.電車と気動車の利点と欠点 2.鉄道業界においての車両普及内容 3.運転内容説明
3回	電車と気動車の相違点②	1.国家試験の相違点 ・学習内容の違い ・車両形式の確認方を学ぶ
4回	電車の運行条件	1.電車線路について ・起電方式の種類と条件いついて学ぶ ・直流起電と交流起電の違いと内容について学び、車両の条件を知る
5回	気動車の運行条件	1.気動車の運行条件を学ぶ ・エンジンのストローク ・線区別車両について学ぶ
6回	電車の機器一覧	1.集電装置について学ぶ ・起電方式の違いによる集電装置の役割を学ぶ ・集電装置の種類について学び、鉄道会社の車両を学ぶ
7回	気動車の機器一覧	1.車両形式について ・地域別形式についての機器配置を学ぶ ・エンジンを正常に起動させる重要機器について学ぶ
8回	電車の機器一覧	1.集電システムを学ぶ ・架線集電システムの各機器配置 ・架線集電システムの各機器の役割を学ぶ
9回	気動車の機器一覧	1.床下機器配置 ・形式別機器配置と役割を学ぶ
10回	電車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る
11回	気動車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る
12回	電車の台車について	1.電車の台車概要を学ぶ ・モーターと台車の因果関係を学び、安全を守る条件を知る ・台車の種類を学び、車両形式に合った台車の役割を学ぶ
13回	気動車の台車について	1.気動車の台車概要を学ぶ ・エンジンと台車の関係を学び、動力伝達方式を知る ・減速機の役割と歯車の種類を知る
14回	期末試験対策	1,.知悉度調査を実施する ・知悉度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	花生　義一					
授業概要(内容)	ダイヤ改正に伴う注意点 乗務員勤務作成時の注意点を学び、乗務行路を作成する			授業形態	講義＆演習	
到達目標	ダイヤ改正とそれに伴う乗務員の配置方を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	ダイヤグラムの完成と乗務員の行路内容を覚える					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤ改正の意義と作業内容を学ぶ
2回	駅構内ダイヤの解説	1.ダイヤ改正に伴う注意点 ・駅構内の運行内容の解説を行い、それに伴うダイヤグラムとの繋がりを知る ・車両の入換(分割、併合、入換)作業を学ぶ
3回	ダイヤグラム作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める
4回	ダイヤグラム作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める
5回	乗務員行路表作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する
6回	乗務員行路表作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する
7回	乗務員行路表作成作業③	1.各自作成した乗務員行路を発表する 2.グループ割を行い、作成した行路表と乗務員時刻表を照合して間違いを正す ・注意点の確認を班ごとに行い発表準備を行う
8回	乗務員勤務①	1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる
9回	乗務員勤務②	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を体験し、乗務員に対する意識を実感させる
10回	運用手配実践①	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する
11回	運用手配実践②	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う
12回	運用手配実践③	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う
13回	運用手配実践④	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・乗務員疾病に対する乗務員手配を考え発表を行う 2.期末試験対策
14回	運用手配実践⑤	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・イベント等による車両増結に伴う乗務員手配及び車両手配を考え発表を行う 2.フィードバックを行い習熟度を深める
15回	まとめ	1.まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	花生　義一					
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			授業形態	講義＆演習	
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	鉄道係員の実際の仕事を肌で感じうけた教養を現場で活かす力を身に付ける					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.前期の内容を復習する
2回	踏切及び人身事故①	1.鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施
3回	踏切及び人身事故②	1.鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施
4回	停車に関わる取扱い①	1.列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い説明 ・運転士、車掌、指令員、駅員の対応を学ぶ ・お客様から見た処置内容について考える
5回	停車に関わる取扱い②	1.列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い実践 ・モックアップを使用した運転士、車掌、指令員、駅員の対応を実践 ・各係員の対応について意見を深める
6回	異常事対応能力実践①	1.鉄道係員の対応について学ぶ ・想定に沿った係員の正確な対応を学ぶ ・実践に近い対応能力を身につける
7回	異常事対応能力実践②	1.鉄道係員の対応について学ぶ ・想定を各班で考え、交換する ・想定に対する取扱いを各班毎発表する
8回	駅作業ダイヤ①	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する内容説明 ・構内作業に対する内容説明
9回	駅作業ダイヤ②	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する駅員及び乗務員の運用を考える ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える
10回	駅作業ダイヤ③	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える 2.車両周期に対する関係社員の取扱いを学ぶ
11回	法廷労働に関する取扱い①	1鉄道営業法に対する各鉄道企業の取り組み ・鉄道係員に対する勤務体制を知る
12回	法廷労働に関する取扱い②	1乗務員の勤務と他の係員の勤務の違い ・'乗務員の勤務作成時の注意点を学ぶ・
13回	休日勤務に対する取扱い①	1.鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ 2.休日労働に対する考え方 3.年次有給休暇の取扱い
14回	休日勤務に対する取扱い②	1.鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ ・各係員の勤務体制を学ぶ ・乗務員の勤務を知り実際に勤務作成を行う
15回	まとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.期後授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3.期末試験対策

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング				クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生　義一					
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 青春18切符の乗車行路と旅行ポスターの作成				授業形態	講義＆演習
到達目標	プランニング作業の充実、旅行窓口作業の充実					
使用テキスト	時刻表					
成績評価方法	・提出物等80%　平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	プランニングをスムーズにする方法、ポスター作成時の注意点					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.発表内容に説明
2回	鉄道の旅①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う
3回	鉄道の旅②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に見合ったプランニング作業を行う
4回	定期観光バスの旅①	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
5回	定期観光バスの旅②	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
6回	船舶の旅①	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
7回	船舶の旅②	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
8回	航空の旅①	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
9回	航空の旅②	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う
10回	各種切符の旅①	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業
11回	各種切符の旅②	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業
12回	ポスター作成①	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成
13回	ポスター作成②	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成
14回	発表用プログラム作成②	1.青春18切符乗車体験の報告資料のまとめ 2.発表用ポスターのまとめ 3.発表プログラムの決定
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 青春18切符乗車体験及びポスターの発表

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	手話			クラス	M
担当講師(フルネーム)	鶴田　由香				
授業概要(内容)	手話でのコミュニケーションと聴覚障害のお客様への応対法を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	接客手話でのご案内、手話の読み取りでのコミュニケーション				
使用テキスト	手話を学ぼう　手話で話そう				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 ×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	前期の9講座までに学習した内容を復習し、付属のDVDをみながらシャドーイングしておく				

	テーマ	授業内容
1回	第10講座	一日のことを話しましょう 過去、完了の表現
2回	第11講座	一か月のことを話しましょう 過去、現在、未来の表現
3回	第12講座	一年のことを話しましょう 四季を通して一年をテーマに話す。
4回	第13講座	パーティーのことを話しましょう 今までの疑問詞を使っての表現
5回	聴覚障害のお客様	聴覚障害のお客様への応対法を詳しく学びます ご案内の方法
6回	第14講座	旅行のことを話しましょう 旅行をテーマに疑問詞を使って会話する
7回	第15講座	病院のことを話しましょう 聴覚障害者の医療の問題や管理に関する問題
8回	第16講座	学校のことを話しましょう
9回	第17講座	職場のことを話しましょう 位置や方向の示し方
10回	第19、20講座	表情豊かに、具体的に 表情、強弱、速度
11回	第21講座	表情豊かに、具体的に 具体的表現
12回	まとめ	手話という言葉
13回	ロールプレイング	手話で自分を表現する
14回	ロールプレイング	手話で自分を表現する
15回	総復習	一年間の総まとめ

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道就業前教育				クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石　佳代子					
授業概要(内容)	社会人になった際に学生と違う部分が何であるのかを、 鉄道業界での事例を踏まえ学習する。				授業形態	講義＆演習
到達目標	働く上で必要なことを知り、鉄道業界で働く心構えをし、早期離職を防ぐ					
使用テキスト	・講師作成プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度・授業に対する熱意・出席率・小テストなどにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	アルバイトでのルールや給与明細を見て社会の仕組みに触れること					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	鉄道会社の組織図、鉄道業界でのキャリアパス、福利厚生・休日などについて
2回	会社の法律 ＝就業規則とは？	鉄道業界の就業規則の記載事項について学ぶ 社会人として必ず守らないといけないルールを知る
3回	給料の内訳を知る	社会保険・労働保険・税金の意味を知り、 使えるお金の範囲で生活をシュミレーションする
4回	QC活動	仕事に取り組む際には自ら目的意識を持ち、改善することが大切 鉄道業界におけるQC活動を学ぶ
5回	ビジネス自己分析	これまでの振り返り、就職活動進捗状況報告 自分の行動パターン知ったうえで、上司・同僚・友人の行動パターンを学び どのように接したら円滑に仕事が進むかを考える
6回	できる新入社員と言われるためには	報連相の基本 スケジューリングの大切さ これだけは押さえたいビジネスマナー
7回	アフター5の過ごし方	懇親会のマナー 残業・休日出勤
8回	社員旅行プランニング	職場で社員旅行の幹事になったことを想定して、 社員旅行のプランをグループで作成する
9回	社員旅行プランニング 発表会	前週に作成した社員旅行のプランをグループ別に発表する 入社後の懇親会・社員旅行に活かす
10回	アンガーマネジメント	怒りのしくみを知り、コントロールする術を学び、円滑な社会人生活を送ることを 目指す
11回	メンタルヘルス	社会人に多いメンタル不調について学ぶ ストレスや悩みを抱え込まないためにはどうすればよいか検討する
12回	ストレスタイプを知る	自分自身のストレスの受け方、傾向を知り、 ストレスに強いメンタルを養う
13回	承認すること 承認されること そのメカニズム	人を認める、人から認められることは、生きる上での原動力となるが、 強すぎても弱すぎてもメンタルに影響する そのメカニズムを知る
14回	江戸しぐさ	日本古来の思いやりの心を知る
15回	2年間のまとめ	働くことに関する総合的なテスト 2年間のまとめ これから社会に出る皆さんへメッセージ

エアライン

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	航空業界研究			クラス	QR
担当講師(フルネーム)	吉原正彦				
授業概要(内容)	航空会社及び関連会社の業務、空港、航空機等について講義 航空輸送の現状について講義			授業形態	講義
到達目標	航空業界の全体を理解し、就職活動に役立つ知識を習得する				
使用テキスト	エアポートビジネス入門・必要に応じプリント				
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択			
事前・事後学習について	航空業界への意識を高め、予習復習に取り組む				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	後期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(航空の歴史)を復習し学ぶ 航空業界の今後の動向について説明し学ぶ
2回	旅客送迎サービス業務	旅客送迎サービス業務の概要について学ぶ 出発時のサービス業務について学ぶ 到着時のサービス業務とトラブル対応について学ぶ
3回	CIQ業務	CIQ(税関の検査・入国審査・検疫検査)について学ぶ 出入国手続きの期間と審査、検査対象について学ぶ CIQ制限区域内への立ち入り時の注意事項について学ぶ
4回	航空機運航情報	運航スケジュールの見方(FLT NUMBER等)について学ぶ 飛行機の登録番号「SHIP NUMBER」について学ぶ フライトオペレーションでのブリーフィング内容、等について学ぶ
5回	航空連合・航空協定	航空連合(航空会社間の連合組織)について学ぶ 航空協定(二国間航空協定)オープンスカイ協定について学ぶ ハブ空港(広域空港路線網の中心として機能する空港)について学ぶ
6回	航空業界用語	航空機・運航・整備・空港施設・取り扱い関係用語について学ぶ 飛行機の座席、構造に関する用語、航空一般用語について学ぶ 航空業界用語の確認テストを行い理解する
7回	旅客機の機種とメーカー	ジェット旅客機の進化にについて学ぶ 世界の旅客機とメーカーについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)
8回	日本と世界の主要エアライン	エアラインを取り巻く環境について学ぶ エアラインの戦略、各社の提携と路線展開について学ぶ エアライン発展の一世紀について学ぶ
9回	フライトオペレーション	フライトプラン作成に欠かせない航空情報について学ぶ 乗客の搭乗完了、出発(プッシュバックからタキシングまで)について学ぶ 安全運航を脅かす気象現象は何か？について学ぶ
10回	エアトラベル	航空会社別、多種多様な運賃体系について学ぶ コンフィギュレーションにみる航空会社の戦略について学ぶ 飛行機の非常用設備とその使用法について学ぶ
11回	日本の航空輸送	日本の航空輸送の変遷について学ぶ 日本の航空輸送、今後の課題について学ぶ
12回	世界の航空輸送	世界の航空輸送の歴史について学ぶ 世界の航空輸送と枠組みについて学ぶ 国際旅客輸送の現状について学ぶ
13回	空港の基本構造	空港の基本構造について学ぶ 現代空港ターミナルビルの構造について学ぶ 日本の空港・ランウェイデータについて学ぶ
14回	航空管制	飛行機が航行する空域と飛行ルールについて学ぶ 管制業務について学ぶ 運行に影響する気象現象について学ぶ
15回	まとめ	授業全体を振り返って復習する 小テスト(採点と解答説明)

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	空港実務			クラス	QR
担当講師(フルネーム)	原田歩				
授業概要(内容)	海外の空港や航空会社の特徴、国際線におけるお客さまの流れを学ぶ サービスについて考え、接客を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	国際線の基礎を理解する				
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門				
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	毎回行われる小テストの予習復習を行う				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について ・前期の復習
2回	海外の空港	・海外の空港を知る ・各空港の特徴を学ぶ ・空港および都市の3レターを覚える
3回	海外の航空会社	・海外の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・航空会社の2レターを覚える
4回	航空専門用語①	・専門用語や略語を覚える ・どのような場面で使われるか理解する
5回	航空専門用語②	・専門用語や略語を覚える ・どのような場面で使われるか理解する
6回	出入国書類	・パスポートについて学ぶ ・ビザについて学ぶ ・出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ
7回	CIQ①	・CIQの役割を理解する ・国際線における手続きを学ぶ ・国際線におけるお客様の流れを学ぶ
8回	CIQ②	・CIQの役割を理解する ・国際線における手続きを学ぶ ・国際線におけるお客様の流れを学ぶ
9回	国際線の手荷物	・手荷物のルールを復習する ・国際線における手荷物のルールを学ぶ ・危険物について復習する
10回	国際線の機内サービス	・国際線のクラス、機内の設備、食事について学ぶ ・“良いサービス”とは何かを考える ・FSCとLCCを比べる
11回	アライアンス	・3つのアライアンスについて学ぶ ・各アライアンスの加盟航空会社を学ぶ ・アライアンス加盟によるメリットを理解する
12回	保安	・アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ ・全日空機ハイジャック事件について学ぶ ・安全に対し、より一層理解を深める
13回	アナウンス	・空港や機内における様々な場面でのアナウンスを学ぶ ・寿アナウンスに挑戦する
14回	イレギュラーとクレーム	・不可抗力と会社都合による欠航・遅延について学ぶ ・イレギュラー時のハンドリングについて学ぶ ・クレームについて理解を深め、対応のポイントを学ぶ
15回	まとめ	・1年間の復習

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	アルテア				クラス	Q/R
担当講師(フルネーム)	横瀬　敦子					
授業概要(内容)	国内線予約発券全般に加え、運賃検索や変更後の交換発行・払戻操作を行う また、空港実務に沿った業務・接客のポイントも習得する				授業形態	講義＆演習
到達目標	2月に実施される「アクセスオペレーションスペシャリスト検定　国内準1級」全員で合格を目指す					
使用テキスト	JAL国内線予約発券×オペレーションスキル2019　JAL国内線予約発券×エアポートカウンタースキル2019(2冊)＆早見表					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点には授業態度、提出物、小テストの結果も含まれる。				単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択					
事前・事後学習について	前期同様、早見表は個々でまとめてテストや検定に備えておくこと(テキストからの書き込みなど)。					

	テーマ	授業内容
1回	復習	最安値予約・身体障害者割引・分割・TST再登録←国内2級問題のPNR作成行う エラーメッセージを見直す(テキストにて) 幼児・小児入力練習を行う(練習問題プリント使用　INF/INS/CHD　入力)
2回	その他の予約方法	直接予約(便名指定予約)を行う オープンセグメントについての概要と操作練習 キャンセル待ち予約操作練習
3回	優待割引運賃	国内線・各種割引運賃規則を学ぶ(テキスト＆情報WEB使用) 普通運賃・往復割引予約完了から変更操作を行う 優待割引運賃について学ぶ(株主優待割引・代理店報償割引)
4回	乗継割引運賃	乗継割引運賃の概要を学び、操作練習を行う 離島割引運賃の概要を学び、操作練習を行う SSR(お手伝いが必要なお客様の入力)やOSI(同行者入力)を学ぶ
5回	取消と払戻	予約便の取消しを行い、払戻規則(払戻有効期間・場所・手数料など)を学ぶ
6回	取消と払戻	払戻手順と操作方法を学ぶ(PNRからの払戻と発券ファイルからの払戻)
7回	エアポートカウンタースキル	※空港カウンターを想定した端末操作と接客を学ぶ 2019年度版エアポートカウンタースキルテキスト使用　Case1(新規予約＆発券)　ペアワーク　練習と発表
8回	エアポートカウンタースキル	※空港カウンターを想定した端末操作と接客を学ぶ 2019年度版エアポートカウンタースキルテキスト使用　Case4(払戻)　ペアワーク　練習と発表
9回	変更と交換発行	発券後の変更と交換発行の概要を学ぶ
10回	変更と交換発行	交換発行の手順と操作方法を学ぶ(差額返金・追徴の場合またオープン券への交換発行も学ぶ)
11回	セールスレポートとVOID	JALマイレージ登録について学ぶ その他、イレギュラーについて学ぶ セールスレポートの見方とセールスレポートからのVOID処理を学ぶ
12回	検定対策Ⅰ	「国内準1級」検定受検にあたっての心構えを学ぶ 様々な運賃でのPNR作成を行う
13回	検定対策Ⅱ	筆記対策 検定・国内準1級の過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)
14回	検定対策Ⅲ	ヒアリング対策 検定・国内準1級の過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)
15回	期末試験	総復習(予約作成～発券～変更・取消～払戻や交換発行まで) 期末試験(検定準1級に沿った筆記/PNR作成)

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	空港英語				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	髙木　美希					
授業概要(内容)	飛行機出発から到着までに使われる英語の語彙と会話(主に機内)について学ぶ。国際線及び外資系航空会社について学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	国際線及び世界の航空会社について理解を深め、機内で使われる英会話及び語彙を習得する。					
使用テキスト	プリント・パワーポイント					
成績評価方法	・期末試験80%平常点(小テスト)20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	学んだ英会話や語彙を理解し、航空会社の入社試験に備える。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	前期末試験の答案返却と解説 後期の授業概要と目的、成績評価について理解する。
2回	世界のエアライン	日本に就航している代表的な外資系航空会社について学ぶ。 世界の主要都市について学ぶ。
3回	航空業界の仕事	客室乗務員の歴史を学ぶ。 空港で働く人々の仕事内容、搭乗までの流れを再確認する。 【小テスト①】
4回	出発前準備	飛行機が出発するまでの流れを理解する。 【小テスト②】
5回	搭乗	係員が乗客搭乗時に注意する事を理解する。 着席から出発する間の接客について学ぶ。 【小テスト③】
6回	機内サービス	機内に搭載されている飲み物、機内食の種類を理解する。 【小テスト④】
7回	機内サービス	英語での接客ロールプレイを経験し、基本的な会話が出来るようになる。 【小テスト⑤】
8回	機内アナウンス	機内での英語アナウンスの種類を理解する。 原稿を見ながら、実際に声に出してアナウンスをする。 【小テスト⑥】
9回	機内アナウンス	原稿を見ながら、実際に声に出してアナウンスをする。 アナウンスは全員行う。 【小テスト⑦】
10回	機内での病気	機内で起こりやすい症状について学ぶ。
11回	機内での病気	病名や症状を英語で表現できるようになる。 【小テスト⑧】
12回	着陸	着陸までの流れを理解する。 着陸時の注意事項について理解する。 【小テスト⑨】
13回	機内安全	機内での非常用設備の種類を理解する。 【小テスト⑩】
14回	機内安全	救命胴衣を実際に着用し、デモンストレーションを体験する。
15回	まとめ	後期学習した内容の振り返りをし、期末試験に備える。

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	日本語表現			クラス	Q・Rクラス
担当講師(フルネーム)	久保田　博子				
授業概要(内容)	日本語検定対策 就職試験に備え、文章力を伸ばす			授業形態	講義
到達目標	日本語検定3級合格　日本語表現をブラッシュアップする				
使用テキスト	『ステップアップ日本語講座　一　上級』 東京書籍				
成績評価方法	・期末試験60%　平常点20%　検定結果20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△　期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	事前学習:検定過去問題を解く　　事後学習:復習する				

	テーマ	授業内容
1回	前期復習	前期期末試験を返却し、解答・解説
2回	日本語検定過去問題①	過去問題(平成26年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
3回	日本語検定過去問題②	過去問題(平成27年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
4回	日本語検定過去問題③	過去問題(平成28年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
5回	日本語検定過去問題④	過去問題(平成29年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
6回	日本語検定過去問題⑤	過去問題(平成30年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
7回	日本語検定復習	検定試験に向け、総復習
8回	日本語検定解答・解説	令和元年第2回検定問題を自己採点し、正しく理解し直す
9回	文章作成の基本	文章作成の基本を学び、就職活動時の書類作成および面接にふさわしい表現を身につける
10回	表現の基本①	就職活動に適切・不適切な表現を学ぶ
11回	表現の基本②	履歴書・エントリーシートを添削し、推敲する(Ⅰ)
12回	表現の基本③	履歴書・エントリーシートを添削し、推敲する(Ⅱ)
13回	文章作成力を伸ばす①	表現力をつける
14回	文章作成力を伸ばす②	考える力をつける
15回	まとめ	1年間の総復習

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	就職活動講座			クラス	Q・Rクラス
担当講師(フルネーム)	吉原　正彦・久保田　博子				
授業概要(内容)	就職試験のための対策 面接練習			授業形態	講義＆演習
到達目標	就職活動の準備ができている				
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト　就職ノート				
成績評価方法	・面接試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	自己分析、企業研究を進める				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション①	夏休みの課題(自己PR・志望動機)を添削
2回	オリエンテーション②	夏休みの課題(自己PR・志望動機)を添削
3回	面接対策 自分の性格を知ろう	面接練習:自分の性格(長所・短所)について
4回	面接対策 自分の性格を知ろう	面接練習:自分の性格(長所・短所)について
5回	面接対策 自分の職業観を知ろう	面接練習:自分の職業観について
6回	面接対策 自分の職業観を知ろう	面接練習:自分の職業観について
7回	面接対策 自己PRの練り直し	面接練習:自己PR
8回	面接対策 自己PRの練り直し	面接練習:自己PR
9回	面接対策 志望動機の練り直し	面接練習:志望動機
10回	面接対策 志望動機の練り直し	面接練習:志望動機
11回	面接対策 エントリーシート作成	面接練習:エントリーシートの内容
12回	面接対策 エントリーシート作成	面接練習:エントリーシートの内容
13回	面接シュミレーション (就職セミナーに向けて)	就職セミナーについて
14回	面接試験①	集団面接　自己PR＆志望動機
15回	面接試験②	集団面接　自己PR＆志望動機

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美					
授業概要(内容)	自己分析(経験の書き出し) スピーチを通して人前で話すことに慣れる				授業形態	講義
到達目標	人前で話すこと、敬語に慣れる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・平常点30%、試験(論述／実技)※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・必要に応じレポート				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	面接に向けた材料集め(3行日記、自己分析など)、自己分析					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	□企業研究と自己分析の必要性の再確認 □後期課題 □スピーチついて
2回	採用試験準備	□スピーチ □ESの身だしなみ
3回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
4回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
5回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
6回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
7回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
8回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング □意図の確認
9回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
10回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
11回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
12回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
13回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
14回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
15回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン・国際ホテルマネジメント科
科目名	ペン字			クラス	QR・U日本人クラス
担当講師(フルネーム)	安藤　清子				
授業概要(内容)	文字の基本を学び様々な用途にあわせ書式とバランスを学ぶ			授業形態	講義＆演習
到達目標	履歴書・実用書(ペン・筆ペン)を美しくまとめるポイントの取得				
使用テキスト	オリジナルテキスト(4冊)・下敷き・ペン2種類・筆ペン				
成績評価方法	・提出物70%小テスト・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 ×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	この授業で習ったことを他の教科で生かし読みやすい文字を書く				

	テーマ	授業内容
1回	文字の基本を学ぶ①	文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類　筆順① ～横書きの書き取り～書式・文字の種類の確認
2回	文字の基本を学ぶ②	平仮名－ひらがなの字源と特徴　筆順② 平仮名の書き取り
3回	文字の基本を学ぶ③	片仮名－カタカナの字源と特徴　筆順③ 片仮名の書き取り
4回	文字の基本を学ぶ④	平仮名、片仮名のまとめと確認　筆順④ 横書きの書き方　書式とバランス
5回	履歴書の書き方①	履歴書の書き方　筆順⑤ バランスよくまとめるコツ、履歴書に出る漢字書き取り
6回	履歴書の書き方②	履歴書　まとめ①
7回	履歴書の書き方③	履歴書　まとめ②
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字とバランスを学ぶ　常用漢字① 封筒の書き方(縦長)　個人・企業の書き分け①
9回	実用書を学ぶ②	封筒の書き方(縦長)　個人・企業の書き分け②　常用漢字② A4が入る封筒の書き方、個人・企業の書き分け①
10回	実用書を学ぶ③	A4が入る封筒の書き方、個人・企業の書き分け②　常用漢字③ まとめ
11回	実用書を学ぶ④	手紙の書き方　常用漢字④ 縦書きの書き方 内定後のお礼状の書き方
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 自分名前を書く～楷書・行書の名前　芳名帳の書き方
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き～実用書のマナーを学ぶ お祝いの表書き「御祝」「寿」書式とバランス
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き お悔やみの表書き「御霊前」「御仏前」 宗教の違い～用途の違いの確認
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④	色々な実用書を書く 実用まとめ(理論)プリント　まとめ

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科
科目名	ユニバーサルサービス			クラス	QR
担当講師(フルネーム)	原田歩				
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介助知識を身につける			授業形態	実技
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる				
使用テキスト	接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト				
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	日常生活や実習で実践する				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・ユニバーサルデザインについて考える ・身近なユニバーサルデザインを知る
2回	視覚障害者へのサービス①	・視覚障害者についての基本知識を習得する ・介助犬について学ぶ ・盲導犬について理解を深める
3回	視覚障害者へのサービス②	・視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・全盲体験をする ・体験から学んだことを共有する
4回	視覚障害者へのサービス③	・視覚障害者への接客を学ぶ ・手引きの方法を学ぶ ・空港内を想定し案内する
5回	視覚障害者へのサービス④	・視覚障害者への接客を学ぶ ・手引きの方法を学ぶ ・空港内を想定し案内する
6回	聴覚障害者へのサービス①	・聴覚障害者の基本知識を習得する ・聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・体験から学んだことを共有する
7回	聴覚障害者へのサービス②	・様々なコミュニケーション方法を学ぶ ・筆談でチェックイン業務を行う
8回	高齢者へのサービス①	・高齢者についての基本知識を習得する ・高齢社会について考える ・加齢に伴う心身の変化を理解する
9回	高齢者へのサービス②	・認知症についての基本知識を習得する ・認知症の症状を学ぶ ・高齢者への接客を学ぶ
10回	知的・発達・精神・言語障害のある方	・知的・発達・精神・言語障害についての基本知識を習得する ・知的・発達・精神・言語障害者への接客を学ぶ
11回	内部障害のある方	・内部障害についての基本知識を習得する ・内部障害者への接客を学ぶ
12回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	・妊娠中の方についての基本知識を習得する ・小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ ・施設や店舗で喜ばれるサービスを考える
13回	肢体障害者へのサービス①	・肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する ・車椅子の種類と基本操作を学ぶ ・校内を自走する
14回	肢体障害者へのサービス②	・車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ ・自走体験をもとに注意すべき点に気づく ・空港内を想定し案内する
15回	肢体障害者へのサービス③	・車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ ・自走体験をもとに注意すべき点に気づく ・空港内を想定し案内する

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	グランドハンドリング			クラス	QR選択	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦					
授業概要(内容)	航空機の安全運航を第一に、定時制、快適性など航空機運航の基本要件を満たすための質の高い知識を習得する			授業形態	講義	
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント					
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	グランドハンドリング業務の重要性を認識し、予習復習に取り組む					

	テーマ	授業内容
1回	機体サービス作業	機内空調サービス(低圧空気)の供給作業について概要を説明する 機体電源供給作業の操作方法、サービスパネルの位置について学ぶ エア・スタータ(高温高圧空気)供給作業について概要を説明する
2回	客室サービス作業	客室クリーニングの種類、作業者の訓練・資格について学ぶ 客室用品の搭載取り卸しとセッティングについて概要を説明する 客室用品の補充・受け入れ作業について概要を説明する
3回	燃料搭載作業	航空燃料とは!(航空ガソリンとジェット燃料の違い)について学ぶ 搭載量(燃料オーダ)給油方法(フューエラー方式・ハイドランド方式)について学ぶ 燃料搭載作業手順について説明する
4回	機体の除雪・防氷作業	防除雪氷液の種類、性能について学ぶ ホールドオーバ・タイムの意味、変化する要因、ガイドラインに示された気象条件について学ぶ フロー・オフの特性、防除雪氷について学ぶ
5回	ヘリコプター/小型飛行機のグランドハンドリング	ヘリコプタのグランドハンドリング業務の概要について学ぶ 小型飛行機のグランドハンドリング業務の概要について学ぶ
6回	安全管理	安全管理一般(ハインリッヒの法則、ヒューマンエラーの防止、等)について学ぶ 機体付近の安全(航空機優先、航空機牽引時の注意事項、指差呼称および危険予知、等)について学ぶ 高所作業の安全(転落などによる危険防止、高所作業車などに関する規制、等)について学ぶ
7回	品質管理	品質管理一般(航空輸送の品質、品質サービス、等)について学ぶ 品質作業、品質管理の効用とコスト、品質管理の実施について学ぶ
8回	安全・品質(事故・IRR)	ヒューマンエラーの防止対策、不安全事象(例)の分析を行い学ぶ 航空機・空港での過去の事故事例を基に事象の確認、対策を学ぶ 小テスト(採点と解答説明)
9回	関連情報	航空機、機種別のグランドハンドリング・サービス・ポイントの寸法および位置について学ぶ 日本・海外の空港のスリーレター・コードについて学ぶ 日本・世界の主要航空会社のエアライン・コードについて学ぶ
10回	空港規則(Ⅰ)	空港規則(制限区域内の車両安全)の用語の定義について学ぶ 空港制限区域内、立ち入り区域の区分、承認証の表示、等について学ぶ 空港制限区域内における車両安全運転の義務について学ぶ
11回	空港規則(Ⅱ)	空港制限区域内における車両の操作および走行について学ぶ 空港制限区域内における車両の制限速度について学ぶ 空港制限区域内における車両使用承認条件について学ぶ
12回	ランプ・誘導路などの標識	空港長が安全上、特に定める車両の走行、通行方法について学ぶ 車両通路の指示標示等の定義について学ぶ エプロン内安全のためのマーキング定義について学ぶ
13回	航空危険物輸送(Ⅰ)	危険物の定義、危険物の取り扱い体制について学ぶ 法令および諸規則の概要を学ぶ 危険物の分類について学ぶ
14回	航空危険物輸送(Ⅱ)	航空輸送禁止の危険物について学ぶ 放射性物質のマーキングおよびラベリングについて学ぶ 旅客機で輸送される危険物、貨物専用機で輸送される危険物貨物について学ぶ
15回	まとめ	授業全体を振り返って復習する 小テスト(採点と解答説明)

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	ブラッシュアップ講座				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美					
授業概要(内容)	就職試験までに必要な準備の確認 説得力のある話し方、伝え方を面接トレーニングで体得する				授業形態	講義
到達目標	エピソードの深堀りをし信憑性を高める					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・平常点30%、課題／レポート70%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	普段の生活態度から「チーム」を意識した言動を心掛ける。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	□第一印象の重要性について振り返り　□後期課題について 身だしなみの徹底 □第二印象の重要性について①
2回	採用試験準備	□第二印象の重要性について②
3回	採用試験準備	□話し方・伝え方 1分・1分半の時間感覚を養う
4回	採用試験準備	□スピーチ □ビジネス文書:作成時の注意事項、返信のタイミング
5回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
6回	採用試験準備	□グループワークトレーニング チーム内での自身の役割を理解する 「協力」の言葉の理解と、具体的な協力の仕方を体験する
7回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
8回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
9回	採用試験準備	□スピーチ □救命胴衣の着用と説明
10回	採用試験準備	□グループワークトレーニング チーム内での自身の役割を理解する 「協力」の言葉の理解と、具体的な協力の仕方を体験する
11回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
12回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
13回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
14回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング
15回	採用試験準備	□スピーチ □面接トレーニング

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	エアカーゴ概論			クラス	Q/R
担当講師(フルネーム)	松下　良朗				
授業概要(内容)	航空貨物輸送概要　　航空貨物の荷役方式と荷役設備 航空機別貨物搭載諸元　　国際貨物輸送　　貨物受託/発送/到着			授業形態	講義
到達目標	航空貨物輸送の基礎知識を得るとともに貨物輸送の概要について考え方と実務を理解する				
使用テキスト	AIR CARGO　MANUAL　　配布プリント				
成績評価方法	・期末試験80%平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	・マニュアル及び適宜配布するプリント以外に　講義内容をNOTEし事後学習すること。 期末試験に出題あり				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・コース　概要説明　　授業の進めかた
2回	国際航空貨物の動向	・日本の空の歴史・航空行政・空港の機能配置・変わりゆく空港を見つめる・FSC～LCCの台頭 ・航空貨物輸送概要　　・民間航空発達の歩みと貨物需要の伸び　統計から学ぶ ・貨物の国別/地域別/航空会社別の統計を理解する　市場動向の影響と経済を学ぶ
3回	関税法の用語の定義	・外国貨物とは ・内国貨物とは ・輸出全般
4回		・輸入全般 ・排他的経済水域・水産物・輸入法令　与える影響 ・時差　および輸送時間
5回	航空貨物基礎	・航空貨物輸送の価格　スピード　品目　流通経済の先行指標 ・3コード/IATA/ICAO/PRFX NBR　代理店コード/貨物用語 ・国際貨物運送上　作成　運賃算出　混載運賃　タリフ　約款から見えてくるもの
6回	危険物	・危険物規則書を紐解く　　危険物とは ・関係法令を学ぶ 危険物の概要を知る
7回	ＴＩＥ　DOWN	・緊締・固縛・飛行中の重力　　CLMから学ぶ ・縛る　TIE DOWNの実際 ・Gファクター　　LASHING
8回	国際貨物の受託から発送	・直送貨物と混載貨物の違いを知る　輸送経路および受託方法を理解する。 ・代理店　混載業者　利用航空運送事業者について学ぶ
9回	税関について	・税関の役割について学び航空貨物輸送との関わりについて理解することを目標とする ・保税制度　地域について学び理解する。　(国際空港の機能　税関空港　開港) ・出入国管理　GD　CUSTOM　IMMIGRATION　QUARANTINE　について学ぶ
10回	国際貨物と関係法令について	・他法令関係 ・外国為替　貿易管理法　ETC
11回	輸出入通関の流れ	・国際貨物の流れを知り通関業務について学ぶ ・輸出入申告の流れと貨物の流れ ・NACCSの基礎
12回	国際貨物運送状	・国際貨物運送状について学ぶ　マニフェストへの記載と運送状の取り扱い ・ニュートラルAWB　PRINT AWB ・ｺﾝﾃﾅに積み付け　・PLTの積み付け
13回		・運送状記入と貨物のB/U ・小テスト
14回	国際郵便の取り扱い	・郵便物の取り扱い(国際郵便) ・投函から受け取り ・法体系
15回	授業のまとめ	・航空貨物の現状と航空貨物輸送の実態と　変わりゆく空港及び物流について ・社会人として求められるもの ・授業の総まとめ　　期末試験対策

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美					
授業概要(内容)	質問の意図を理解する 選考方法のポイントを理解した面接練習				授業形態	講義
到達目標	内定獲得に必要なスキルを高める					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・平常点30%、試験(論述／実技) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・必要に応じレポート				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	可能な限り面接練習の場を設ける					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	□過去ESの設問の確認(エピソードの当てはめ) □資格取得状況の確認／証明写真・スナップ写真について □説明会に参加する時のマナー／質問の仕方
2回	採用試験準備	□ES／履歴書の作成ポイント／マナー エントリー時の注意事項(郵送、WEB)／設問以外の記入の仕方について(趣味・特技) □CAの役割・業務・使命の理解
3回	採用試験準備	□スピーチ □企業研究の仕方 仮説の立て方
4回	採用試験準備	□スピーチ □採用試験の種類とそのポイント／対策 GD／GWについて
5回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
6回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
7回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
8回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
9回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
10回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
11回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
12回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
13回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
14回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)
15回	採用試験準備	□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科
科目名	航空機概論			クラス	O・P
担当講師(フルネーム)	吉原　正彦				
授業概要(内容)	航空機の発達、技術の進歩について航空の歴史を学ぶ 世界の空で活躍する旅客機の機種とメーカー、メカニズムについて学ぶ			授業形態	講義
到達目標	航空機の機体構造・各部の名称と機能、役割について理解する				
使用テキスト	プリント教材・パワーポイント				
成績評価方法	・期末試験80%平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	O	※期末試験期間中に実施・・・O　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	講義で学んだことを復習し習得する				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 授業の進め方、成績評価方法について説明する 航空機に対する思い、イメージ等について意見交換を行う
2回	旅客機の機種とメーカー	飛行機の形、その理由について学ぶ 世界の旅客機とメーカーについて学ぶ 航空機の国籍・機体番号の役割について学ぶ
3回	飛行機の構造	飛行機の各部の名称・機能について学ぶ 飛行機の構造と製造プロセスについて学ぶ
4回	飛行の原理	飛行機と航空機の違いについて学ぶ 飛行機が飛ぶための原理(飛行機に働く4つの力)について学ぶ 離陸・旋回・着陸のためのしくみについて学ぶ
5回	旅客機のメカニズム	飛行機が軽くて丈夫なわけについて学ぶ 旅客機の胴体断面が円い理由について学ぶ 旅客機の主翼はなぜ細長いのか？主翼には何が入っているのか？について学ぶ
6回	機体構造、役割	主翼・水平尾翼・垂直尾翼が飛行に果たす役割について学ぶ 動翼(スポイラー・フラップ・エルロン・エレベーター・ラダー)及び主輪・前輪の構造、役割について学ぶ
7回	機体構造、役割	制動装置(ブレーキ・システム)の仕組みについて学ぶ 地表と航空機をつなぐ着陸装置(緩衝装置)について学ぶ 着陸装置用タイヤについて学ぶ
8回	機体構造、役割	飛行機の発電システムと電力供給システムについて学ぶ 飛行機の与圧・空調装置の仕組みについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)
9回	機体構造、役割	ジェット・エンジンのしくみ、働きと種類について学ぶ ターボジェット・エンジン、ターボプロップ・エンジン、ターボシャフト・エンジンの違いについて学ぶ ターボファン・エンジンの働きについて学ぶ
10回	機体構造、役割	機体の内部構造、各種ドアについて学ぶ 客室(座席の種類・座席の配列・ギャレーの構造及び機能・収納庫・等)について学ぶ 貨物室(前方・後方・バルク)について学ぶ
11回	飛行機の運航システム	飛行機のコクピットは、どのような仕組みになっているか学ぶ 日本で活躍中の主要な旅客機のコクピットについて説明する
12回	飛行機の運航システム	どのくらいの高さをどのように飛ぶかについて学ぶ 巡航高度はどのように保たれているのか、また飛行高度、飛行速度の測り方について学ぶ 電波・目視・ボイスなど様々あるアプローチ法について学ぶ
13回	飛行機の運航システム	安全運航を脅かす気象現象は何かについて学ぶ 警報システムの名称と役割及び安全対策備品について学ぶ 自動操縦装置機能が安全運航に果たす役割を学ぶ
14回	飛行に関わる機体の要素	飛行機に装備されている灯火系統と航空灯の種類と役割を学ぶ 飛行機に装備されている多種多様なアンテナについて学ぶ ハイテクを駆使して収益性や環境保護に配慮した最新鋭旅客機について学ぶ
15回	まとめ	授業のまとめ、復習し確認する 小テスト(採点と解答説明)

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン科・夜間総合観光科（合同）
科目名	観光地理			クラス	O・P・Z（合同）
担当講師（フルネーム）	中牟田　哲也				
授業概要（内容）	地域ごとの主な都市・都市コード・観光地を白地図に記入 有名観光地の映像を見る			授業形態	講義
到達目標	日本の地域の特性、主な都市・有名観光地を覚える				
使用テキスト	国内観光地理サブノート、レジュメ・プリントの配布				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施			
事前・事後学習について	学習予定の地域を地図で確認しておく。授業で学んだ地域・国への旅行商品（パンフレット等）を確認望ましい。				

	テーマ	授業内容
1回	ガイダンス 時差の知識	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・日本の地域の分け方と地域の中心都市 ・JR6社と新幹線
2回	北海道	・北海道の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
3回	北東北 （青森・秋田・岩手）	・北東北の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
4回	南東北 （宮城・山形・福島）	・南東北の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　国立公園
5回	北関東 （茨城・群馬・栃木）	・北関東の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
6回	南関東 （千葉・埼玉・東京・神奈川）	・南関東の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
7回	甲信越 （山梨・長野・新潟）	・甲信越の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
8回	北陸 （富山・石川・福井）	・北陸の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
9回	東海 （静岡・愛知・岐阜・三重）	・東海の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　国立公園
10回	近畿 （滋賀・京都・奈良・ 和歌山・大阪・兵庫）	・近畿の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
11回	中国 （岡山・広島・山口・ 鳥取・島根）	・中国の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
12回	四国 （香川・徳島・愛媛・高知）	・四国の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　国立公園
13回	北九州 （福岡・佐賀・長崎・大分）	・北九州の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
14回	南九州 （熊本・宮崎・鹿児島）	・南九州の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
15回	沖縄 （本島・離島）	・沖縄の主な都市と交通（空港・新幹線・駅） ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	観光英語				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	挽田　雅子					
授業概要(内容)	エアラインビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ 接客に必要な英語表現を学び、聞く・話すを多用して英語を身につける				授業形態	講義
到達目標	航空・観光系の英語表現を身につけ、現実に会話ができるようになることを目指す					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	予習：授業前に授業範囲のテキストを読んでおく。復習：授業内容を復習し、次週の復習テストに備える					

	テーマ	授業内容
1回	Unit 9(1) Offering in-flight services	life jacketの使い方 While boarding --お客様の手助け During the meal service
2回	Unit9(2) Offering in-flight services	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play
3回	Unit9(3) Offering in-flight services	機内アナウンスのスクリプトを読む ファーストクラスについてのパンフレットを読む 質問に答える
4回	Unit10(1) Giving CIQ information	Customs officer, immigration officer, quarantine officer entry formについて customs form について
5回	Unit10(2) Giving CIQ information	免税に関する情報 CIQの情報 Role Play
6回	Unit10(3) Giving CIQ information	カナダの税関申告書の説明を読む 税関申告書に記入する Pair Speaking Practice
7回	Unit13(1) Helping guests	ホテルの様々な職種 コンシェルジュとの会話 日光への行き方を案内する
8回	Unit13(2) Helping guests	鉄道案内 お客様のリクエストに答える Pair Speaking Practice
9回	Unit13(3) Helping guests	チェックイン時に受け取った手紙を読む 新聞のコラム記事を読む Role Play
10回	Unit14(1) Dealing with complaints	ホテルでの要望・問題・苦情 お客様の苦情に答える Dialogue Study
11回	Unit14(2) Dealing with complaints	お客様のリクエストに応対する お詫びの気持ちを伝える Pair Speaking Practice
12回	Unit14(3) Dealing with complaints	インタビュー記事を読む 苦情対処の方法についての説明文を読む Role Play
13回	Unit3(1) Escorting a tour	航空機酔いのお客様への対応 遺失物について伝える Dialogue Study
14回	Unit3(2) Escorting a tour	Pair Speaking Practice Role Play 病気の表現
15回	まとめと復習	後期のまとめ Vocabularyを覚える Useful expressions を身につける

国際ホテルマネジメント

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル総論				クラス	U
担当講師(フルネーム)	小西翼					
授業概要(内容)	ホテルサービスの基本を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	21世紀のホテルビジネスを取り巻く環境変化を学び、時代に取り残されない考え方を持てるようになる。					
使用テキスト	現代ホテル産業概論					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	事前にテキスト内の日本語の意味を調べておく。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	前期授業復習 後期授業の進め方
2回	サービスの基本と定義	サービスの定義 サービスの重要性 優れたサービスとは
3回	職種別サービスの基本	宿泊部門、料飲部門のサービス
4回	職種別サービスの基本	宴会部門、付帯部門のサービス
5回	ホテルの運営組織	シティホテル型組織、ビジネスホテル型組織、リゾートホテル型組織
6回	ホテルの部門別機能と業務の基本	宿泊、料飲、宴会、婚礼、調理、管理部の業務
7回	ホテルとプロトコール	プロトコールの重要性 プロトコールの基本マニュアル
8回	ホテルとプロトコール	サービス面で留意すべき基本マナー 民族、宗教、習慣とその対応
9回	ホテルが今求める人材とスキル	ビジネスセンス 情報リテラシー
10回	ホテルが今求める人材とスキル	財務･管理能力 企画･発想力
11回	21世紀のホテルビジネスにおけるトレンド･キーワード	テクノロジー ライフスタイル
12回	21世紀のホテルビジネスにおけるトレンド･キーワード	デザイン エコロジー
13回	ホテルビジネスの方向性	テクノロジーを駆使したビジネスアプローチ ライフスタイルをアドバイスするアプローチ
14回	ホテルビジネスの方向性	空間創造産業としてのアプローチ
15回	後期まとめ	後期の復習

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントサービス				クラス	U
担当講師(フルネーム)	松本　範子					
授業概要(内容)	宿泊部門(ドアマン、ベルマン、ハウスキーピング)の業務内容、及び他部門との連帯作業を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	宿泊部門の日常業務の理解と技術取得					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅱ　フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	学んだ事を実習に活かせるように復習をしておく。					

	テーマ	授業内容
1回	第5章 客室部門	客室部門の概要
2回	客室部門	客室係の心構え フロアステーション
3回	客室部門	客室のタイプと特徴
4回	客室部門	客室内の設備・備品 ルームキーの種類と管理
5回	客室部門	客室清掃の概要
6回	客室部門	ベッドルームの清掃 ベッドメーキング
7回	客室部門	ベッドメーキング(実技)
8回	客室部門	バスルームの清掃・アメニティ類 ステイルームの清掃
9回	客室部門	未使用客室の清掃 ミニバーの管理
10回	客室部門	ルームインスペクション
11回	客室部門	客室係の報告事項 ランドリーサービス
12回	客室部門	ターンダウンサービス デリバリーサービス
13回	客室部門	バトラーサービスとは
14回	客室部門	環境への取り組み 環境問題とサービス提供の両立
15回	まとめ	まとめと期末対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント 科
科目名	レストランオペレーション			クラス	U
担当講師(フルネーム)	長野 美穂				
授業概要(内容)	前期に引き続きレストランサービスの知識を身に付ける			授業形態	講義＆演習
到達目標	サーバー、チューリンサービスをマスターする				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	授業中に習得できなかったものについては各自で復習				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	前期の復習と夏の振り返り サーバー練習
2回	中国料理	四大中国料理の特徴を知る サーバー練習
3回	宴会サービス	催事はビジネスチャンス これで安心！立食パーティーのマナー
4回	宴会サービス	時間との勝負！テーブルセッティング 全員で時間内に会場を作り上げる
5回	ワーキング・ディナー	ワーキング・ディナーとは 知っておきたい接客の心理学
6回	レストランの値段	原価率のお話 モノの値段の決め方を学ぶ
7回	レストランの設備	レストランの雰囲気作りの秘密 お客様の命を守る！レストラン(ホテル)の安全管理
8回	レストランマーケティング	マーケティングの基本 売れているモノが売れている理由
9回	レストランウェディング	レストランウェディングの特徴 幸せを呼ぶアイテムたち
10回	カフェ業界の戦略	ライバル業界を偵察 カフェ業界の知られざる集客の仕組み
11回	インバウンドのサービス	自国ゲストの特徴や好みを考える 発表
12回	グループワーク	テーブルコーディネートのプラン作成
13回	グループワーク	テーブルコーディネート作成と撮影
14回	実技練習	期末試験 制限時間内にロールプレイング
15回	期末試験	期末試験 制限時間内にロールプレイング

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本地理			クラス	U
担当講師(フルネーム)	中牟田　哲也				
授業概要(内容)	地域ごとの主な都市・地勢・観光地を白地図に記入 有名観光地の映像を見る			授業形態	講義
到達目標	日本の地域の特性、主な都市・有名観光地を覚える				
使用テキスト	国内観光地理サブノート、レジュメ・プリントの配布				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施			
事前・事後学習について	学習予定の地域を地図で確認しておく。授業で学んだ地域・国への旅行商品(パンフレット等)を確認望ましい。				

	テーマ	授業内容
1回	ガイダンス 時差の知識	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・日本の地域の分け方と地域の中心都市 ・JR6社と新幹線
2回	北海道	・北海道の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
3回	北東北 (青森・秋田・岩手)	・北東北の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
4回	南東北 (宮城・山形・福島)	・南東北の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　国立公園
5回	北関東 (茨城・群馬・栃木)	・北関東の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
6回	南関東 (千葉・埼玉・東京・神奈川)	・南関東の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
7回	甲信越 (山梨・長野・新潟)	・甲信越の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
8回	北陸 (富山・石川・福井)	・北陸の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
9回	東海 (静岡・愛知・岐阜・三重)	・東海の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　国立公園
10回	近畿 (滋賀・京都・奈良・ 和歌山・大阪・兵庫)	・近畿の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
11回	中国 (岡山・広島・山口・ 鳥取・島根)	・中国の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
12回	四国 (香川・徳島・愛媛・高知)	・四国の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　国立公園
13回	北九州 (福岡・佐賀・長崎・大分)	・北九州の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
14回	南九州 (熊本・宮崎・鹿児島)	・南九州の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園
15回	沖縄 (本島・離島)	・沖縄の主な都市と交通(空港・新幹線・駅) ・　〃　主な温泉、寺社や城、山・川・湖・岬 ・　〃　世界遺産・国立公園

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	現代国語				クラス	U
担当講師(フルネーム)	前田恭子					
授業概要(内容)	日本の名作文学の中から選んだ簡単な読み物を、楽しんでたくさん読むことで、日本語の読解に対するモチベーションを高めます。				授業形態	講義
到達目標	日本語の文章をすらすらと読めるようになることを目指します。					
使用テキスト	プリント使用					
成績評価方法	・期末試験80%平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	声を出して何度も読みましょう					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	前期期末テストの振り返り 授業の進め方、評価方法についての説明
2回	かんたんな物から始める	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 簡単(かんたん)な文章から始めましょう
3回	少しずつ読む	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 自分のペースでいいので、少しずつ読み進めましょう
4回	長く続ける	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 毎日続けることが上達(じょうたつ)への近道です
5回	知らない言葉も気にしない	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 知らない言葉があっても大丈夫(だいじょうぶ)です。どんどん読み進めましょう
6回	話を楽しむ	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 文法よりも話を楽しむことが一番大事です
7回	イントネーションに気をつけて読む	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 流暢(りゅうちょう)な言葉を話すにはイントネーションが大事です
8回	間(ま)に気をつけて読む	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 相手が聞き取りやすい間(ま)があります
9回	言葉をたくさんおぼえる	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 日本人が本を読むときにも、わからない言葉があります。ときには調べてみることも大事です
10回	漢字をおぼえる	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 知っている漢字を少しずつ増やしていきましょう
11回	聞き取りができるようになる①	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 話しを聞くだけで内容が理解できるようになりましょう
12回	聞き取りができるようになる②	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 聞き取った文を文字で書けるようになりましょう
13回	聞き取りができるようになる③	日本の名作文学をリズミカルに、楽しく読み進めましょう 聞き取った文を句読点(くとうてん)をまぜながら書けるようになりましょう
14回	期末テスト	期末テスト(筆記・実技)
15回	前期まとめ	後期のまとめ 期末テストのフィードバック

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	ペン字			クラス	U留学生クラス
担当講師(フルネーム)	安藤　清子				
授業概要(内容)	文字の基本・年賀状創作・美文字になるコツ			授業形態	講義＆演習
到達目標	読みやすい・読ませやすい文字(添削を重ねて)を目指す				
使用テキスト	オリジナルテキスト(3冊)・下敷き・ペン(プラスチックペン・ボールペン・筆ペン)				
成績評価方法	・提出物70%小テスト・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	この授業で習ったことを他の教科で生かし就活に役立てる				

	テーマ	授業内容
1回	文字の基本を学ぶ①	姿勢・ペンの持ち方の大切さ　筆順とは　筆順① 筆記用具の種類と使い方
2回	文字の基本を学ぶ②	平仮名①　筆順② 平仮名の字源と特徴　書き取り　漢字練習①
3回	文字の基本を学ぶ③	平仮名②　筆順③ 平仮名の言葉　書き取り　漢字練習②
4回	文字の基本を学ぶ④	片仮名①　筆順④ 片仮名の字源と特徴　書き取り　漢字練習③
5回	文字の基本を学ぶ⑤	片仮名②　筆順⑤ 漢字と片仮名の共通点を学ぶ　書き取り　漢字練習④
6回	文字の基本を学ぶ⑥	平仮名・片仮名　まとめ　部首① 名前の配字配列　漢字練習⑤
7回	文字の基本を学ぶ⑦	年賀状を書く為のはがきの表書き　部首② 縦書きの特徴とバランスを学ぶ
8回	筆ペンで年賀状を書く①	筆ペンの特徴と書き方 年賀状の時期と由来　基本線と筆使い
9回	筆ペンで年賀状を書く②	はがき(年賀)表書き裏書きの部分練習
10回	筆ペンで年賀状を書く③	年賀状を飾る①
11回	筆ペンで年賀状を書く④	年賀状を飾る②
12回	文字の書式とバランス①	美文字になるためのコツ①　部首③ 文字のバランス　字形の整え方
13回	文字の書式とバランス②	美文字になるためのコツ②　部首④ 漢字・平仮名・片仮名・書式の再確認
14回	文字の書式とバランス③	横書きの書式・特徴を学ぶ①　部首⑤
15回	文字の書式とバランス④	横書きの書式・特徴を学ぶ②まとめ

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	U留学生クラス
担当講師(フルネーム)	恵良恭子					
授業概要(内容)	社内・社外で使う表現、場面によってどんな敬語表現を使うのかを練習。 ビジネス現場のTPOに合わせた会話。				授業形態	講義
到達目標	ビジネスに役に立つ会話表現、敬語や日本語独特の言い回しを習得。					
使用テキスト	ビジネスのための日本語					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	ビジネス現場のTPOを考え、語彙、文型を覚えること。実践練習こそたいせつ。					

	テーマ	授業内容
1回	ビジネス会話 4課	【依頼】 ①新語と基本文型 ②STAGE 1 社内――ロールプレイ ③社外――ロールプレイ ④STAGE 2 ディクテーションCD
2回	ビジネス会話 5課	⑤STAGE 3 ロールプレイ(状況を考えて会話を作る) STAGE 4 読み物・言葉 【誘い】 ①新語と基本文型
3回	ビジネス会話 5課	②STAGE 1 社内――ロールプレイ ③社外――ロールプレイ ④STAGE 2 ディクテーションCD ⑤STAGE 3 ロールプレイ(状況を考えて会話を作る) 4課 ことばテスト
4回	ビジネス会話 6課	⑥STAGE 4 (条件から会話を作って発表)読み物・ことば 【電話】 ①新語と基本文型 5課 ことばテスト
5回	ビジネス会話 6課	②STAGE 1 社内――ロールプレイ ③社外――ロールプレイ ④STAGE 2 会話(社内・社外)―――ディクテーション(ペア会話)
6回	ビジネス会話 6課	⑤STAGE 3 ロールプレイ(社内・社外)会話を作る ⑥STAGE 4 伝言メモ 読み物(あいさつの後で)
7回	ビジネス会話 6課	①会話テスト(電話) 6課 ことばテスト
8回	ビジネス会話 7課	【アポイント】 ①新語と基本文型 ②STAGE 1 社内――ロールプレイ ③社外――ロールプレイ
9回	ビジネス会話 7課	①STAGE 2 会話(社内・社外)―――ディクテーション (ペア会話) ②STAGE 3 ロールプレイ(社内・社外)会話を作る
10回	ビジネス会話	日本語能力試験 N1/N2模擬試験 (1回)
11回	ビジネス会話	日本語能力試験 N1/N2模擬試験 (2回)
12回	ビジネス会話 8課	①STAGE 4 会話(社内・社外)読み物・ことば 【提案・申し出】 ①新語と基本文型 7課 ことばテスト
13回	ビジネス会話 8課	②STAGE 1 社内――ロールプレイ ③社外――ロールプレイ ④STAGE 2 ディクテーションCD ⑤STAGE 3 ロールプレイ(状況を考えて会話を作る)
14回	ビジネス会話 8課	⑥STAGE 3 ロールプレイ(社内・社外)会話を作る ①STAGE 4 会話(社内・社外)読み物・ことば
15回	ビジネス会話(4～8課)	①テスト前 復習

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	実習前教育				クラス	U留
担当講師(フルネーム)	小林俊也					
授業概要(内容)	企業実習の目的を理解させ、実りある就業体験となるように準備させる。 履歴書作成並びに、出退勤の規律、業務中の態度等「働く姿勢」の理解。				授業形態	講義
到達目標	実習用履歴書の完成並びに企業実習に臨む心構えの涵養					
使用テキスト	就職ノート及びプリント					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況、授業態度及び取組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	授業中に与えられた課題は、必ず次の授業までに仕上げること。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方と企業実習の心構え ・履歴書作成に向けて
2回	履歴書の書き方①	履歴書の記入項目の説明と演習 ・基本情報(プロフィール欄)
3回	履歴書の書き方②	履歴書の記入項目の説明と演習 ・学歴と職歴、免許と資格
4回	履歴書の書き方③	履歴書の記入項目の説明と演習 ・志望動機
5回	履歴書の書き方④	履歴書の記入項目の説明と演習 ・志望動機
6回	履歴書の書き方⑤	履歴書の記入項目の説明と演習 ・自己PR
7回	履歴書の書き方⑥	履歴書の記入項目の説明と演習 ・自己PR
8回	履歴書の書き方⑦	履歴書の記入項目の説明と演習 ・得意学科、趣味特技
9回	履歴書の書き方⑧	履歴書の記入項目の説明と演習 ・実習・アルバイト等
10回	履歴書の書き方⑨	履歴書の記入項目の説明と演習 ・提出用履歴書の記入とチェック
11回	面接対策①	面接マナー ・自己紹介
12回	面接対策②	面接マナー ・志望動機(企業実習で何を学びたいか)
13回	実習報告書の書き方①	実習報告書の書き方 ・実習報告書の記入(会社・施設概要)
14回	実習報告書の書き方②	実習報告書の書き方 ・実習報告書の記入(研修目標)
15回	授業のまとめ	企業実習の目標発表と実習期間中の注意事項、禁止事項の確認 ・2年時授業と2回目の企業実習につなげるために、実習期間をどう過ごすか

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	バンケットサービスⅠ				クラス	T
担当講師(フルネーム)	小西翼					
授業概要(内容)	バンケット業務とブライダル業務の基本を身につける。				授業形態	講義＆演習
到達目標	二度目の実習で即戦力となれるよう、備品の名前を覚え、課題実技を習得する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択					
事前・事後学習について	授業の時間以外でも、サーバーやトレーの使い方を積極的に練習すること。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション 宴会の種類	自己紹介 後期の授業の進め方、評価方法の説明 ホテルで行われる『宴会』とは(催し物の種類)
2回	宴会形式	宴会形式の種類とサービス方法 テーブルプラン
3回	宴会サービスの基本	サービス方法 トレーサービス・プレートサービス・プラッターサービス
4回	宴会クローク 会場設営	宴会クロークの業務内容を解説・実践 催し物に合わせた会場を設営する
5回	宴会サービスの手順	セッティングから後片付けまで どんでん
6回	実技試験に向けて	課題を発表 反復練習を行う
7回	実技試験	実技試験を行う
8回	ブライダルの基礎知識	ブライダルの定義 挙式・披露宴の種類と形態 宗教によるスタイル
9回	婚約について	みなさんの結婚観について 近年増加してきた、ある男女の出会いのきっかけと背景 婚約＝プロポーズ
10回	日本における ブライダルのしきたり	六輝・結納 招待状が届いたら… 「博多祝いめでた」とは…
11回	ブライダルアイテム	ドレス・タキシード 和装 ヘッドドレス・アクセサリー
12回	挙式について	挙式の流れと演出について
13回	披露宴について	披露宴の流れと演出について
14回	後期授業のまとめ	後期授業の復習を行う
15回	筆記試験	筆記試験を行う

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	バンケットサービスⅡ				クラス	T(日本人クラス)
担当講師(フルネーム)	小西翼					
授業概要(内容)	ブライダル業務の基礎知識を身につける。				授業形態	講義
到達目標	ホテルで働く上で知っておくべきブライダル業界の知識と技術を身につける。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	翌週の授業までに各自でしっかりと復習をしておくこと。					

	テーマ	授業内容
1回	ブライダルの基礎知識	ブライダルの定義 挙式・披露宴の種類と形態 宗教によるスタイル
2回	婚約について	みなさんの結婚観について 近年増加してきた、ある男女の出会いのきっかけと背景 婚約＝プロポーズ
3回	日本における ブライダルのしきたり	六輝・結納 招待状が届いたら… 「博多祝いめでた」とは…
4回	ブライダルアイテム	ドレス・タキシード 和装 ヘッドドレス・アクセサリー
5回	挙式について	挙式の流れと演出について
6回	披露宴について	披露宴の流れと演出について
7回	後期授業のまとめ	後期授業の復習を行う
8回	筆記試験	筆記試験を実施して採点、テストの返却と解説を行う

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ソムリエ＆バーテンダー				クラス	T
担当講師(フルネーム)	橋口　淳二					
授業概要(内容)	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得 酒類に興味を持ち、FBの面白さを業務に活かせるようにする				授業形態	講義＆演習
到達目標	料飲部の配属先で使える技能をつける。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	期末試験80%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。					

	テーマ	授業内容
1回	**シラバスの説明 バーラウンジの概要**	授業の目的と進め方、評価方法について説明する ホテル内での料飲提供場所と役割 整理整頓。
2回	**種類の定義と分類**	お酒の分類、ワインはどのようなお酒か？ 醸造酒とは。日本におけるワイン消費の現状。 整理整頓。
3回	**ワインの基礎知識**	ワインの歴史と史実。 ブドウが好む土地～栽培されている国について 整理整頓。
4回	**スティルワインについて**	スティルワインとは。 醸造工程、醸造法によるワイン分類 整理整頓。
5回	**フランスワインについて**	フランスワインの特徴 ボルドー、ブルゴーニュ、他 整理整頓。
6回	**フランスワインについて**	フランスワインの特徴 ロアール、アルザス、スードウェスト、コートロティー他 整理整頓。
7回	**イタリア・ドイツワイン その他の国のワイン**	イタリアワイン代表的な銘柄と特徴 ドイツワイン代表的な銘柄と特徴。 整理整頓。
8回	**ワインと料理の相性**	料理とワインのマリアージュについて。 調和と反発、新しい合わせ方。 整理整頓。
9回	**カクテルの基礎**	ハードリカーについて 取り扱い方法とカクテル
10回	**カクテルの基礎知識**	ビルドの手法について ステアーの手法について
11回	**カクテル実技**	シェイクの手法について ブレンドの手法について
12回	**カクテル実技**	オリジナルカクテル創作 色、味、名前の基本を決めて作成
13回	**カクテル実技**	ネーミングとコンセプト
14回	**カクテル実技**	オリジナルカクテル作成
15回	**後期まとめ**	発表

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI言語対策				クラス	Tクラス
担当講師(フルネーム)	山本真美					
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	・一般常識チェック＆マスター　　・一般常識/一問一答					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　　*日本人学生のみ8週(非言語との評価) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	間違った箇所は必ず復習する					

	テーマ	授業内容
1回	なぜSPIをするのか	・後期授業方針説明、SPI検査の内容を確認。 ・SPI言語　同意語(意味や内容が近い語) *夏休みの課題(四字熟語)提出
2回	日本の特産品を知る	・日本地理　日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える。 ・SPI言語　反意語(意味や内容が反対の語)
3回	世界の気候	・世界地理　世界各地の気候を学ぶ。併せて産地・産物を覚える。 ・SPI言語　文章問題① ・SPI言語　ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)
4回	日本史の中の人物	・日本史　歴史上の人物と史実を学ぶ。 ・SPI言語　文章問題② ・SPI言語　ことばの意味②(意味に適合する語句)
5回	世界史の中の人物	・世界史　歴史上、有名な出来事を追い、人物と「何」が起きたか？をみる。 ・SPI言語　文章問題③ ・SPI言語　複数の意味(意味や用法が近いもの)
6回	文化は歴史が作る	・文化史　文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる。 ・SPI言語　文章問題④ ・SPI言語　原料(加工物とその原料)
7回	働く環境を考える	・労働・社会保障　労働者は守られているか？現行制度を学びます。 ・SPI言語　ことわざ・慣用句 ・SPI言語　行為の関係
8回	試験を考える	・中間テスト ・四字熟語テスト①　夏休みの課題を6回に分けて小テスト ・時事問題を考える　新聞・ニュースサイトの活用
9回	新聞コラムを読む①	・四字熟語テスト② ・新聞コラムを読む ・SPI言語　包含・用途・機能
10回	新聞コラムを読む②	・四字熟語テスト③ ・新聞コラムを読む ・SPI言語　復習①同意語・反意語
11回	新聞コラムを読む③	・四字熟語テスト④ ・新聞コラムを読む ・SPI言語　復習②ことばの意味
12回	新聞コラムを読む④	・四字熟語テスト⑤ ・新聞コラムを読む ・SPI言語　復習③複数の意味
13回	社会の常識	・四字熟語テスト⑥ ・国民の祝日、法規、マーク、名数などを確認します。 ・SPI言語　復習④原料、行為の関係
14回	3年生の向けての準備	・SPI言語　文章問題⑤ ・SPI言語　復習⑤ことわざ・慣用句 ・漢字の書き取り(同音異義語)
15回	後期のまとめ	・漢字の書き取り(同訓異字) ・SPI言語　文章問題⑥

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI非言語				クラス	T
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫					
授業概要(内容)	SPI非言語(理数分野)を学習します				授業形態	講義
到達目標	企業の能力適性検査試験(就職試験)に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得を目指す					
使用テキスト						
成績評価方法	・期末試験80%平常点20%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	事後学習(復習)に力を入れ学習内容が定着するよう努力してほしい。復習をしないのは、勉強をしていないのと一緒です。					

	テーマ	授業内容
1回	基礎事項の確認	講義指針、内容などに関する説明 基本的な計算問題演習
2回	鶴亀算　連立方程式	連立方程式を使って基本的な鶴亀算を解く
3回	四則計算	四則計算の応用問題を解く
4回	速さ・時間・距離　旅人算	旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれる速度の問題を解く
5回	速さ・時間・距離　2　旅人算	旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれる速度の応用問題を解く
6回	順列、組合せ	順列、組合せの標準的な問題が解けることを目指す
7回	食塩水の濃度	濃度算の応用問題が解けることを目指す
8回	年齢算	問題文を読み解き、表や方程式を用いて問題を解く
9回	比と割合　玉手箱(計数理解)	割引・割り増しの考え方を理解し問題が解けることを目指す 玉手箱(計数理解)の問題演習
10回	グラフの問題	直線、放物線などを描き、不等式を用いた領域の問題を解く
11回	推論の問題1	様々な推論の問題を解く(順位、並べ替えの問題)
12回	推論の問題2	様々な推論の問題を解く(平均、星取りの問題)
13回	モノの流れと比率の問題	文字やチャートを使ってモノの流れと比率の問題を解く
14回	図形の問題	様々な図形(角度、面積、体積)の問題を解く
15回	構造的把握力検査	文章の構造を理解し非言語分野の構造的把握力検査を解く

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	就職活動講座			クラス	T
担当講師(フルネーム)	安部紀美江				
授業概要(内容)	・企業研究、志望動機、自己PRの完成品作成 ・面接での受け答えのロールプレイング			授業形態	講義
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。				
使用テキスト	・オリジナルワークシート				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度･･･50% ・作成提出物による評価･･･50%			単位数	1
期末試験 ×	※期末試験期間中に実施･･･○ 授業中に実施･･･△期末試験なし･･･× を枠に選択				
事前・事後学習について	・宿題となった提出物については期限までに必ず完成させる。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・後期授業内容の説明
2回	志望動機の作り方	・モデルケースの志望動機を作ってみる。
3回	志望動機の作り方	・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。
4回	企業研究	・企業研究シートの書き方をレクチャーし、シートを書いてみる。
5回	企業研究	・エントリーシートとは何かを理解し、過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる
6回	面接対策	・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント
7回	面接対策	・自己PRの問題点をチェックし、より進化させる。
8回	面接対策	・新しい自己PRの発表 ・面接の受け答えをチェック
9回	面接対策	・新しい自己PRの発表 ・面接の受け答えをチェック
10回	面接対策	・新しい自己PRの発表 ・面接の受け答えをチェック
11回	面接対策	・受験企業の志望動機を練習する。
12回	面接対策	・受験企業の自己PRならびに志望動機の受け答えを練習する。
13回	面接対策	・受験企業からのイレギュラーな質問の対応を練習する。
14回	面接対策	・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。
15回	完成品のチェック	・後期提出物のチェック

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	実習前教育				クラス	T
担当講師(フルネーム)	小林俊也					
授業概要(内容)	第2回企業実習にむけて、提出書類の作成並びに実習の目標を確認する。 また、前年度採用試験の結果分析、就職活動についてのポイントを理解する。				授業形態	講義
到達目標	第2回企業実習提出書類の完成、就職活動の流れ、就職試験の内容、就職活動スタートに向けての心構えの涵養					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・平常点100%(出席率、授業態度、課題への取組み姿勢) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について						

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・授業の進め方と評価について
2回	就職活動について①	・前年度の就職状況と活動の流れ
3回	就職活動について②	・会社説明会の開催実績と応募書類
4回	就職活動について③	・採用試験内容と準備すべきこと
5回	就職活動について④	・求人票の見方とポイント
6回	就職活動について⑤	・企業の求める人材像
7回	就職活動について⑥	・企業実習の意義と目標設定
8回	提出書類の作成①	・履歴書提出用の作成(プロフィール)
9回	提出書類の作成②	・履歴書提出用の作成(志望動機)
10回	提出書類の作成③	・履歴書提出用の作成(自己PR)
11回	提出書類の作成④	・履歴書提出用の作成
12回	提出書類の作成⑤	・履歴書提出用の最終チェック
13回	提出書類の作成⑥	・実習報告書の記入
14回	提出書類の作成⑦	・実習報告書の記入
15回	まとめ	・第2回企業実習に臨む前に

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科(日)	
科目名	実習前教育				クラス	T
担当講師(フルネーム)	松本　範子					
授業概要(内容)	実習の心構えと現地の知識を得る				授業形態	講義
到達目標	ホテル実習に必要な基礎知識と目標を明確にする。 実習するホテル、並びにホテル周辺を事前に調べ、理解しておく。					
使用テキスト	就職ノート、プリント使用					
成績評価方法	課題・提出物70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	授業までに必要な事を準備しておく。また、分からなかった事は次回の授業までに必ず調べておく。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方 目標設定
2回	実習の心構え	報告・連絡・相談 実習中の注意事項 報告書について
3回	企業研究	実習ホテルについて 企業研究の仕方
4回	企業研究	企業研究の続き
5回	ホテル周辺の知識	交通機関 近隣の施設 観光地
6回	館内・館外の知識 まとめ	調べた内容をまとめる
7回	話し方・言葉使い	話し方、話しかけ方のポイント 実際に案内をしてみる
8回	まとめ	目的と目標の確認 実習の心構えの再確認

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC Ⅰ				クラス	UT日
担当講師(フルネーム)	中牟田　登喜枝					
授業概要(内容)	TOEIC試験形式になれ、聴解力、読解力を高める TOEIC出題頻度の高い語彙、文法知識を知る				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストを理解し、受験準備をする					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集4					
成績評価方法	・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	検定を受けて実力を知りましょう					

	テーマ	授業内容
1回	TOEIC reading	vocabulary test① 文法問題
2回	TOEIC reading	vocabulary test② 文法問題
3回	TOEIC reading	vocabulary test③ 文法問題
4回	TOEIC reading	vocabulary test④ 文法問題
5回	TOEIC reading	vocabulary test⑤ 文法問題
6回	TOEIC reading	vocabulary test⑥ 文法問題
7回	TOEIC reading	vocabulary test⑦ 文法問題
8回	TOEIC reading	vocabulary test⑧ 文法問題
9回	TOEIC reading	vocabulary test⑨ 文法問題
10回	TOEIC reading	vocabulary test⑩ 文法問題
11回	TOEIC reading	vocabulary test⑪ 文法問題
12回	TOEIC reading	vocabulary test⑫ 文法問題
13回	TOEIC reading	vocabulary test⑬ 文法問題
14回	TOEIC reading	vocabulary test⑭ 文法問題
15回	学期末まとめ	文法問題の復習

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC Ⅱ				クラス	UT日
担当講師(フルネーム)	中牟田　登喜枝					
授業概要(内容)	TOEIC試験形式になれ、聴解力、読解力を高める TOEIC出題頻度の高い語彙、文法知識を知る				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストを理解し、受験準備をする					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集4					
成績評価方法	・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	検定を受けて実力を知りましょう					

	テーマ	授業内容
1回	TOEIC listening	vocabulary tes t① test 4 part2&4
2回	TOEIC listening	vocabulary test ② test4 part3
3回	TOEIC listening	vocabulary test ③ test5 part2&4
4回	TOEIC listening	vocabulary test ④ test5 part3
5回	TOEIC listening	vocabulary test ⑤ text test2 part1&2
6回	TOEIC listening	vocabulary test ⑥ text test2 part3
7回	TOEIC listening	vocabulary test ⑦ text test2 part4
8回	TOEIC listening	vocabulary test ⑧ part2&4
9回	TOEIC listening	vocabulary test ⑨ part3
10回	TOEIC listening	vocabulary test ⑩
11回	TOEIC listening	vocabulary test ⑪ part2&4
12回	TOEIC listening	vocabulary test ⑫ part3
13回	TOEIC listening	vocabulary test ⑬
14回	TOEIC listening	vocabulary test ⑭ review
15回	学期末まとめ	学期末試験

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策　Ⅰ　(N2語彙)			クラス	U・T留学生クラス
担当講師(フルネーム)	恵良恭子				
授業概要(内容)	①話題別・性質別の言葉を学ぶ ②N2の語彙問題―――文脈規定・言い換え・用法・語形成の習得			授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2合格を目指す				
使用テキスト	新完全マスターN2語彙　　(帯として)、ドリル＆ドリルN2語彙／直前対策ドリル＆模試				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	課ごとの言葉の意味を調べ覚えること、造語、複合動詞などを覚えること。家での予習が基本				

	テーマ	授業内容
1回	N2語彙5章	【1課】 教育と仕事――学校 ①ウオーミングアップ　②言葉の意味(予習済み)　③語形成　④例文 ①基本練習(確認問題)
2回	N2語彙	【1課】小テスト――実践練習 【2課】 仕事 ①ウオーミングアップ　②言葉の意味(予習済み)　③語形成　④例文
3回	N2語彙	【2課】 ①基本練習(確認問題) ②小テスト――実践練習
4回	N2語彙6章	【1課】 メディア―――報道・広告　帯5問 ①ウオーミングアップ　②言葉の意味(予習済み)　③語形成　④例文 ②基本練習(確認問題)
5回	N2語彙	③実践練習 【2課】 コンピューター ①ウオーミング アップ ②言葉の意味 ③造形語 ④例文
6回	N2語彙	②基本練習(確認問題) ③実践練習 ④5章・6章　復習テスト ①
7回	N2語彙　7章	【1課】 社会―――行事 ①ウオーミングアップ　②言葉の意味(予習済み)　③語形成　④例文 ②基本練習(確認問題)　③実践練習
8回	N2語彙	【2課】 社会―――事件・事故・災害 ①ウオーミング アップ ②言葉の意味 ③造形語 ④例文 ②基本練習(確認問題) ③実践練習
9回	N2語彙	日本語能力試験N2模擬試験 ―――(1回)
10回	N2語彙	日本語能力試験N2模擬試験 ―――(2回)
11回	N2語彙　7章	【3課】 社会 ―――経済・産業 ①ウオーミング アップ ②言葉の意味 ③造形語 ④例文 ②基本練習(確認問題) ③実践練習
12回	N2語彙	【4課】 社会―――政治・法律・歴史 ①ウオーミング アップ ②言葉の意味 ③造形語 ④例文 ②基本練習(確認問題) ③実践練習
13回	N2語彙　8章	【1課】 科学―――自然 ①ウオーミング アップ ②言葉の意味 ③造形語 ④例文 ②基本練習(確認問題) ③実践練習　帯5問
14回	N2語彙	【2課】 科学―――科学技術 ①ウオーミングアップ　②言葉の意味(予習済み)　③語形成　④例文 ②基本練習(確認問題)　③実践練習
15回	N2語彙　9章	【2課】 抽象概念―――時間・空間のことば ①ウオーミングアップ　②言葉の意味(予習済み)　③語形成　④例文 ②基本練習(確認問題)　③実践練習

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 Ⅱ（聴解・漢字）			クラス	T・U留学生クラス	
担当講師（フルネーム）	恵良恭子					
授業概要（内容）	①N1レベルに必要な漢字の使い方・読み方・意味と音訓の習得 ②情報のポイントの聞き取り・メモの書き方・推測をする			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格を目指す					
使用テキスト	新完全マスターN1漢字 ・ ドリル＆ドリルN1聴解 ・ その他適宜					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	習った漢字の音訓を覚えること					

	テーマ	授業内容
1回	N1聴解・漢字	【漢字】第5回———動詞Cレベル（1）———音読（フラッシュカード）・意味 練習問題（確認） 【聴解】第1回《合格できる》 問題1———1番～6番
2回	N1聴解・漢字	【漢字】第5回———動詞Cレベル（2）———音読（フラッシュカード）・意味 練習問題（確認） 【聴解】第2回《合格できる》 問題2———1番～7番
3回	N1聴解・漢字	【漢字】第5回———動詞Cレベル（3）———音読（フラッシュカード）・意味 練習問題（確認） 【聴解】第3回《合格できる》 問題3———（1）（2）（3）
4回	N1聴解・漢字	【漢字】**第5回———まとめテスト①** 【聴解】第4回 《合格できる》 問題3———（4）（5）（6）
5回	N1聴解・漢字	【漢字】第6回———動詞Cレベル（4）———音読（フラッシュカード）・意味 練習問題（確認） 【聴解】第5回 《合格できる》 問題4———1番～14番
6回	N1聴解・漢字	【漢字】第6回———動詞Cレベル（5）———音読（フラッシュカード）・意味 練習問題（確認） 【聴解】第6回 《合格できる》 問題5———1番～問題3
7回	N1聴解・漢字	【漢字】第6回———動詞Cレベル（6）———音読（フラッシュカード）・意味 （1）（2）（3）練習問題（確認） 【聴解】第7回 《必修パターン》 課題理解———練習1～練習7
8回	N1聴解・漢字	【漢字】**第6回———まとめテスト②** 【漢字】第7回———い形容詞（1）——— 音読（フラッシュカード）・意味 【聴解】第8回 《必修パターン》 課題理解———練習8～練習14
9回	N1聴解・漢字	日本語能力試験 N1 模擬試験（1回）
10回	N1聴解・漢字	日本語能力試験 N1 模擬試験（2回）
11回	N1聴解・漢字	【漢字】第7回———い形容詞（2） 音読（フラッシュカード）・意味 【聴解】第9回 《必修パターン》 ポイント理解———練習15～練習19
12回	N1聴解・漢字	【漢字】**第7回———まとめの問題③** 第8回———な形容詞 音読（フラッシュカード）・意味 【聴解】第10回 《必修パターン》 ポイント理解———練習20～練習22
13回	N1聴解・漢字	【漢字】第8回———副詞・その他 音読（フラッシュカード）・意味 【聴解】第11回 《必修パターン》 概要理解———練習23～練習25
14回	N1聴解・漢字	【漢字】**第8回———まとめの問題④** 【漢字】第9回———名詞（1）（2） 道具・人・衣服 ——— 音読（フラッシュカード）・意味 【聴解】第12回 《必修パターン》 概要理解———練習26～練習30
15回	N1聴解・漢字	【漢字】第9回———名詞（3）身体・感情——— 音読（フラッシュカード）・意味 【聴解】第13回 《必修パターン》 統合理解———練習49・50～練習53・54

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ（N1文法）			クラス	T・U留学生クラス	
担当講師（フルネーム）	恵良恭子					
授業概要（内容）	その課で勉強した文法、読解、聴解を通して試験対策を目標とする。			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1　合格を目指す					
使用テキスト						
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	宿題・予習・復習を必ずしておくこと（N1は難しい）					

	テーマ	授業内容
1回	N1文法	5課　1. 文法項目46～53 （1）　2. CHECK　練習問題 ●帯———合格できる　問題5【1】～【10】
2回	N1文法	5課　3. 聴解（見本文）———音読・内容・使い方 5課　1. 文法項目54～60 （2）　2. CHECK　●帯———合格できる【11】～【20】
3回	N1文法	5課　3. 聴解（見本文） 5課　1. 文法項目61～64 （3）　2. CHECK　●帯———合格できる【21】～【30】
4回	N1文法	5課　3. まとめ問題　　4. 聴解（見本文） 5課　（1）（2）（3）確認テスト　① ●帯———合格できる　問題5【31】～【40】
5回	N1文法	6課　1. 文法項目　65～71 2. CHECK——　練習問題 3. 聴解（見本文）
6回	N1文法	6課　4. まとめ問題（復習） 7課　（1）　1. 文法項目　① 72～77 2. 練習問題(確認問題)
7回	N1文法	7課　（1）　1. 文法項目　② 78～82 2. 練習問題　　3. 聴解（文法項目） 3. CHECK　●帯———合格できる　問題6　【1】～【5】
8回	N1文法	7課　（2）——文法項目　①　83～87 2. CHECK　練習問題　　●帯———合格できる　【6】～【12】 3. 聴解（見本文）　4. まとめの問題
9回	N1文法	日本語模擬試験　N1　（1回）
10回	N1文法	日本語模擬試験　N1　（2回）
11回	N1文法	8課　（1）———文法項目　①　88～91 2. 練習問題 ●帯———合格できる【13】～【17】
12回	N1文法	8課　（1）———文法項目　②　92～95 2. CHECK——　練習問題 7課（1）（2）確認テスト　②
13回	N1文法	8課　（1）　聴解（見本文） 8課　（2）　——文法項目　①　96～100 2. CHECK　練習問題　　3. 聴解（文法項目）
14回	N1文法	8課　（2）——文法項目　②　101～106 2. CHECK　練習問題　　3. 聴解（見本文） 4. 文法項目　まとめ問題
15回	N1文法	9課　———文法項目　107～110 2. CHECK 10課　———文法項目　111～123　9・10課　まとめの問題　FB

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 Ⅳ（N2読解）				クラス	T・U留学生クラス
担当講師（フルネーム）	恵良恭子					
授業概要（内容）	N2試験に合格できる力をつける。 問題を解く技術を身につける 全般的な『読解』の力をつける。				授業形態	講義
到達目標	実践問題をして、日本語能力試験N2合格を目指す					
使用テキスト	新完全マスターN2読解・読解『必修パターン』N2 『弱点がわかる』N2					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択					
事前・事後学習について	読解のテクニック（質問を読み、キーワード・副詞・接続詞・筆者の言いたい事など）を使って、文章全体の意味を考える。					

	テーマ	授業内容
1回	N2読解	1.《合格できる一アルク》実践問題 問題10———【55】～【59】 問題11———【60】～【68】 }FB 問題12———【69】～【70】
2回	N2読解	2.《合格できる一アルク》実践問題 問題13———【71】～【73】 問題14———【74】～【75】 }FB
3回	N2読解	3.《完全マスター》中文———例題28・練習53～練習56 }FB
4回	N2読解	4.《完全マスター》長文———例題29・練習57～練習59 }FB
5回	N2読解	5.《完全マスター》長文———練習60～練習61 統合理解———例題30・練習62～練習63
6回	N2読解	6.《完全マスター》統合理解———例題31・練習64～練習65 情報検索———例題32・練習66～練習67 }FB
7回	N2読解	7.《完全マスター》情報検索———例題33・練習68～練習70 }FB
8回	N2読解	8.《完全マスター・模試》———問題1～問題7 }FB
9回	N2読解	日本語能力試験 N2 模擬試験——1回
10回	N2読解	日本語能力試験 N2 模擬試験——2回
11回	N2読解	能力試験模試———FB
12回	N2読解	9.《完全マスター・模試》———問題8～問題11 }FB
13回	N2読解	10.《弱点がわかる・第1回》———問題8（1）～（4） 問題9（1）～（3）
14回	N2読解	11.《弱点がわかる・第1回》———問題10・問題11・問題12
15回	N2読解	12.《弱点がわかる・第2回》———問題8～問題11

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策　Ⅰ			クラス	T留U留①
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				
授業概要(内容)	難度高い語彙を習得しなければ合格はできないので　自宅学習が必須 反復学習は必要なので予習・復習は欠かさずやるように			授業形態	講義
到達目標	N1合格				
使用テキスト	完全マスターN1　語彙・随時プリントを配布				
成績評価方法	・期末試験７０％平常点３０％ ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	教材の語彙習得のため予習復習宿題を欠かさずすること				

	テーマ	授業内容
1回	検定語彙　1	7章　語形成複合動詞1 読解
2回	検定語彙　2	7章　複合動詞2 2部　復習
3回	検定語彙　3	7章複合動詞　３ 読解
4回	検定語彙　4	7章　復習 読解
5回	検定語彙　5	1章　1課　人間関係 読解
6回	検定語彙　6	1章　1課 読解
7回	検定語彙　7	2章　1課
8回	検定語彙　8	能力試験対策
9回	検定語彙　9	能力試験対策
10回	検定語彙　10	2章2課　医療
11回	検定語彙　11	3章　芸術
12回	検定語彙　12	4章　教育
13回	検定語彙　13	5章　仕事
14回	検定語彙　14	6章　メディア
15回	検定語彙　15	1章～6章　復習

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策　Ⅱ（聴解・漢字）			クラス	T留U留②
担当講師（フルネーム）	永吉美知子				
授業概要（内容）	高得点源になる聴解は　N1、N2の問題を使用する 漢字は　完全マスターN2語彙の復習を中心にする　　随時読解も導入			授業形態	講義
到達目標	N2合格				
使用テキスト	完全マスターN2　語彙・完全マスターN2読解・スピードマスター聴解など				
成績評価方法	・期末試験７０％平常点３０％　※単位取得には、出席率は便覧どおり７５％以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	小テスト合格のため復習をする				

	テーマ	授業内容
1回	聴解・漢字　1	ドリル＆ドリル　N1、N2 完全マスターN2　語彙・漢字
2回	検定語彙　2	ドリル＆ドリル　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
3回	検定語彙　3	ドリル＆ドリル　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
4回	検定語彙　4	ドリル＆ドリル　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
5回	検定語彙　5	ドリル＆ドリル　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
6回	検定語彙　6	ドリル＆ドリル 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
7回	検定語彙　7	ドリル＆ドリル　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
8回	検定語彙　8	能力試験対策
9回	検定語彙　9	能力試験対策
10回	検定語彙　10	スピードマスター　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
11回	検定語彙　11	スピードマスター　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
12回	検定語彙　12	スピードマスター　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
13回	検定語彙　13	スピードマスター　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
14回	検定語彙　14	スピードマスター　N1,N2 復習プリント 完全マスターN2　語彙　・漢字
15回	検定語彙　15	復習問題

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ（文法）			クラス	T・U留②
担当講師（フルネーム）	上中眞由美				
授業概要（内容）	日本語能力試験のN2文法の対策			授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2合格を目指す				
使用テキスト	TRY!日本語能力試験N2　文法から伸ばす日本語				
成績評価方法	・期末試験50%平常点50%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	前回の授業の小テストをしますので必ず復習をしてください。				

	テーマ	授業内容
1回	N2文法	授業の進め方・成績評価方法について N3文法テスト テキスト6課（1）
2回	N2文法	N3文法小テスト 前回の小テスト テキスト6課（2））
3回	N2文法	N3文法小テスト 前回の小テスト テキスト6課まとめの問題・聴解
4回	N2文法	N3文法小テスト 前回の小テスト テキスト7課（1）
5回	N2文法	N3文法小テスト 前回の小テスト テキスト7課（1））
6回	N2文法	N3文法小テスト 前回の小テスト テキスト7課（2）
7回	N2文法	N3文法小テスト 前回の小テスト テキスト7課まとめの問題・聴解
8回	N2文法	N3文法小テスト 前回の小テスト テキスト8課
9回	N2文法	N2模擬テスト
10回	N2文法	N2模擬テスト
11回	N2文法	N2文法小テスト 前回の小テスト テキスト8課まとめの問題・聴解
12回	N2文法	N2文法小テスト 前回の小テスト テキスト9課（1）
13回	N2文法	N2文法小テスト テキスト9課（1）
14回	N2文法	N2文法小テスト 前回の小テスト テキスト9課（2）
15回	N2文法	テキスト9課まとめの問題・聴解

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ（読解）			クラス	T・U留①
担当講師（フルネーム）	上中眞由美				
授業概要（内容）	日本語能力試験N1読解対策			授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格を目指す				
使用テキスト	プリント配布				
成績評価方法	・期末試験50%平常点50%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	間違えた問題をもう一度見直しておいてください				

	テーマ	授業内容
1回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する
2回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する
3回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する
4回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する
5回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する
6回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する
7回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する
8回	N1読解	読解問題練習
9回	N1読解	模擬テスト
10回	N1読解	模擬テスト
11回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 日本語の本を読む
12回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 日本語の本を読む
13回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 日本語の本を読む
14回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 日本語の本を読む
15回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 日本語の本を読む

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	T留
担当講師(フルネーム)	上中眞由美					
授業概要(内容)	敬語表現やビジネスマナーを身につける練習				授業形態	講義
到達目標	日本でのビジネスに必要な基本会話の習得					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	授業で覚えた表現をしっかり復習してください					

	テーマ	授業内容
1回	注意をする・受ける	注意する・あやまる 会話練習 慣用句　・新聞を読む
2回	注意をする・受ける	苦情 ロールプレイ 慣用句　・新聞を読む
3回	注意をする・受ける	あやまり方 ロールプレイ 慣用句　・新聞を読む
4回	頼む・断る	依頼の表現と断るとき 会話練習 慣用句　・新聞を読む
5回	頼む・断る	依頼の表現と断るとき 会話練習 慣用句　・新聞を読む
6回	頼む・断る	依頼の表現と断るとき ロールプレイ 慣用句　・新聞を読む
7回	日本語能力試験対策	日本語能力試験練習問題
8回	日本語能力試験対策	日本語能力試験模擬テスト
9回	日本語能力試験対策	日本語能力試験模擬テスト
10回	日本語能力試験対策	日本語能力試験模擬テスト
11回	頼む・断る	依頼の表現と断るとき ロールプレイ 慣用句　・新聞を読む
12回	許可をもらう	許可を求める 会話練習 慣用句　・新聞を読む
13回	許可をもらう	許可を求める ロールプレイ 慣用句　・新聞を読む
14回	許可をもらう	許可を求める ロールプレイ 慣用句　・新聞を読む
15回	面接	意向を述べる・意向を聞く 会話練習 慣用句　・新聞を読む

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	コンピュータ				クラス	T
担当講師(フルネーム)	乙咩清美					
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。				授業形態	講義
到達目標	Microsoft Officeの基礎知識を学びながら、日本での使い方や、日本でのビジネスマナーを習得していく。					
使用テキスト	30時間でマスター　Office2016					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	授業で学んだことを各自復習しておくこと					

	テーマ	授業内容
1回	パソコンの活用	Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 パワーポイントでショートムービーの作成 クラウドを活用して、スマホのメールやSNSに使用してみる
2回	パソコンの活用	ビジネスメールの基本を学び、ビジネス文書との違いを知ろう！ ビジネスネールの形式とマナー 添付ファイル付きで送信(写真やWord文書のPDFファイルを添付)
3回	Excel基礎	Excel2016について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数
4回	Excel基礎	表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)
5回	Excel基礎	表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める
6回	Excel基礎	表作成 たくさんの練習問題を解いて、式に慣れる①
7回	Excel基礎	表作成 たくさんの練習問題を解いて、式に慣れる②
8回	Excel基礎	表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)
9回	Excel応用	表作成 関数(RANK・VLOOKUP) 関数のネストについて学ぶ
10回	Excel応用	表作成 たくさんの練習問題を解いて、式に慣れる③
11回	Excel学期内テスト	
12回	PowerPoint	2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 使用する画像の準備 ストーリーの構成作り
13回	PowerPoint	2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 使用する音源の準備 スライド作成
14回	PowerPoint	2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 スライドの編集
15回	PowerPoint	2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの仕上・発表

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテルマネジメント				クラス	S
担当講師(フルネーム)	中牟田　登喜枝					
授業概要(内容)	ホテルマネジメントの基礎的な知識を学習する				授業形態	講義
到達目標	マネジメントの基礎的な仕組みを学び、活用できるようになる					
使用テキスト	Hotel management ホテルマネジメント　日英併記					
成績評価方法	・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	マスコミや旅行案内等で最新のホテル情報を取り入れよう					

	テーマ	授業内容
1回	chapter 4 日本のホテル組織と人事・労務管理	組織と特徴 職務分類 人事・労務
2回	chapter5 ヒューマン・リソース・マネジメント	日系と外資の人材
3回	chapter5 ヒューマン・リソース・マネジメント	星野リゾートのマネジメント
4回	chapter 6 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	リッツカールトンホテルのCRG
5回	chapter 6 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	サービスの定義
6回	chapter7 リスク・マネジメント	リスクマネジメントとは
7回	chapter7 リスク・マネジメント	ホテルビジネスを取り巻く危険要因
8回	chapter7 リスク・マネジメント	ホテルビジネスにおけるリスクカテゴリー
9回	chapter7 リスク・マネジメント	防災事故管理
10回	chapter7 リスク・マネジメント	防犯管理
11回	chapter7 リスク・マネジメント	BCPとBCM
12回	chapter8 今後の日本ホテルマネジメント戦略	ホテルマネジメントにおける日本の課題 ・観光立国 ・国際旅行者
13回	chapter8 今後の日本ホテルマネジメント戦略	インターネット等のマーケティング MICE IR
14回	chapter8 今後の日本ホテルマネジメント戦略	日本のホテルビジネス、その他の宿泊ビジネスの今後
15回	まとめ	後期復習

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントオフィス				クラス	S
担当講師(フルネーム)	松本　範子					
授業概要(内容)	フロントオフィスの様々な業務を理解すると同時に、PMSを実際に扱いながら　フロントの流れを学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	フロントオフィス業務についての基本知識を学ぶとともにホテル全体の流れを理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅰ　フロント・オフィス編					
成績評価方法	・まとめテスト30%、システムテスト30%、プロジェクト20%、平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△　期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	学んだところの復習をする。					

	テーマ	授業内容
1回	レセプション業務	ナイト業務 デイリールームレポート
2回	第5章 フロントキャッシャー業務	会計業務: 精算手段・精算方法
3回	フロントキャッシャー業務	外貨両替 貴重費預かり業務
4回	第6章 インフォメーション業務	インフォメーション ルームインフォメーション・シティインフォメーション
5回	インフォメーション業務	郵便物と電報 電話交換
6回	第7章 防犯業務	防犯管理・遺失物管理 教科書のまとめ・テスト準備
7回	テスト	第5章～第7章のまとめテスト
8回	システム実技	チェックイン～チェックアウトまでの再確認 予約変更・キャンセル
9回	システム実技	故障部屋の入力 ルームアサイン・アサイン照会 ルームアサイン変更
10回	システム実技	まとめ・実技テストの準備
11回	システム実技	システム実技テスト
12回	コンシェルジュ	コンシェルジュとは お客様の求めるもの プロジェクトの説明
13回	コンシェルジュ	お客様への説明のしかた・案内書を作る
14回	コンシェルジュ	作成の続き
15回	コンシェルジュ	コンシェルジュプロジェクト発表

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	観光地理				クラス	Sクラス
担当講師(フルネーム)	山本真美					
授業概要(内容)	日本国内の観光地理をいろいろな側面から学ぶ				授業形態	講義
到達目標	マイガイドブックを作成する					
使用テキスト	国内観光地理サブノート					
成績評価方法	・期末試験50%　平常点(提出物等)50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	事前学習は指定されたことを必ずする。					

	テーマ	授業内容
1回	都道府県と地方区分	都道府県と地方区分を確認するとともに、おもな鉄道も知識として覚える。
2回	四季	日本の四季と祭り、桜前線や紅葉前線という日本独特の呼び方も覚える。
3回	国立公園の仕組み	日本の国立公園の成り立ちと管理。 34の国立公園の確認。国定公園、海域公園も確認する。
4回	世界遺産	日本の世界遺産を学ぶ。 世界自然遺産、世界文化遺産、ユネスコ無形文化遺産の場所を確認する。
5回	保存地区	重要伝統的建造物群保存地区を学ぶ。 特に有名な地区を地図と画像で確認する。
6回	日本の美	日本の代表的な伝統工芸品とやきものの産地を学ぶ。
7回	温泉	日本の代表的な温泉の場所と日本の温泉文化を学ぶ。
8回	九州の観光	九州各地の観光 鹿児島、指宿温泉、宮崎、高千穂峡、熊本、阿蘇山、大分、湯布院、佐賀、長崎、福岡
9回	沖縄の観光	沖縄本島の観光、離島の観光
10回	中国地方の観光	山口、広島、岡山、松江、鳥取の観光
11回	京都と奈良の観光	京都、奈良の観光
12回	関東の観光	東京からの観光 鎌倉、日光、草津温泉、富士五湖
13回	東北の観光	青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島の観光
14回	北海道の観光	道東、道北、道央、道南の観光
15回	マイガイドブックを作成	観光地を選んで、観光ガイドブックを作ってみよう

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	ホテルマネジマント検定対策			クラス	Sクラス
担当講師(フルネーム)	橋口　淳二				
授業概要(内容)	マネジメント業務の基本的知識を学ぶ 業務上必要な各種管理部門について学ぶ			授業形態	講義
到達目標	マネジメントレベルの判断要素を到達とする				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	期末試験80%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	学習した技術を就業後に発揮できる。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する ヒエラルキー理論
2回	世間のコスト	店舗の心理学 儲かる店の法則
3回	防災防犯管理	防災、防犯管理
4回	労働契約	労働とは？契約とは？社員とは？
5回	サラリーとは	給料と休日についての正しい知識
6回	ホテルの性格	タイプ別ホテルの性格について
7回	開業手順	都市開発に連動したホテル開業について
8回	メニュープランニング	売れるメニュー分析
9回	実施計画	面白い構造ホテルと販売促進
10回	P&L	損益計算書分析
11回	販売促進管理	実線的な販売促進について
12回	顧客管理	顧客の付け方、持て成し方
13回	人事評価	人事評価、開発、イベントについて
14回	店舗の構造	よい会社とよい店舗構造について
15回	まとめ	後期授業の総まとめ

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本文化				クラス	S
担当講師(フルネーム)	挽田　雅子					
授業概要(内容)	日本文化の多種多様な面を学ぶ。自分と日本文化との関りを考える。 異文化相互理解を図る。				授業形態	講義
到達目標	日本文化との接触を通して、異文化を理解しようとする態度や能力を獲得する。					
使用テキスト	マナー＆プロトコールの基礎知識					
成績評価方法	・研究発表50%平常点50%※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について						

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価基準についての説明 日本文化について何を知っていますか？ 福岡について
2回	「冠」のしきたり	子どもの成長を祝う 成人式について 長寿の祝い
3回	「婚」のしきたり	結婚の変遷 結婚式について 挙式のスタイル
4回	「葬」のしきたり	仏式の葬儀について 通夜・葬儀・告別式 法要について
5回	「祭」のしきたり	年中行事 正月のしきたり 盂蘭盆会
6回	日本の祭り	福岡県の祭り さまざまな盆踊り 御柱祭
7回	古典芸能	能・狂言など 日本舞踊 茶道
8回	工芸	伝統工芸品 着物 和紙
9回	言葉の文化	若者言葉 方言 九州弁と若者言葉を使って話そう
10回	現代文化	子どもの遊び ポップカルチャー アニメ
11回	神道	日本の神々 日本のタブー 世界の各国のタブー
12回	研究発表	テーマを決める グループで話し合う プレゼンテーションを行う
13回	研究発表	テーマを決める グループで話し合う プレゼンテーションを行う
14回	研究発表	テーマを決める グループで話し合う プレゼンテーションを行う
15回	まとめ	総復習 日本文化の理解度をチェック

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語ビジネス会話			クラス	S
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				
授業概要(内容)	留学生のためのビジネス場面での日本語表現の習得 日本語表現以外にも社会人としての基礎力、異文化調整能力の養成			授業形態	講義
到達目標	有望な人材として社会で活躍できる会話力、人間力				
使用テキスト	『実践ビジネス日本語 上級』・『商談のための日本語中級　』BJT読解問題、BJT模試と対策				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	社会人への準備としてニュースや社会の出来事に興味を持ち、毎日ネットでニュースを読み要点整理をすること				

	テーマ	授業内容
1回	ビジネス会話１	BJT　読解実力問題集セクション1　文法語彙問題 実践ビジネス日本語
2回	ビジネス会話２	BJT　読解実力問題セクション1　文法語彙問題 実践ビジネス日本語
3回	ビジネス会話３	BJT　読解実力問題セクション1文法語彙問題 実践ビジネス日本語
4回	ビジネス会話４	BJT　読解実力問題セクション2表現力問題 実践ビジネス日本語
5回	ビジネス会話５	BJT　読解実力問題セクション2表現力問題 実践ビジネス日本語
6回	ビジネス会話６	BJT　読解実力問題セクション2表現力問題 実践ビジネス日本語
7回	ビジネス会話7	BJT　読解実力問題セクション3短文読解 ビジネスコラム　　カタカナ語
8回	ビジネス会話8	BJT　読解実力問題セクション3短文読解 ビジネスコラム　カタカナ語
9回	ビジネス会話9	BJT　読解実力問題セクション3短文読解 ビジネスコラム定型表現
10回	ビジネス会話10	BJTビジネス日本語能力テスト模試と対策　聴解セクション1 ビジネスコラム定型表現
11回	ビジネス会話11	BJTビジネス日本語能力テスト模試と対策　聴解セクション1 ビジネスコラム慣用表現
12回	ビジネス会話12	BJT　聴解読解総合問題セクション2　聴読解問題 ビジネスコラム　慣用表現
13回	ビジネス会話13	BJT　聴解読解総合問題復習 ビジネスコラム　ビジネス基本単語
14回	ビジネス会話14	BJT　聴解読解総合問題敬語 ビジネスコラム　ビジネス基本単語
15回	ビジネス会話15	BJT模擬テスト ビジネスコラム　敬語

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策				クラス	S(留学生)
担当講師(フルネーム)	中牟田　哲也					
授業概要(内容)	N1の合格に必要な語彙の解説 問題を解きながら語彙を覚える				授業形態	講義
到達目標	N1の合格を目指す、日本社会のビジネスマナーを身につける					
使用テキスト	新完全マスター　語彙N1					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	適宜、宿題を出す。新たに学んだ語彙を会話の中に取り入れる、ノートに書くことを習慣づけることが望ましい。					

	テーマ	授業内容
1回	ガイダンス 3章　形が似ている言葉 1課　漢語	授業の諸注意 言葉と例文 基本練習　実践練習
2回	2課　和語	言葉と例文 基本練習 実践練習
3回	4章　副詞 1課　程度、時間、頻度	言葉と例文 基本練習 実践練習
4回	2課　後ろに決まった表現が来る副詞	言葉と例文 基本練習 実践練習
5回	3課　まとめて覚えたい副詞 その他の副詞	言葉と例文 基本練習 実勢練習
6回	模擬試験	模擬試験(文字語彙・文法)
7回	模擬試験	模擬試験(長文)
8回	模擬試験	模擬試験(聴解)
9回	模擬試験(解説)	＊模擬試験の点数を平常点に加味する
10回	5章　オノマトペ 1課　ものの様子・人の様子 ①	言葉と例文 基本練習 実践練習
11回	2課　人の様子②	言葉と例文 基本練習 実践練習
12回	6章　慣用表現 1課　体の言葉を使った慣用表現①	言葉と例文 基本練習 実践練習
13回	2課　体の言葉を使った慣用表現② その他の慣用表現	言葉と例文 基本練習 実践練習
14回	7章 語形成 1課　複合動詞①	言葉と例文 基本練習 実践練習
15回	2課　複合動詞②	言葉と例文 基本練習 実践練習

夜間総合観光

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	面接対策				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	小林俊也					
授業概要(内容)	次年度の就職試験に向けて、面接の対策を行う。				授業形態	講義
到達目標	面接の基本動作習得、より評価の高い受け答え方ができる					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況と受講態度、事後学習の取り組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験 ×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択					
事前・事後学習について	授業中の課題は、必ず事後学習で習得し次の授業に臨むこと。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方と評価について ・面接試験に臨むまえに ・自己紹介
2回	面接対策①	・質問内容の分析(昨年) ・頻度の高い質問
3回	面接対策②	・面接のシュチュエーションと基本動作
4回	面接対策③	・自己紹介と自己PR
5回	面接対策④	・自己PR ※模擬面接とフィードバック
6回	面接対策⑤	・自己PR ※模擬面接とフィードバック
7回	面接対策⑥	・自己PR ※模擬面接とフィードバック
8回	面接対策⑦	・志望動機 ※模擬面接とフィードバック
9回	面接対策⑧	・志望動機 ※模擬面接とフィードバック
10回	面接対策⑨	・志望動機 ※模擬面接とフィードバック
11回	面接対策⑩	・配属の希望と理由 ※模擬面接とフィードバック
12回	面接対策⑪	・アルバイトについて ※模擬面接とフィードバック
13回	面接対策⑫	・これまでに頑張ったこと ※模擬面接とフィードバック
14回	面接対策⑬	・長所と短所 ※模擬面接とフィードバック
15回	まとめ	・就職試験に臨む前に

対象学年	1年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	就職活動講座(LHR)				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	牟田口　真理子					
授業概要(内容)	就職活動に向けて企業研究や面接準備を行う。				授業形態	演習
到達目標	志望企業を明確にしその企業業界から内定を勝ち取る。					
使用テキスト	勝つための就職ガイドSUCCESS　就職ノート					
成績評価方法	平常点　提出物 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	復習を行う。					

	テーマ	授業内容
1回	自己PR	夏季セミナーの振り返り 就職試験の流れ 就職活動のルールと諸注意
2回	自己PR	面接試験の形式 自己PR作成　発表
3回	志望動機	志望動機の作り方
4回	志望動機	志望動機作成　発表
5回	履歴書作成	履歴書の書き方
6回	履歴書作成	履歴書作成
7回	面接応答例	その他の想定質問
8回	面接練習	面接練習
9回	面接練習	面接練習
10回	エントリーシート作成	エントリーシートの書き方
11回	エントリーシート作成	エントリーシート作成
12回	グループディスカッション	グループディスカッション体験
13回	就職セミナー対策	就職セミナー対策
14回	就職セミナー対策	就職セミナー対策
15回	就職セミナー対策	就職セミナー対策

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	ホテル総論				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	小西翼					
授業概要(内容)	ホテルの宿泊部門で求められる知識や技能について学ぶ。				授業形態	講義＆演習
到達目標	宿泊部門の日常業務と技術を習得する。					
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編【日本ホテル教育センター】					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	復習を行う。					

	テーマ	授業内容
1回	宿泊部門の使命と役割	宿泊部門の3機能 商品特性 業務特性
2回	宿泊部門の業務の流れ フロントサービスとは	フロントサービス業務全体概要と特徴
3回	ドアマンの業務	ドアマンの基本業務内容
4回	ベルマンの業務	ベルマンの基本業務内容
5回	ベルマンの業務	ベルマンの業務内容と手順
6回	ベルマンの業務	最初の挨拶から客室までの案内
7回	ベルマンの業務	ゲストが滞在中の業務
8回	ベルマンの業務	チェックアウトから見送りまで
9回	クローク業務	クロークの基本業務内容 特殊な荷物預かり
10回	クローク業務	荷物を預かる際の注意点 ロールプレイ
11回	客室係りの業務	客室係りの基本業務内容
12回	客室係りの業務	客室清掃の注意点とベッドメイキングの解説
13回	客室係りの業務	ベッドメイキングの反復練習
14回	実技テスト	ベッドメイキングの実技試験を行う
15回	後期のまとめ	後期授業のまとめと期末試験対策

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	旅行実務			クラス	Y
担当講師(フルネーム)	榎本　美和子				
授業概要(内容)	実践的に使える各分野の知識を資料やロープレを通して学習。			授業形態	講義
到達目標	現場で実践的に使える基礎的な知識・豊かなコミュニケーション能力・地域理解力を習得。				
使用テキスト	テキスト「旅行実務」・プリント　・パンフレット等資料				
成績評価方法	・期末試験50%　レポート、発表40%　出席率10% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択			
事前・事後学習について	希望職種を意識した上で受講。受講後復習。				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・授業内容(シラバスを通して) ・評価方法 ・初対面である講師に自分らしい自己紹介！希望職業
2回	スリーレターコード	・スリーレターコード、航空・鉄道・旅行業界について。
3回	お客様対応	・航空券、新幹線チケットや旅行パンフレットを見て、お客様の質問に答える日本語・英語
4回	VIP待遇	・VIP待遇について、各業界をシミュレーション→ロープレ(日本語・英語)
5回	日本の観光地	・日本の観光地(温泉地、寺社等) ・観光地への交通手段
6回	テーマパーク	・テーマパークについて
7回	旅行ガイドブックに触れよう！	・旅行ガイドブックや機内誌、鉄道関連誌を見て学習する。
8回	面白体験談	・旅行会社、航空会社で働く体験談 ・テキストにはない実話から学習。
9回	日本に発着する航空会社	・日本に発着する航空会社と各会社の特徴 ・その他希望業界について
10回	設備について	・空港、駅、ホテル、旅館の設備について学習。 ・見学及び調べて発表。
11回	時差について	・世界の時差について
12回	運賃について	・国際航空運賃、料金 ・国内航空運賃、料金
13回	海外の観光地	・国内外の観光地、人気世界遺産について
14回	ツアープラン作成	・魅力的なツアープランを作成しよう！
15回	後期の振り返り	・質疑応答

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	レストランバンケットサービス			クラス	Y①	
担当講師(フルネーム)	小西翼					
授業概要(内容)	料飲サービスの基礎知識を学び、技術を身につける			授業形態	講義＆演習	
到達目標	料飲部における専門知識とサービスを学び、即戦力としての力をつける。					
使用テキスト	ホテルビジネス 基礎編					
成績評価方法	・実技試験40%+確認テスト40%+平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択					
事前・事後学習について	身につけた技術をアルバイトなどで実践する。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法についての説明。 接客用語・挨拶・言葉遣い
2回	お見合い 婚約	みなさんの結婚観について 近年増加してきた、ある男女の出会いのきっかけと背景 婚約＝プロポーズ
3回	日本における ブライダルのしきたり	六輝・結納 招待状が届いたら… 「博多祝いめでた」とは…
4回	ブライダルアイテム	ドレス・タキシード 和装 ヘッドドレス・アクセサリー
5回	料飲部の仕事	レストランメニュー・レストランの種類 レストラン業務の流れと基本
6回	料飲部で使用する備品	テーブルクロス グラスウェア・ウォーターピッチャーの使い方
7回	料飲部で使用する備品	シルバーウェアの名称と役割 メニューに合わせたテーブルセッティング
8回	宴会部の仕事	宴会業務の基本と流れ 宴会の種類
9回	レストランや宴会の サービス	プレートサービスの解説・実践 プラッターサービスの解説・実践 トレーサービスの解説・実践
10回	レストランで提供される ドリンク	ソフトドリンクについて 酒類(醸造酒・蒸留酒・混成酒)について
11回	レストランで提供される ドリンク	酒類(醸造酒・蒸留酒・混成酒)について
12回	朝食サービス	代表的なブレックファースト お客様の来店から退店までの流れ
13回	確認テスト	確認の筆記試験を行う
14回	実技試験準備	実技試験の課題発表・練習
15回	実技試験 (スーツ着用)	実技試験を行う

対象学年	1年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	空港実務				クラス	Y②
担当講師(フルネーム)	原田歩					
授業概要(内容)	国内の空港や航空会社の特徴、国内線におけるお客さまの流れを学ぶ チェックイン業務やアナウンス業務など実技を交えながら学ぶ				授業形態	講義
到達目標	国内線の基礎を理解する					
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について	毎回行われる小テストの予習復習を行う					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について チェックイン業務に挑戦する 航空業界にとって最も大事なことを理解する
2回	日本の空港①	日本地図をもとに空港の位置を学ぶ 空港の基礎知識を習得する 空港の3レターを覚える
3回	日本の空港②	日本地図をもとに空港の位置を学ぶ 空港の基礎知識を習得する 空港の3レターを覚える
4回	日本の航空会社①	日本の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える
5回	日本の航空会社②	日本の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える
6回	GSの業務と役割①	旅客ハンドリング企業を知る GSの業務形態を知る 各空港の特徴を学ぶ
7回	GSの業務と役割②	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務、アナウンス業務を体験する
8回	GSの業務と役割③	GSの役割を理解する GSに求められる人材について考える
9回	時刻表①	時刻表の見方と役割を理解する 記載されている内容を把握する
10回	時刻表②	時刻表の見方と役割を理解する 記載されている内容を把握する 時刻表を使用してロールプレイを行う
11回	手荷物①	受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 様々な種類の手荷物タグについて学ぶ 様々な種類の収納ケースについて学ぶ
12回	手荷物②	手荷物タグの取扱い方法を学ぶ 危険物について学ぶ 破損、未引取り、取り違え時の対応を学ぶ
13回	国内線運賃	各種運賃とルールを学ぶ 各社運賃を比較する ホームページを利用し空席照会をする
14回	国内線航空券	航空券の見方とルールを学ぶ 様々な搭乗媒体を知る スキップサービスについて理解する
15回	まとめ	前期の復習、および補足

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	接客英語				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	秋満　陽子					
授業概要(内容)	基礎英語の復習と共に接客時に使える英語を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	ホテル・観光業界で対応できる英語能力を身につける					
使用テキスト	プリントで対応					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	実際に使えるよう語彙・表現を復習する					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション Orientation	授業の進め方 英語で自己紹介
2回	基礎英語 Basic English	Date, Time & Numbers Greeting & Welcoming guest Seasonal Greeting
3回	フロントデスク Front Desk	Front Desk: check-in & check-out
4回	ベルマン Bellman	Bellman: Escorting guests to their room Explain room features and amenities
5回	ベルマン・クローク Bellman/Cloak	Handling baggage Cloak Service
6回	レストラン Restaurant	Greeting guests Escorting guests to a table Reservation
7回	レストラン Restaurant	Taking order & serving food
8回	コンシェルジュ Concierge	Giving information to guest (hotel information, activities, restaurants, directions/transportation)
9回	身近な観光案内 Tourism information	英語で観光案内 外国人観光客に声をかけられたら
10回	身近な観光案内 Tourism information	英語で観光案内つづき
11回	日本文化の紹介 Introducing Japanese Culture	外国から来たお客様が聞きたい事 会話のきっかけ
12回	日本文化の紹介 Introducing Japanese Culture	外国から来たお客様が聞きたい事 会話のきっかけ
13回	Prep for speaking test	Speaking testの準備
14回	Speaking test	Speaking test
15回	Speaking test	Speaking test 予備日・まとめ

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光マーケティング				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	島崎　明					
授業概要(内容)	観光系専門学校生として相応しい「業界知識」の習得、 「なぜ？」と「アイデア」を考える学生参加型の授業をする。				授業形態	講義
到達目標	「理解度確認テスト」と「後期末テスト」、共に満点取得を目標にした授業を展開する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験50%＋平常点50%(理解確認テストを該当授業の終了時に10回実施) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	・実習企業名、業務内容、実習で得た知識、感想などを、授業で発表すべくレポートを事前提出(400字程度)。 ・授業終了前に「理解度確認小テスト」を実施、授業目的を達成できたかを事後で検証しつつ復習をする。					

	テーマ	授業内容
1回	観光史その1 (幕開け)	・東京オリンピックの開催　東海道新幹線開業、第一次ホテルブーム ・大阪万国博覧会開催　大衆旅行ブーム到来、観光バスツアー ★理解度確認テスト1
2回	観光史その2 (高度成長期)	・海外旅行の自由化、バブル期到来 ・東京ディズニーランド開業、ハウステンボス開業、全国各地にテーマパーク開業 ★理解度確認テスト2
3回	観光史その3 (低成長期)	・バブル崩壊、経済の不振、就職氷河期 ・「安・近・短」の旅行形態、若者の旅行離れ ★理解度確認テスト3
4回	由布院の歴史	・プロジェクトXビデオ鑑賞、由布院がお手本にしたドイツの温泉地 ・無名の田舎町が有名温泉地に、3人の若者と振興アイデア ・現状の問題
5回	黒川温泉	・旅館の基礎知識、客室係・フロント係の業務理解 ・「若者、よそ者、バカ者」による温泉街づくりのアイデア ★理解度確認テスト4
6回	有名旅館の戦略	・加賀屋の戦略研究、お客様満足と従業員満足 ・別府杉乃井ホテルの戦略 ・
7回	インバウンド	・インバウンドとアウトバウントの基礎知識 ・国別入国者数の推移、 ★理解度確認テスト5
8回	福岡圏の観光施策	・福岡空港の滑走路計画、博多港クルーズターミナル ・天神ビッグバンと高級ホテル進出、MICE誘致計画 ★理解度確認テスト6
9回	テーマパークその1 (ハウステンボス)	・沢田秀夫とHIS創業、スカイマーク・エアラインズ創業 ・長崎オランダ村からハウステンボス開業、ハウステンボス苦難の歴史と再生 ★理解度確認テスト7
10回	テーマパークその2 (TDL,TDS)	・大型テーマパーク「TDL」開業の歴史、 ・「TDL」のホスピタリティ、夢と魔法の国づくり ・テーマパークの世界ランキング
11回	テーマパークその3 (USJ)	・USJ苦戦の創業期 ・再生に向けてのイベントアイデア、 ★理解度確認テスト8
12回	航空業界その1	・福岡空港乗り入れの航空会社、東京(羽田)線の必須理解 ・国内航空会社の基礎知識
13回	航空業界その2	・LCC低価格の仕組み。福岡空港からの海外路線 ・LCCのメリットとデメリット ★理解度確認テスト9
14回	クルーズ	・クルーズの大衆化、日本人客が利用するクルーズ船(外国籍、日本籍) ・クルーズの楽しみ方、博多港発着のクルーズ商品 ★理解度確認テスト10
15回	まとめ	・観光マーケティングの理解 ・第1～第15回授業の総復習

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	サービス実技				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	小西翼					
授業概要(内容)	主にホテルでのサービス(宿泊・料飲・宴会)を実践的に学ぶ。				授業形態	講義＆演習
到達目標	入社後に即戦力として働けるよう、サービスの基本を身につける。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験 △	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択					
事前・事後学習について	身につけた知識や技術をアルバイトで活用する。また、入社後のHRS取得に役立てる。					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	評価方法、授業の進め方説明 宿泊部のサービス
2回	宿泊部のサービス	ドアマン(お客様のお出迎え) ベルマン、コンシェルジュ(客室への案内・館内外のインフォメーション) クローク(荷物のお預かり・宅急便の受付)
3回	宿泊部のサービス	ハウスキーピング(ベッドメイキング・客室清掃・インスペクション)
4回	宴会部のサービス	宴会の種類とそれに合わせたテーブルプラン 会場設営
5回	宴会部のサービス	会場設営とテーブルセッティング
6回	宴会部のサービス	どんでん 様々な宴会と料理の提供方法
7回	料飲部のサービス	HRS実技試験の課題に挑戦(朝食のサービス)
8回	料飲部のサービス	HRS実技試験の課題に挑戦(朝食のサービス)
9回	料飲部のサービス	HRS実技試験の課題に挑戦(朝食のサービス)
10回	料飲部のサービス	HRS実技試験の課題に挑戦(ランチのサービス)
11回	料飲部のサービス	HRS実技試験の課題に挑戦(ランチのサービス)
12回	料飲部のサービス	HRS実技試験の課題に挑戦(ランチのサービス)
13回	前期の復習	期末試験の課題を発表 期末試験に向けての練習
14回	期末試験	実技試験
15回	期末試験	実技試験